

国立市

介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

実施報告書

令和5年3月

国立市

目次

第1章 調査概要と回答者の属性	3
1 調査の設計	3
2 調査結果の分析内容	5
3 調査の回答状況	6
(1) 調査の回答者数・回答率	6
(2) 回答者の年齢階級別構成割合	7
(3) 回答者の性別・年齢階級別構成回答率	8
(4) 回答者の認定状況	11
第2章 日常生活圏域ニーズ調査 調査結果	15
問1 あなたのご家族や生活状況について	15
問2 住宅と住宅まわりの環境について	28
問3 からだを動かすことについて	41
問4 食べることについて	42
問5 毎日の生活について	50
問6 地域での活動について	62
問7 たすけあいについて	75
問8 健康について	78
問9 認知症について	91
第3章 基本チェックリスト判定結果	99
1 総合判定結果・リスク別出現率の状況	99
第4章 地区別調査結果	113
1 地区別のリスク出現率	113
2 地区別の特徴	116
資料編	125
1 本市の高齢者人口	125
2 基本チェックリストの判定基準	126
3 調査票	129

第1章

調査概要と回答者の属性

第1章 調査概要と回答者の属性

1 調査の設計

(1) 調査の方法

調査票	国が示した基本チェックリスト（21問）に市独自設問を追加して、「介護予防・日常生活圏域ニーズ調査」を作成しました。
調査対象者	令和4年4月1日現在、市内在住の65歳以上の方（介護保険の要介護認定を受けている方を除く）を対象としました。
調査方法	配布・回収は、郵送により実施しました。
調査期間	令和5年1月19日（木）に調査票を郵送し、令和5年1月30日（月）までを調査回答期間としました。
判定・集計	集計には、期限後の回答を考慮し、令和5年2月7日（火）までの回収分までを含めています。基本チェックリスト（21問）については、国が示した7リスク判定の基準に基づいて判定を行いました。

(2) 報告書の見方

- 集計やグラフの%表示は小数点第2位を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合があります。
- 複数回答の設問では、回答比率の合計が100%を超える場合があります。
- 対象者1人で複数のリスクに該当する重複該当者がいるため、リスク該当者数の合計数が回答者数を上回る場合があります。
- 設問において、年代、地域など調査対象者の基本属性を中心としたクロス集計結果の図・表については、基本属性等に「無回答」があるため、全体の示す数値とは一致しません。
- グラフにある「年齢未回答等」や「地区未回答等」は、重複回答も含めた数値となります。
- 単一回答の箇所に複数回答や、回答の文字が読めないなどの場合は、「無回答・重複回答」に含んでいます。

(3) 用語の定義

報告書に用いられる用語は、以下のとおりです。

用語	解説
リスク	この報告書においては「危険性」を意味し、実際にそれが起こって危険となる可能性を示した言葉です。例えば「生活機能」は、高齢者が生活機能低下に陥る危険性のことを指しています。
リスク別出現率	調査の有効回収数（回答数）のうち、各リスク該当者の占める割合を表しています。 リスク別出現率＝リスク該当者÷有効回収数
介護予防事業対象者	本調査における調査票内の基本チェックリスト該当項目において、「生活機能」、「運動機能」、「栄養状態」、「口腔機能」、「閉じこもり予防」、「認知機能」、「うつ予防」の7項目のうち1項目以上に該当した方
介護予防事業対象者出現率	調査の有効回収数（回答数）のうち、介護予防事業対象者の割合を表しています。 介護予防事業対象者出現率＝介護予防事業対象者数÷有効回収数
基本チェックリスト	65歳以上の高齢者が自分の生活や健康状態を振り返り、心身の機能で衰えているところがないかどうかをチェックするためのものです。設問は、全25項目の質問で構成されています。

2 調査結果の分析内容

調査結果の分析にあたっては、以下の4項目の分析を行い、市の介護予防事業のあり方や事業効果等について検証しました。

○分析1 日常生活圏域ニーズ調査の調査結果

生活状況や社会活動への参加状況等により市の高齢者像を把握するために、性別・年齢階級別、地区別に回答結果を分析しました。

○分析2 リスク該当者の出現率

介護予防事業対象者の出現率を、性別・年齢階級別、地区別に分析しました。

○分析3 基本チェックリストの回答結果

基本チェックリスト（21問）の回答結果を性別・年齢階級別に分析しました。

○分析4 地区別のリスク該当状況

7種類のリスクに該当している割合について、性別・年齢階級別、地区別に分析、市全体の値との比較をしました。

3 調査の回答状況

(1) 調査の回答者数・回答率

本調査の回答者数は、7,010人、回答率は、46.0%です。
地区別回答率は、「東地区」で46.6%と最も高くなっています。

図表 1-1 調査回答者数・回答率（市全体・地区別）

項目	調査対象者数（人）	回答者数（人）	回答率（%）
市全体	15,248	7,010	46.0
地区別	北	771	44.3
	東	1,177	46.6
	中	823	45.3
	西	814	46.0
	富士見台	1,725	44.9
	谷保	778	41.4
	青柳・石田・泉・矢川	730	43.7
	無回答	0	192

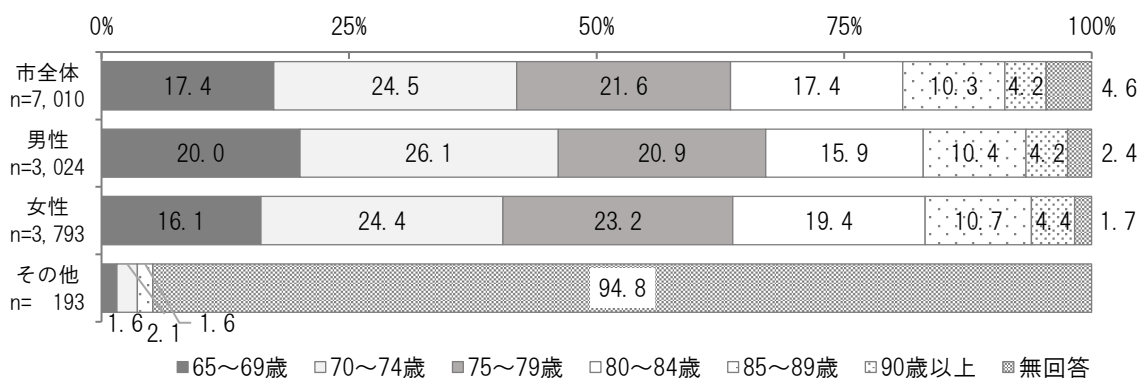
(2) 回答者の年齢階級別構成割合

回答者の年齢階級別構成割合は、「70～74歳」が24.5%と最も高く、次いで「75～79歳」が21.6%、「65～69歳」「80～84歳」が17.4%となっています。

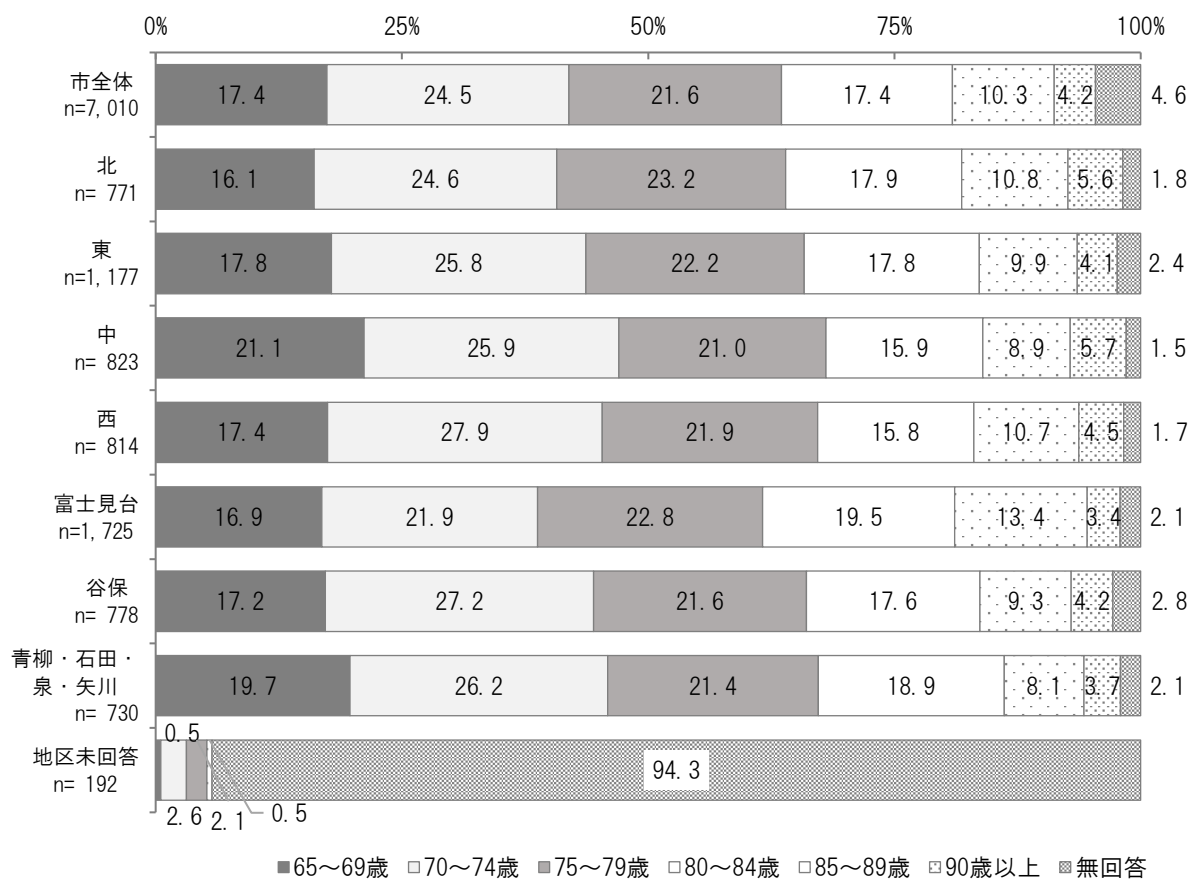
性別にみると、男性では「70～74歳」が26.1%と最も高く、次いで「75～79歳」が20.9%となっています。女性では「70～74歳」が24.4%と最も高く、次いで「75～79歳」が23.2%となっています。

地区別にみると、「70～74歳」の割合は「西地区」の27.9%が他の地区に比べ最も高くなっています。

図表 1-2 回答者の年齢階級別構成割合（性別）



図表 1-3 回答者の年齢階級別構成割合（地区別）

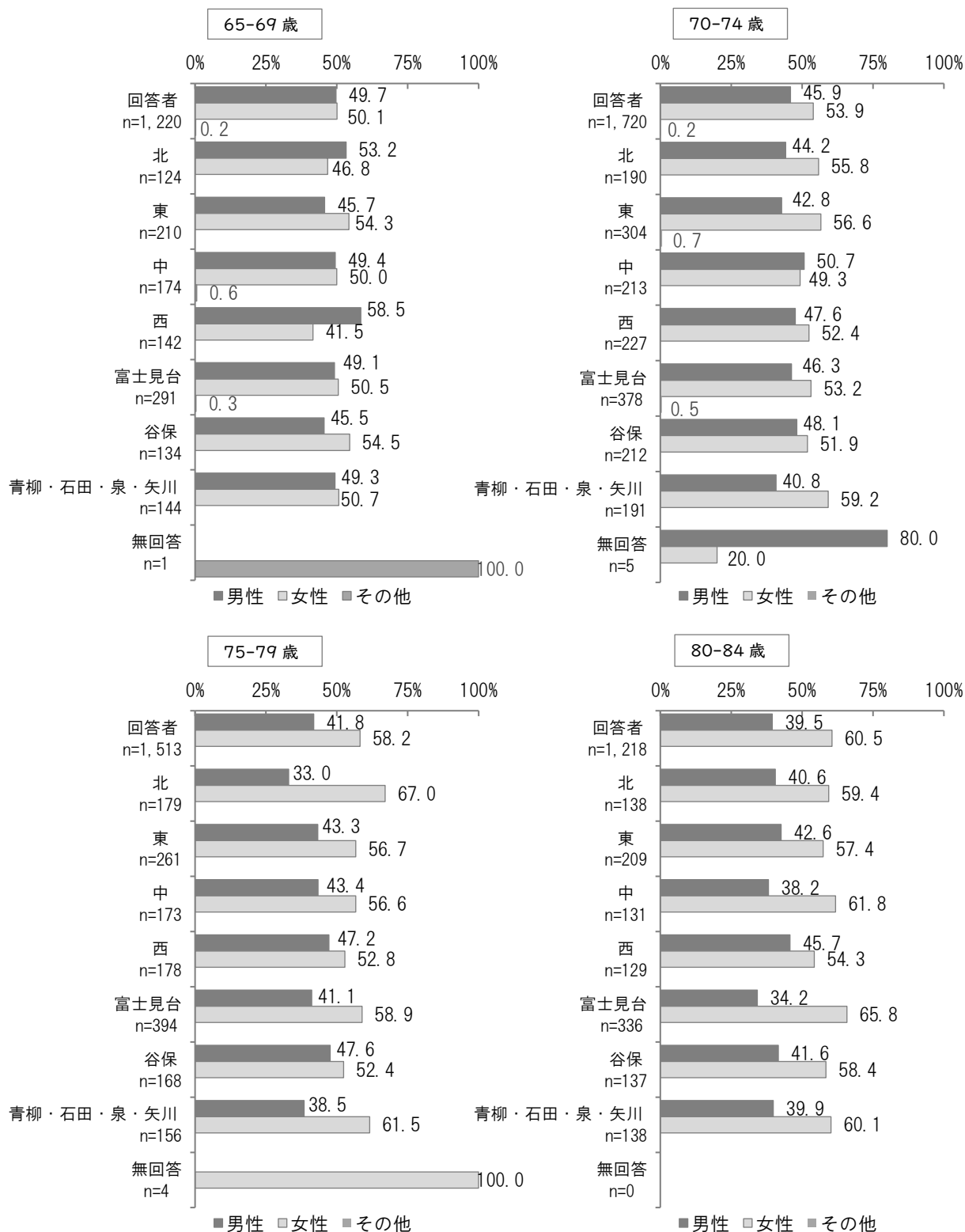


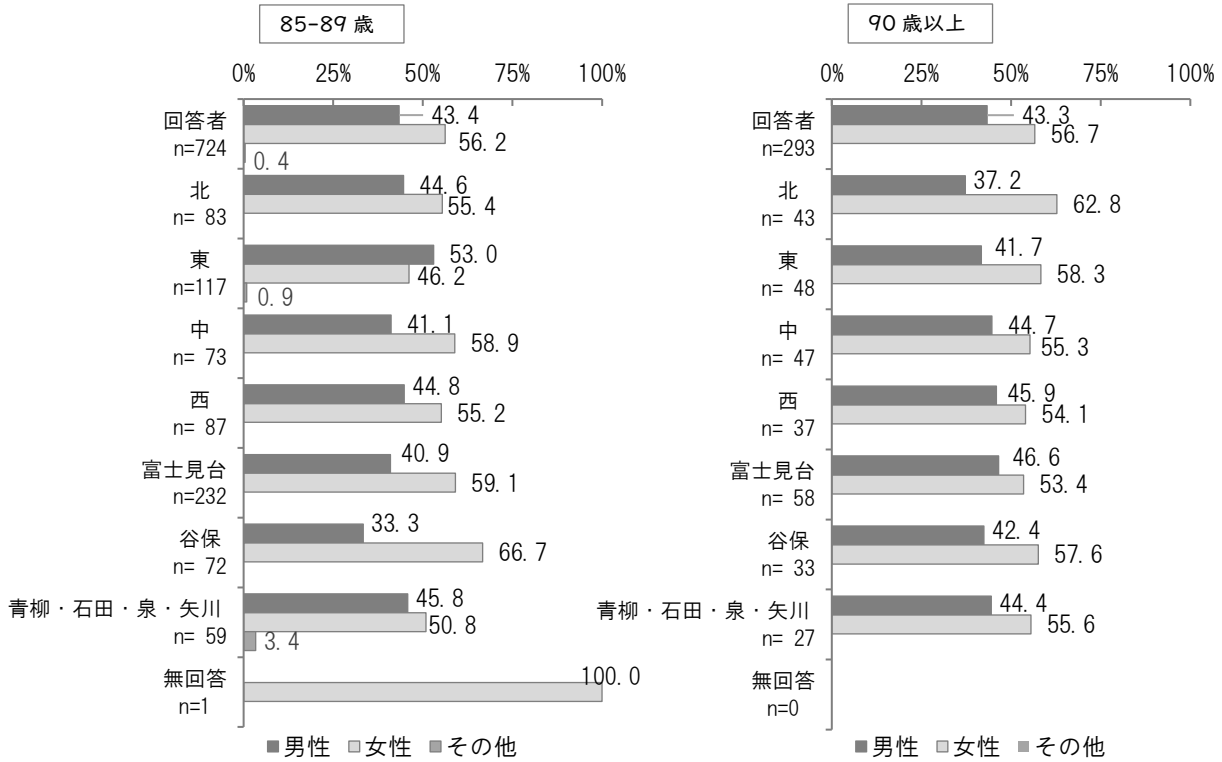
(3) 回答者の性別・年齢階級別構成回答率

市全体の回答率を性別・年齢別にみると全ての年代で女性の割合が高くなっています。また、回答率も50%を超えています。

地区別でみると、「北地区」の「75～79歳」では、女性の方が34.0ポイント男性より上回っております。

図表 1-4 回答者の年齢階級別構成割合（性別・地区別）





図表 1-5 回答者の性別・年齢階級別人口構成 (男性：地区別)

上段：人/下段：%

回答者	全体	男性						無回答
		65~69 歳	70~74 歳	75~79 歳	80~84 歳	85~89 歳	90 歳以上	
市全体	3,024 100.0	606 20.0	789 26.1	633 20.9	481 15.9	314 10.4	127 4.2	74 2.4
北	324 100.0	66 20.4	84 25.9	59 18.2	56 17.3	37 11.4	16 4.9	6 1.9
東	520 100.0	96 18.5	130 25.0	113 21.7	89 17.1	62 11.9	20 3.8	10 1.9
中	378 100.0	86 22.8	108 28.6	75 19.8	50 13.2	30 7.9	21 5.6	8 2.1
西	397 100.0	83 20.9	108 27.2	84 21.2	59 14.9	39 9.8	17 4.3	7 1.8
富士見台	737 100.0	143 19.4	175 23.7	162 22.0	115 15.6	95 12.9	27 3.7	20 2.7
谷保	353 100.0	61 17.3	102 28.9	80 22.7	57 16.1	24 6.8	14 4.0	15 4.2
青柳・石田・泉・矢川	310 100.0	71 22.9	78 25.2	60 19.4	55 17.7	27 8.7	12 3.9	7 2.3
無回答	5 100.0	0 0.0	4 80.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 20.0

図表 1-6 回答者の性別・年齢階級別人口構成（女性：地区別）

上段：人/下段：%

回答者	全体	女性						
		65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85～89歳	90歳以上	無回答
市全体	3,793 100.0	611 16.1	927 24.4	880 23.2	737 19.4	407 10.7	166 4.4	65 1.7
北	446 100.0	58 13.0	106 23.8	120 26.9	82 18.4	46 10.3	27 6.1	7 1.6
東	653 100.0	114 17.5	172 26.3	148 22.7	120 18.4	54 8.3	28 4.3	17 2.6
中	444 100.0	87 19.6	105 23.6	98 22.1	81 18.2	43 9.7	26 5.9	4 0.9
西	417 100.0	59 14.1	119 28.5	94 22.5	70 16.8	48 11.5	20 4.8	7 1.7
富士見台	983 100.0	147 15.0	201 20.4	232 23.6	221 22.5	137 13.9	31 3.2	14 1.4
谷保	424 100.0	73 17.2	110 25.9	88 20.8	80 18.9	48 11.3	19 4.5	6 1.4
青柳・石田・ 泉・矢川	418 100.0	73 17.5	113 27.0	96 23.0	83 19.9	30 7.2	15 3.6	8 1.9
無回答	8 100.0	0 0.0	1 12.5	4 50.0	0 0.0	1 12.5	0 0.0	2 25.0

図表 1-7 回答者の性別・年齢階級別人口構成（性別未回答者：地区別）

上段：人/下段：%

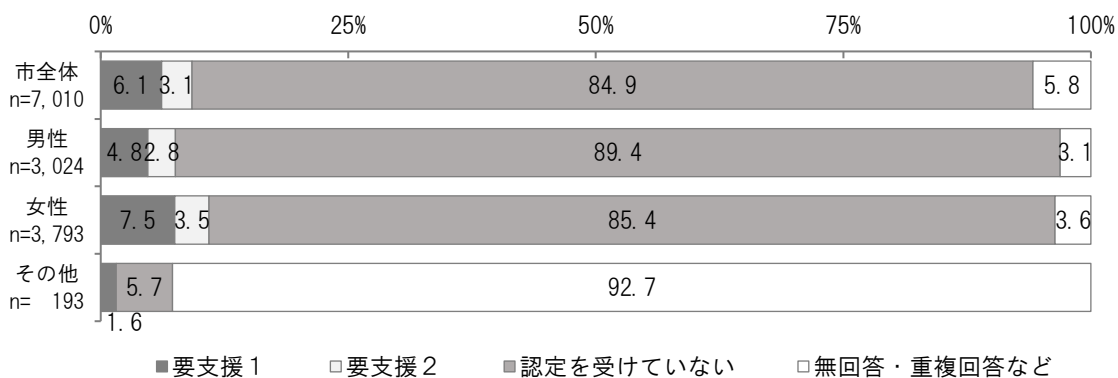
回答者	全体	未回答						
		65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85～89歳	90歳以上	無回答
市全体	193 100.0	3 1.6	4 2.1	0 0.0	0 0.0	3 1.6	0 0.0	183 94.8
北	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 100.0
東	4 100.0	0 0.0	2 50.0	0 0.0	0 0.0	1 25.0	0 0.0	1 25.0
中	1 100.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
西	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
富士見台	5 100.0	1 20.0	2 40.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 40.0
谷保	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 100.0
青柳・石田・ 泉・矢川	2 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 100.0	0 0.0	0 0.0
無回答	179 100.0	1 0.6	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	178 99.4

(4) 回答者の認定状況

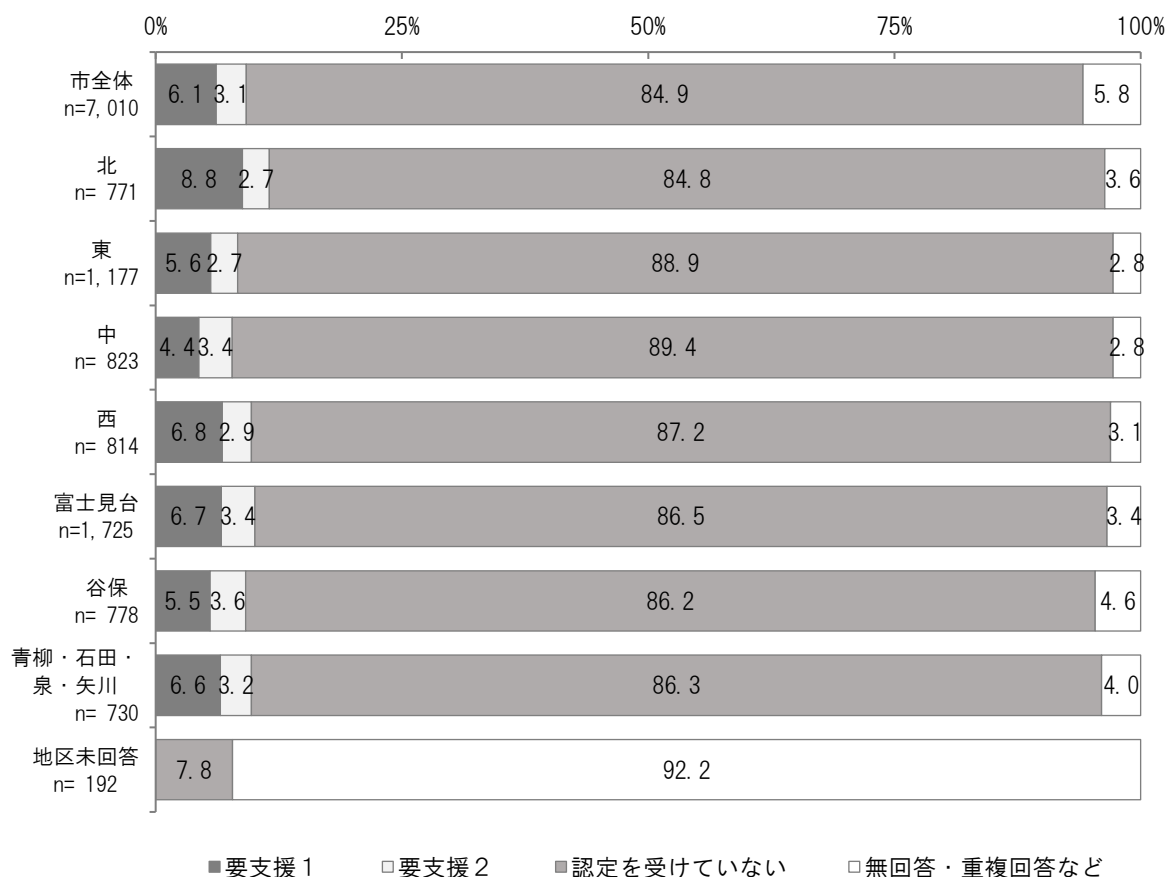
回答者の認定状況は、市全体で「認定を受けていない」が84.9%と最も高く、次いで「要支援1」が6.1%となっています。

性別および地区別にみても市全体と同様な結果となっています。

図表 1-8 回答者の認定状況割合（性別）



図表 1-9 回答者の年齢階級別構成割合（地区別）



第2章

日常生活圏域ニーズ調査 調査結果

第2章 日常生活圏域ニーズ調査 調査結果

問1 あなたのご家族や生活状況について

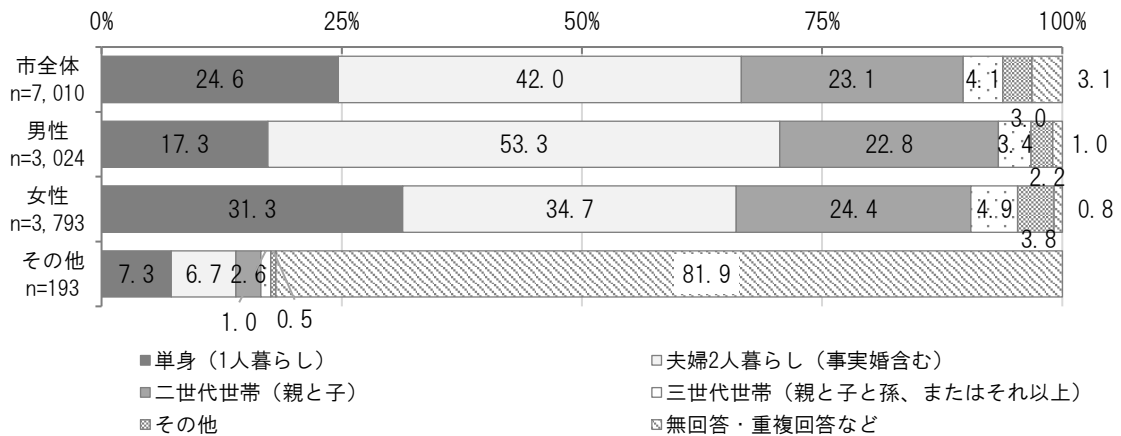
(1) 家族構成をお教えてください

市全体では、「夫婦2人暮らし（事実婚含む）」が42.0%と最も高く、次いで「単身（1人暮らし）」が24.6%、「二世帯世帯（親と子）」が23.1%となっています。

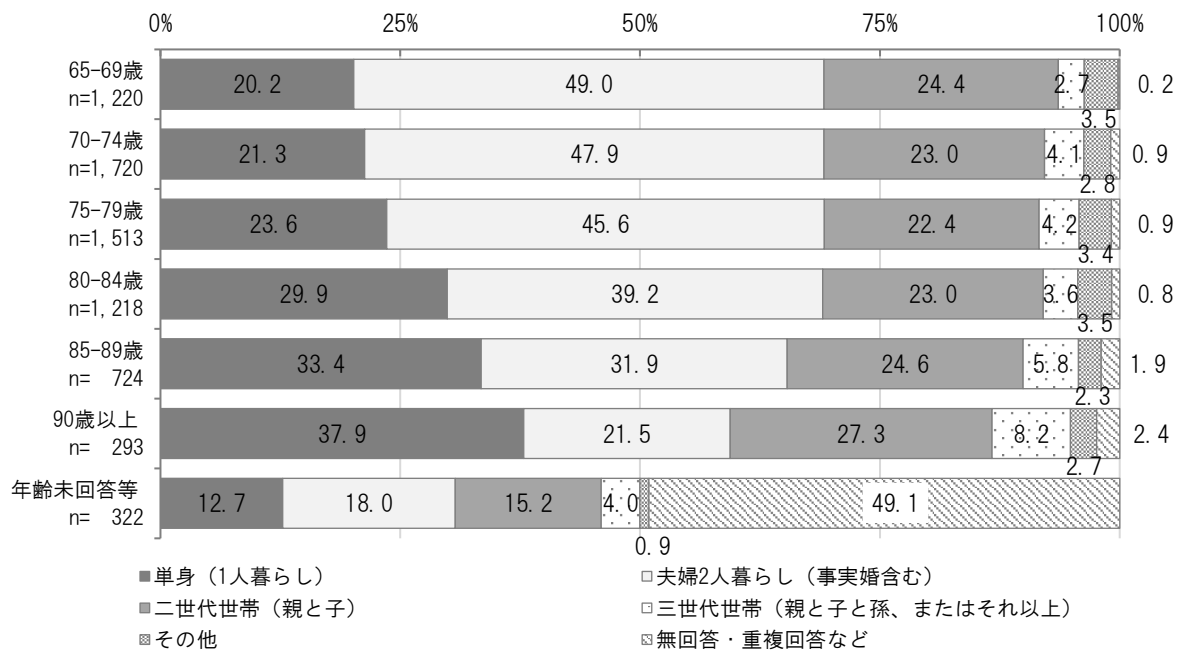
性別でみると、女性の「単身（1人暮らし）」が31.3%と男性より14.0ポイント高くなっています。

年齢階級別でみると、「単身（1人暮らし）」、「二世帯世帯（親と子）」が年齢を重ねるにつれて、上昇傾向にあり、反対に「夫婦2人暮らし（事実婚含む）」では、減少傾向となっています。

図表2-1-1 家族構成（市全体・性別）

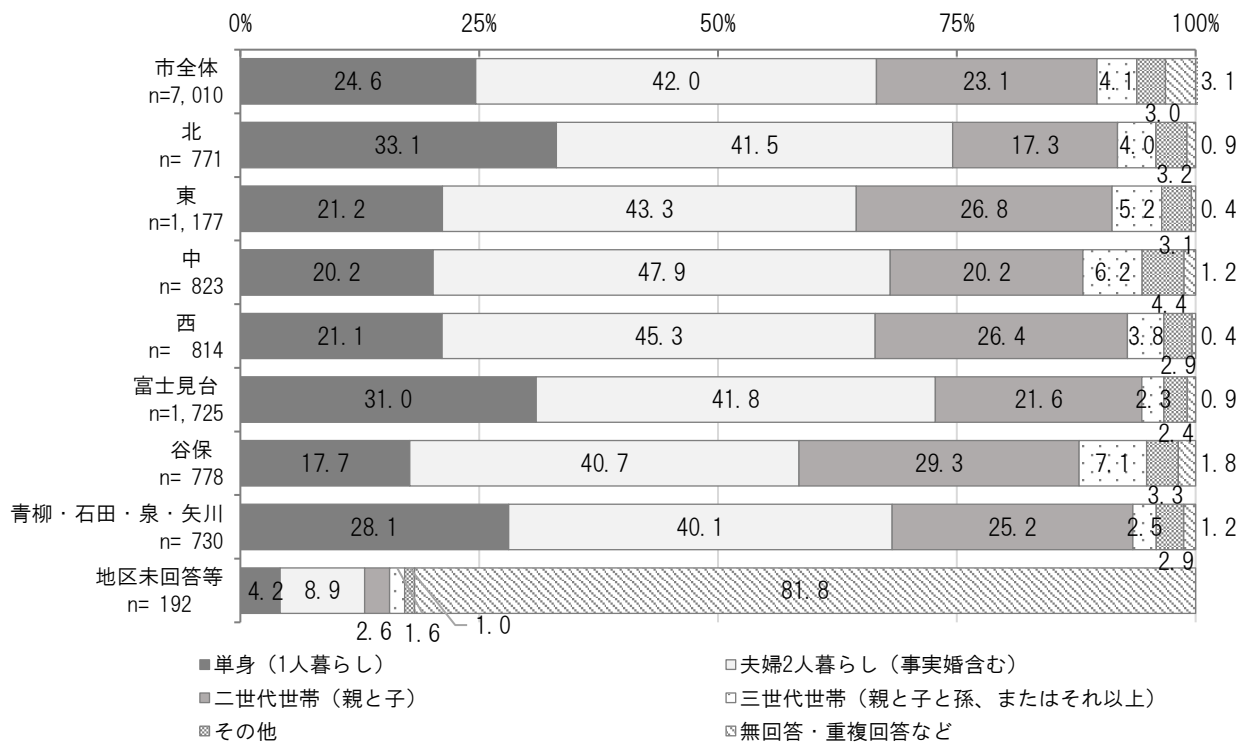


図表2-1-2 家族構成（年齢階級別）



地区別でみると、「単身（1人暮らし）」が最も高いのは、「北地区」の33.1%、次いで「富士見台」の31.0%となっています。

図表2-1-3 家族構成（地区別）



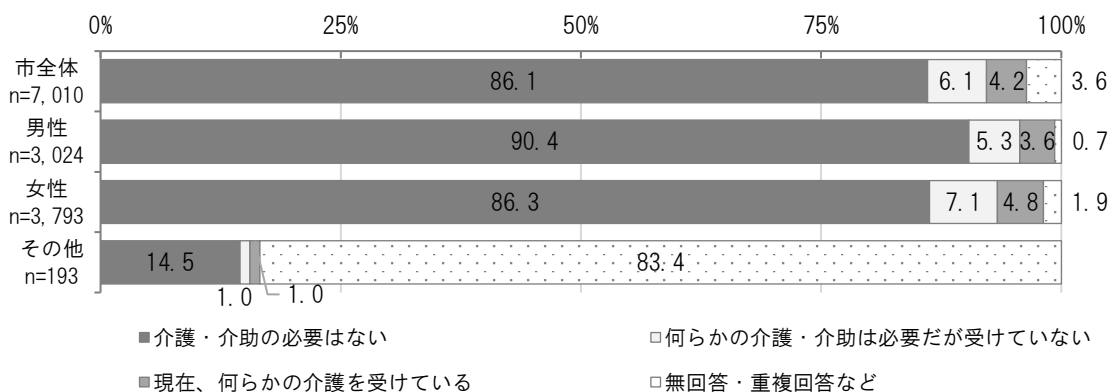
(2) あなたは普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか

市全体では、「介護・介助の必要はない」が 86.1%と最も高く、次いで「何らかの介護・介助は必要だが受けていない」が 6.1%、「現在、何らかの介護を受けている」が 4.2%となっています。

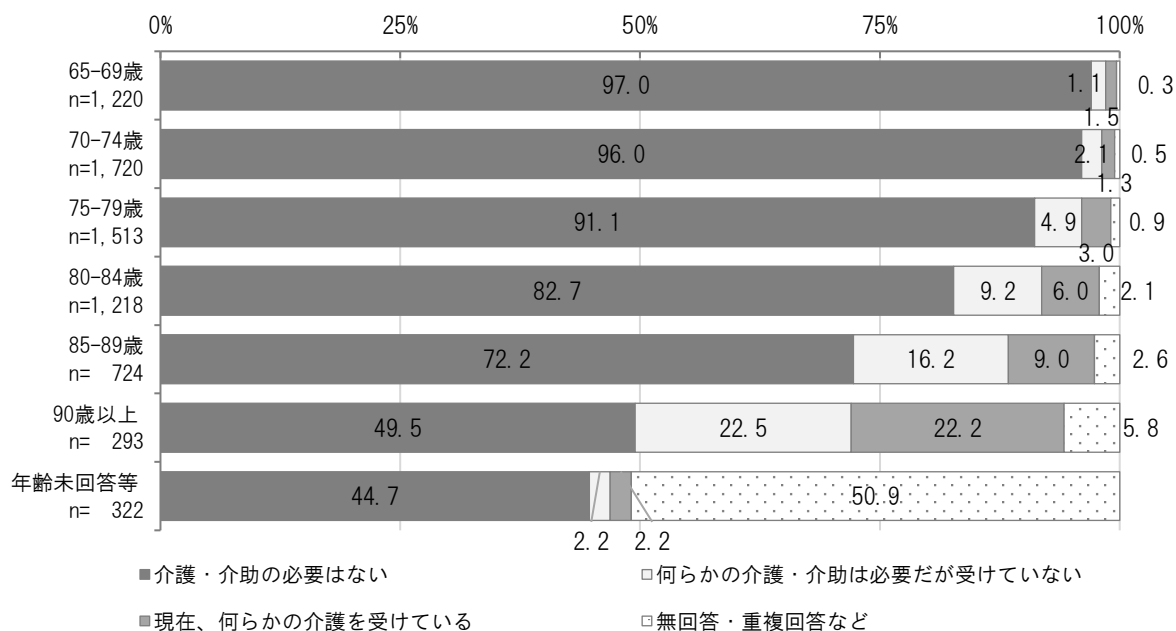
性別で見ると、男性の「介護・介助の必要はない」が90.4%と女性より 4.1ポイント高くなっています。

年齢階級別で見ると、「介護・介助の必要はない」が年齢を重ねるにつれて、減少傾向にあり、反対に「何らかの介護・介助は必要だが受けていない」では、上昇傾向となっています。

図表 2-1-4 介護・介助の有無（市全体・性別）

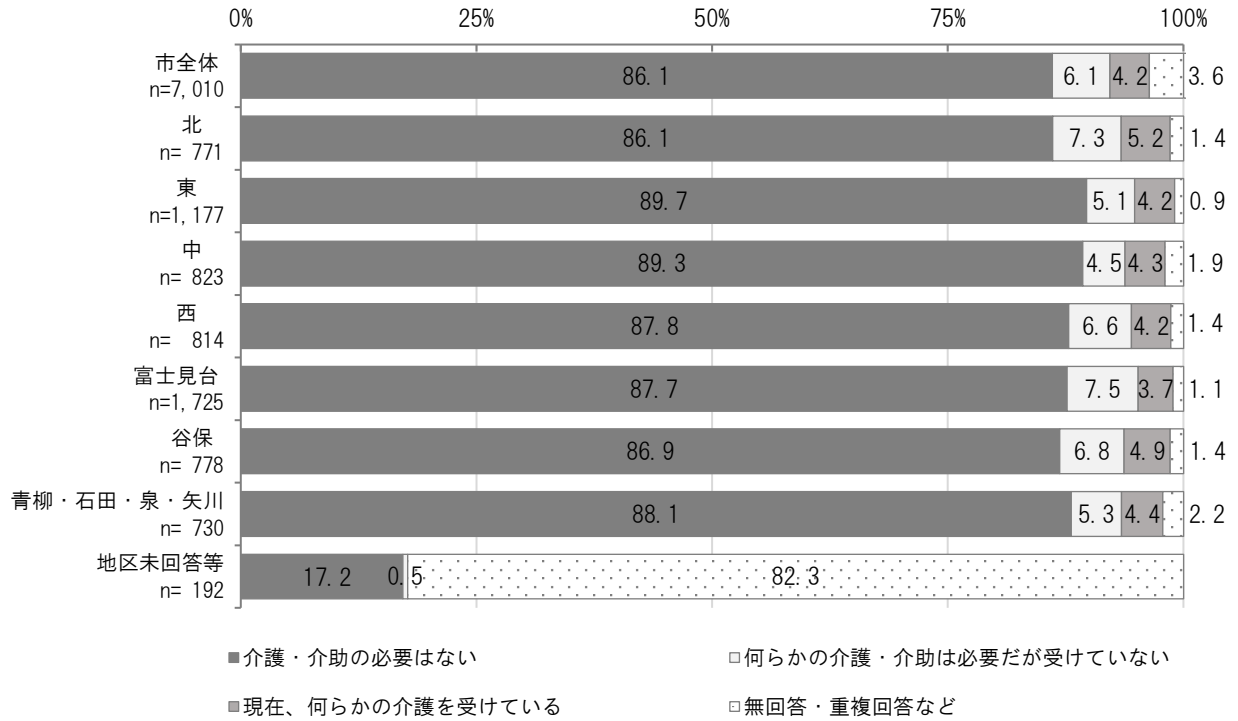


図表 2-1-5 介護・介助の有無（年齢階級別）



地区別でみると、「介護・介助の必要はない」が最も高いのは、「東地区」の89.7%、次いで「中地区」の89.3%となっています。

図表 2-1-6 介護・介助の有無（地区別）

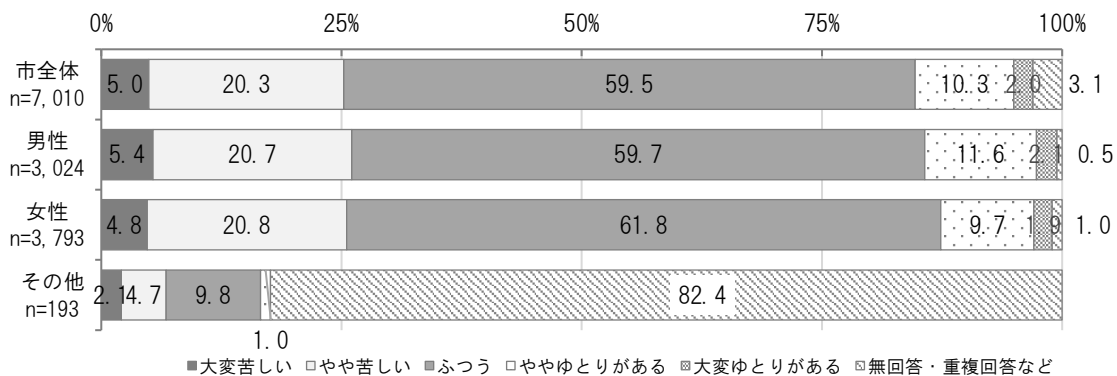


(3) 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか

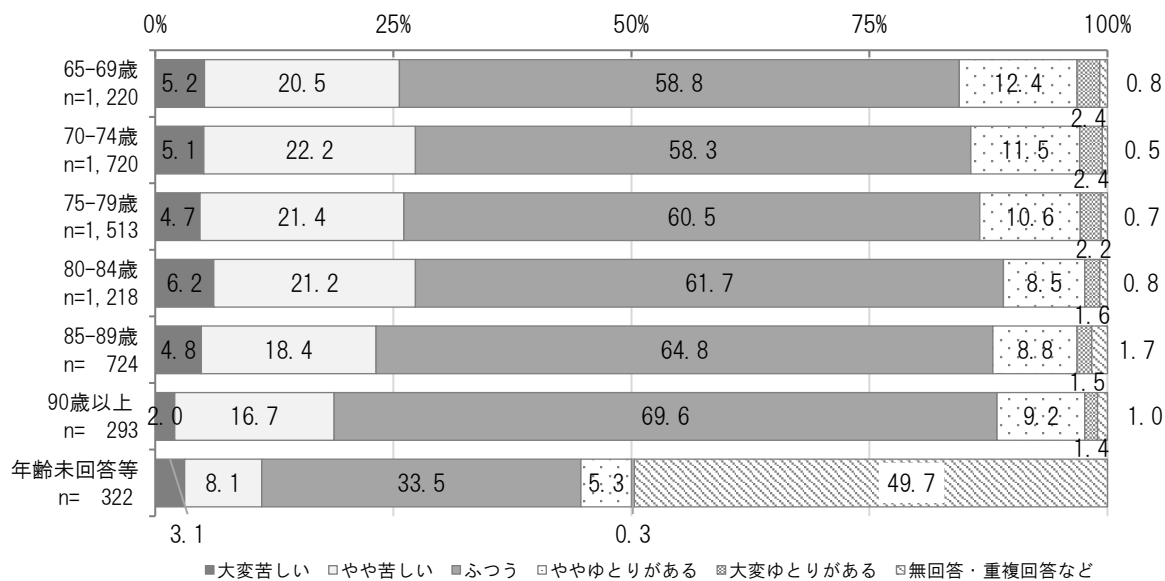
市全体では、「ふつう」が59.5%と最も高く、次いで「やや苦しい」が20.3%、「ややゆとりがある」が10.3%となっています。

性別、年齢階級別でみると、市全体と同様の結果となっています。

図表 2-1-7 暮らしの状況について（市全体・性別）

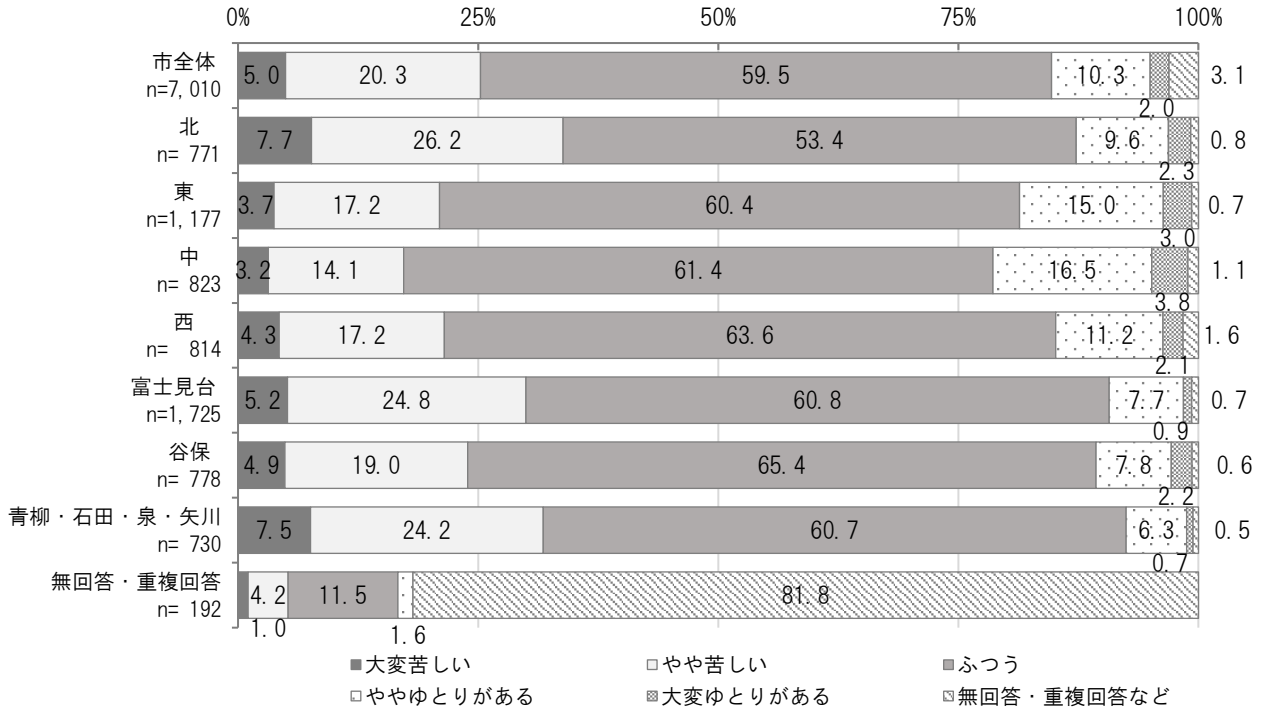


図表 2-1-8 暮らしの状況について（年齢階級別）



地区別でみると、「大変苦しい」が最も高いのは、「北地区」の 7.7%、次いで「青柳・石田・泉・矢川地区」の 7.5%となっています。

図表 2-1-9 暮らしの状況について（地区別）

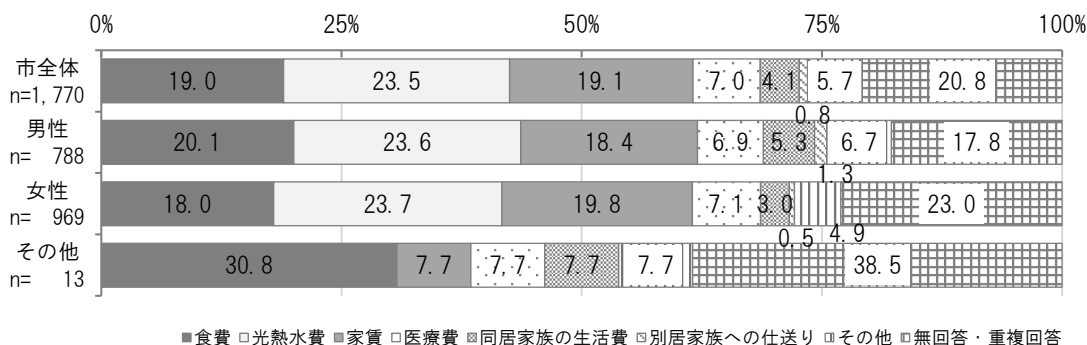


【(3) で「1.大変苦しい」「2.やや苦しい」と回答した方のみ】

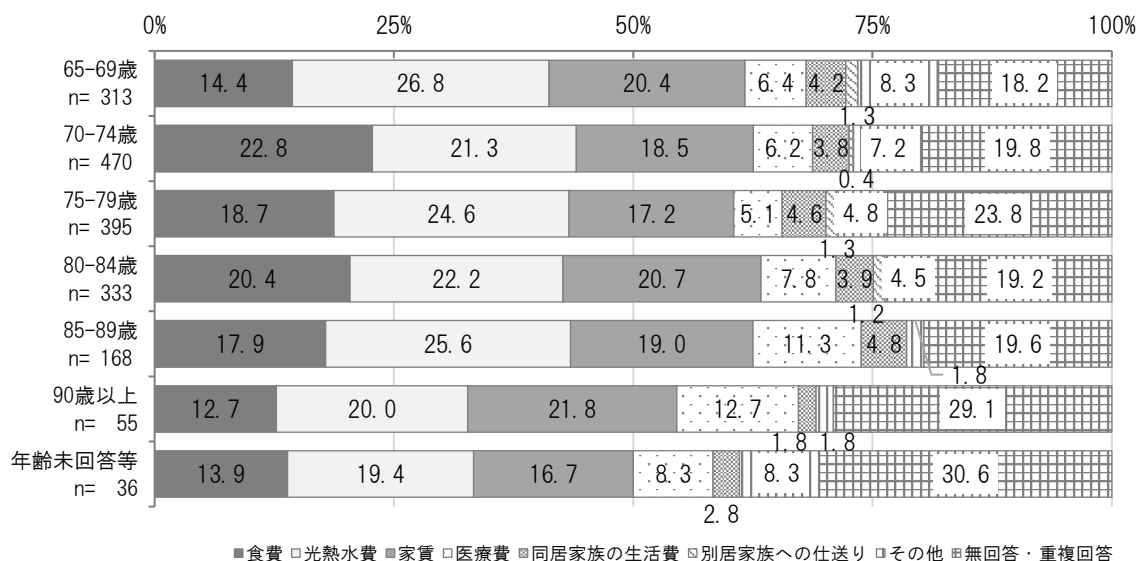
①生活にかかる費用のうち、負担に感じる費用は何ですか。(〇は1つ)

市全体では、「光熱水費」が 23.5%と最も高く、次いで「家賃」が 19.1%、「食費」が 19.0%となっています。
 性別で見ると、男性では「食費」が 20.1%と 2 番目に高くなっています。
 年齢階級別で見ると、「70～74 歳」では、「食費」が 22.8%と最も高くなっています。

図表 2-1-10 負担に感じる費用（市全体・性別）

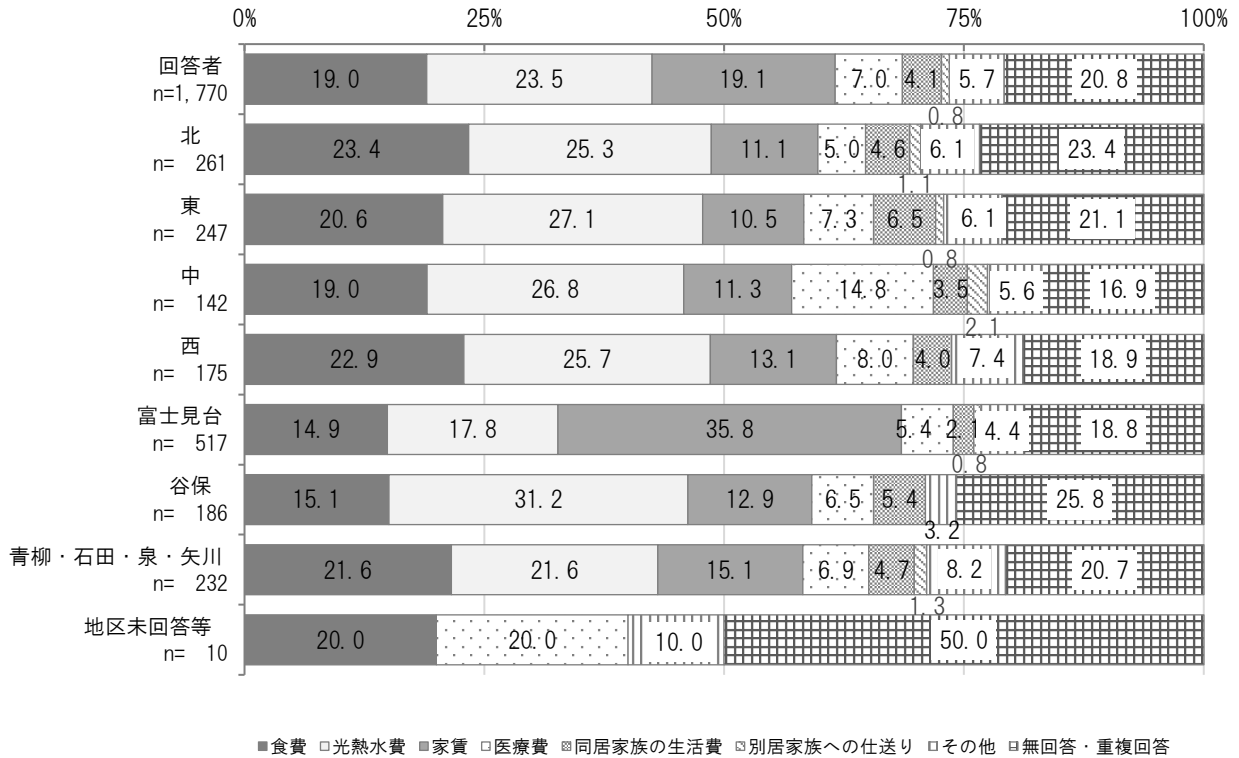


図表 2-1-11 負担に感じる費用（年齢階級別）



地区別では、「光熱水費」が最も高いのは、「谷保地区」の31.2%、次いで「東地区」の27.1%、となっています。

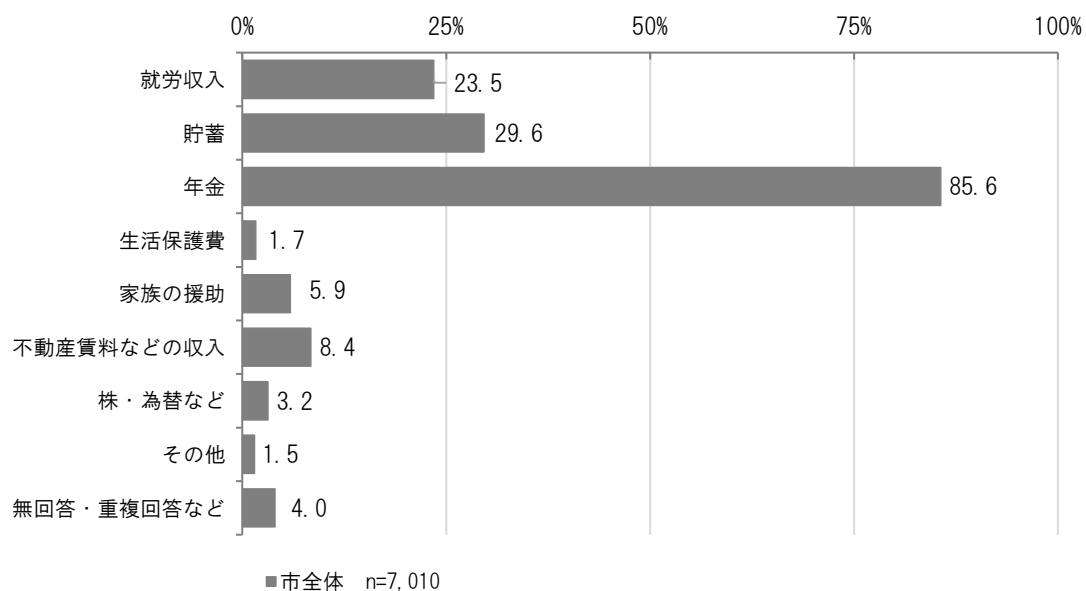
図表2-1-12 負担に感じる費用（地区別）



(4) 生活費は何によって賅っていますか。(〇はいくつでも)

市全体では、「年金」が 85.6%と最も高く、次いで「貯蓄」が 29.6%、「就労収入」が 23.5%となっています。

図表 2-1-13 生活費の賅いについて (市全体)



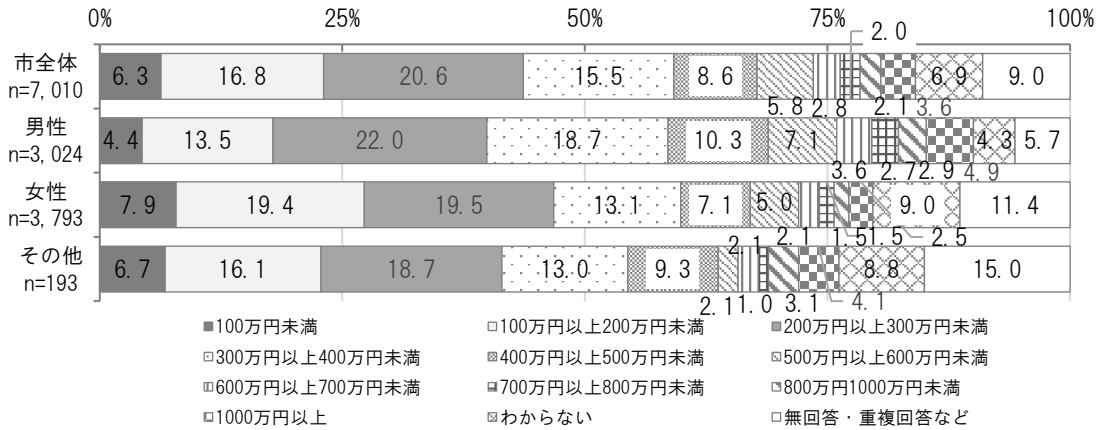
(5) あなたの世帯（生計を一緒にする世帯全体）の1年間の収入額はいくらですか

市全体では、「200万円以上300万円未満」が20.6%と最も高く、次いで「100万円以上200万円未満」が16.8%、「300万円以上400万円未満」が15.5%となっています。

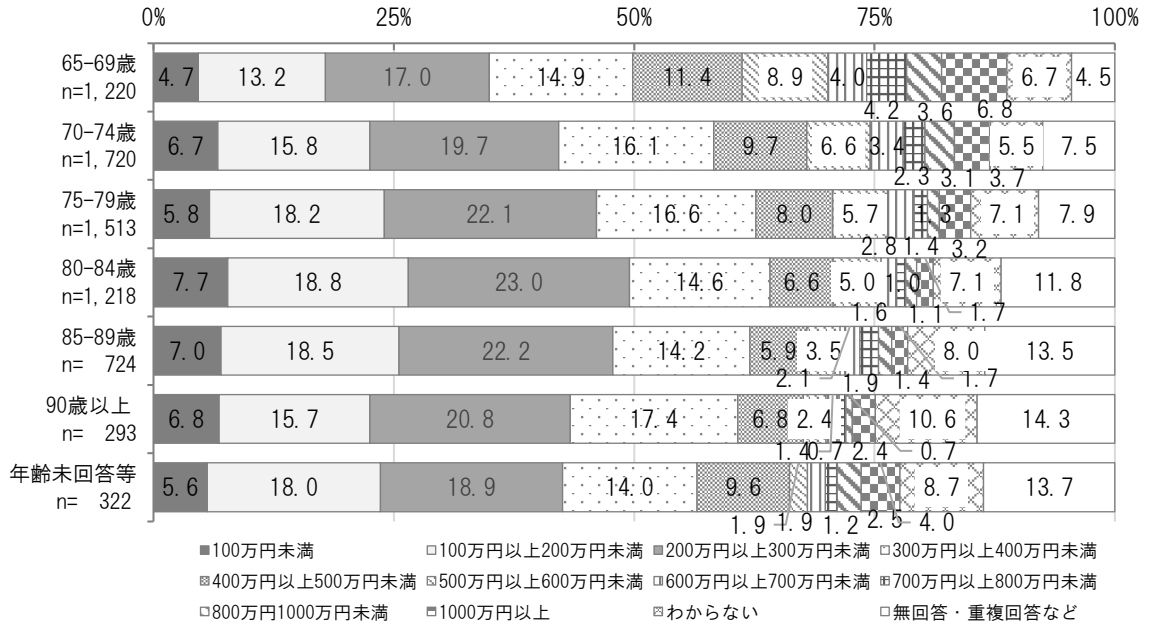
性別で見ると、男性の「200万円以上300万円未満」が22.0%と女性より2.5ポイント高くなっています。

年齢階級別で見ると、どの年代も大きな変化はみられません。

図表2-1-14 世帯の1年間の収入額（市全体・性別）

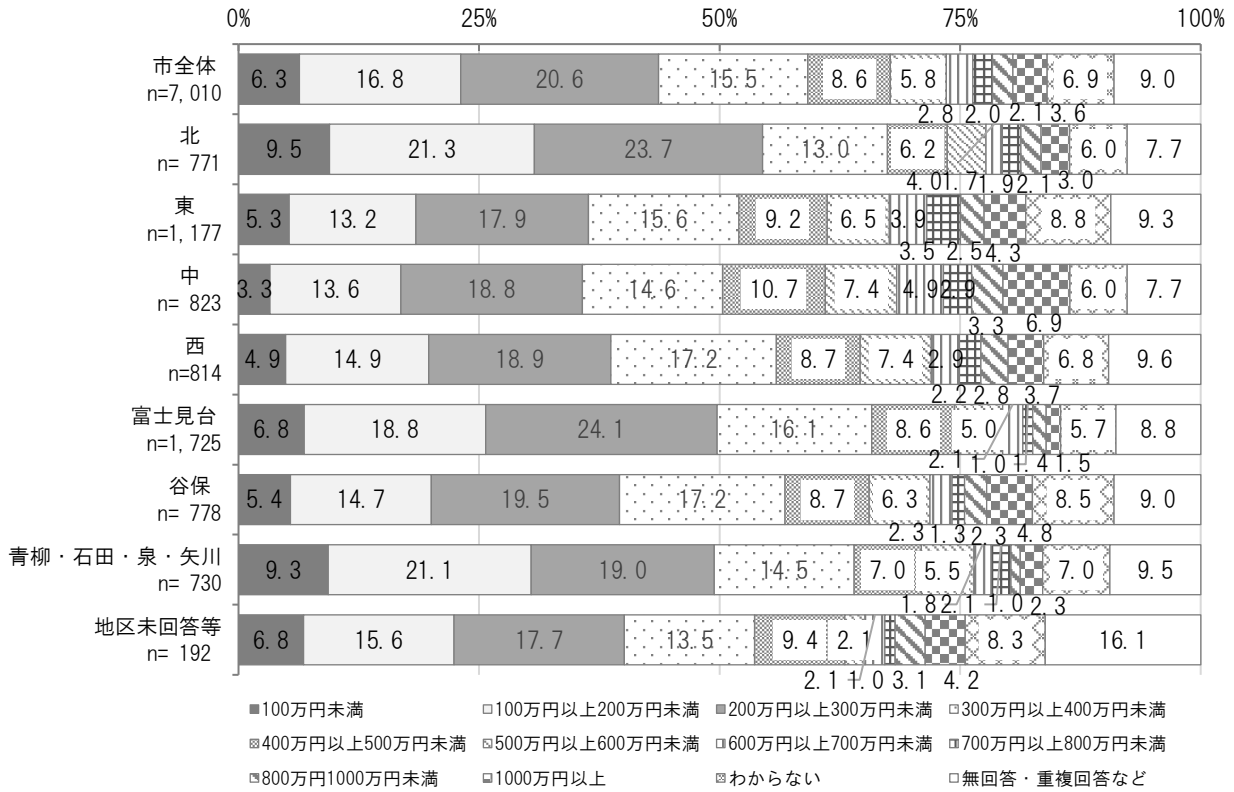


図表2-1-15 世帯の1年間の収入額（年齢階級別）



地区別でみると、「100万円未満」が最も高いのは、「北地区」の9.5%、次いで「青柳・石田・泉・矢川地区」の9.3%となっています。

図表2-1-16 世帯の1年間の収入額（地区別）



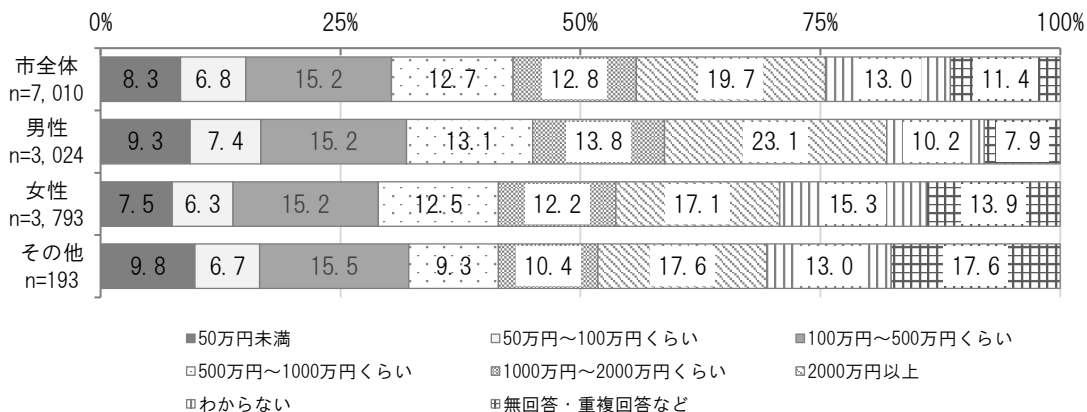
(6) あなたの世帯の貯蓄額はいくらくらいですか

市全体では、「2000万円以上」が19.7%と最も高く、次いで「100万円～500万円くらい」が15.2%、「わからない」が13.0%となっています。

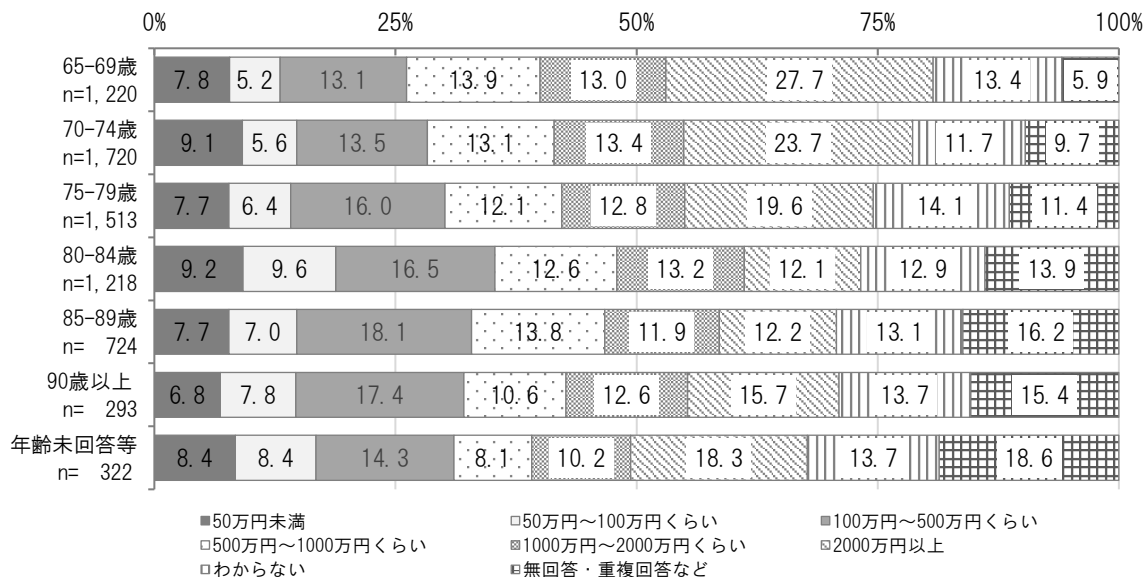
性別で見ると、男性の「2000万円以上」が23.1%と女性より6.0ポイント高くなっています。

年齢階級別で見ると、74歳以下では「2000万円以上」が2割台になっているのに対し、75歳以上では1割台となっています。

図表 2-1-17 世帯の貯蓄額（市全体・性別）

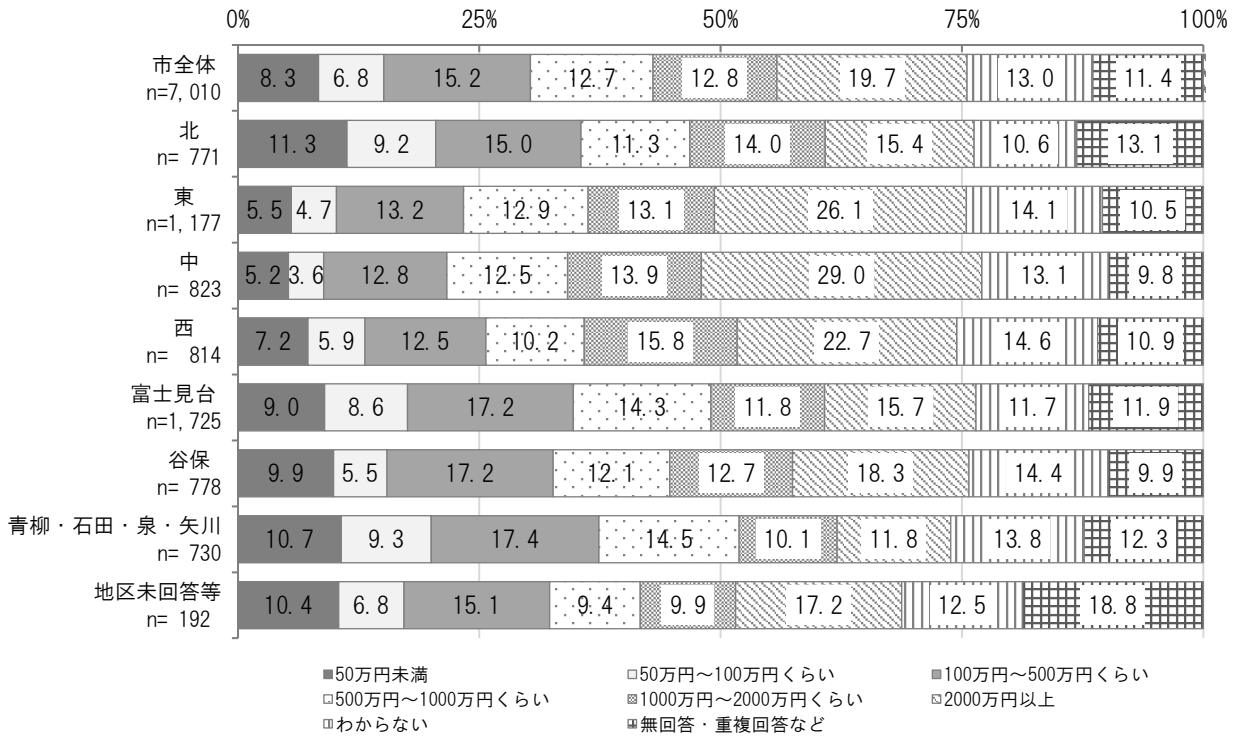


図表 2-1-18 世帯の貯蓄額（年齢階級別）



地区別でみると、「50万円未満」が最も高いのは、「北地区」の11.3%、次いで「青柳・石田・泉・矢川地区」の10.7%となっています。

図表2-1-19 世帯の貯蓄額（地区別）



問2 住宅と住宅まわりの環境について

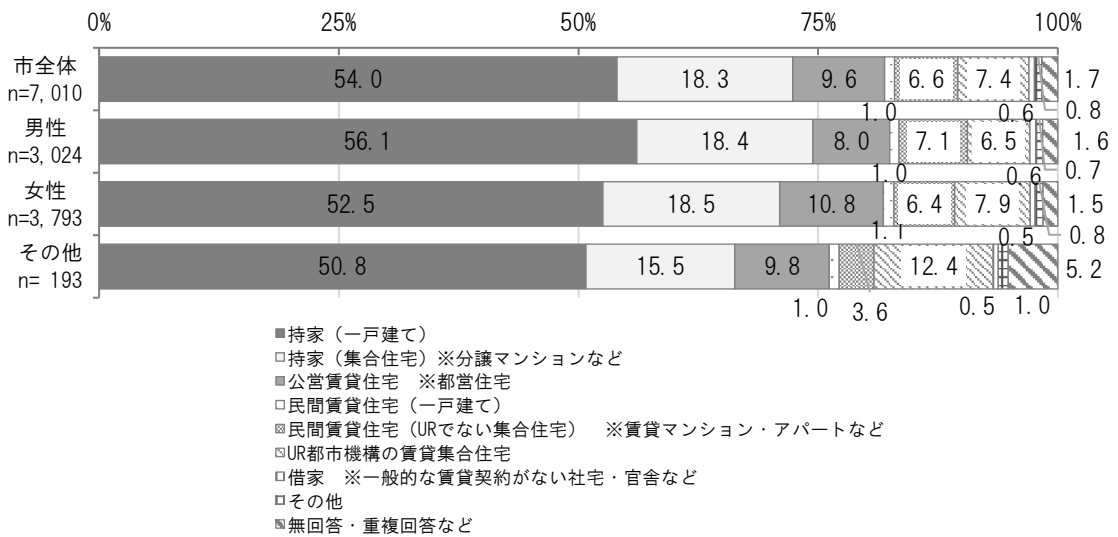
(1) お住まいは一戸建て、または集合住宅のどちらですか

市全体では、「持家（一戸建て）」が54.0%と最も高く、次いで「持家（集合住宅）」が18.3%、「公営賃貸住宅」が9.6%となっています。

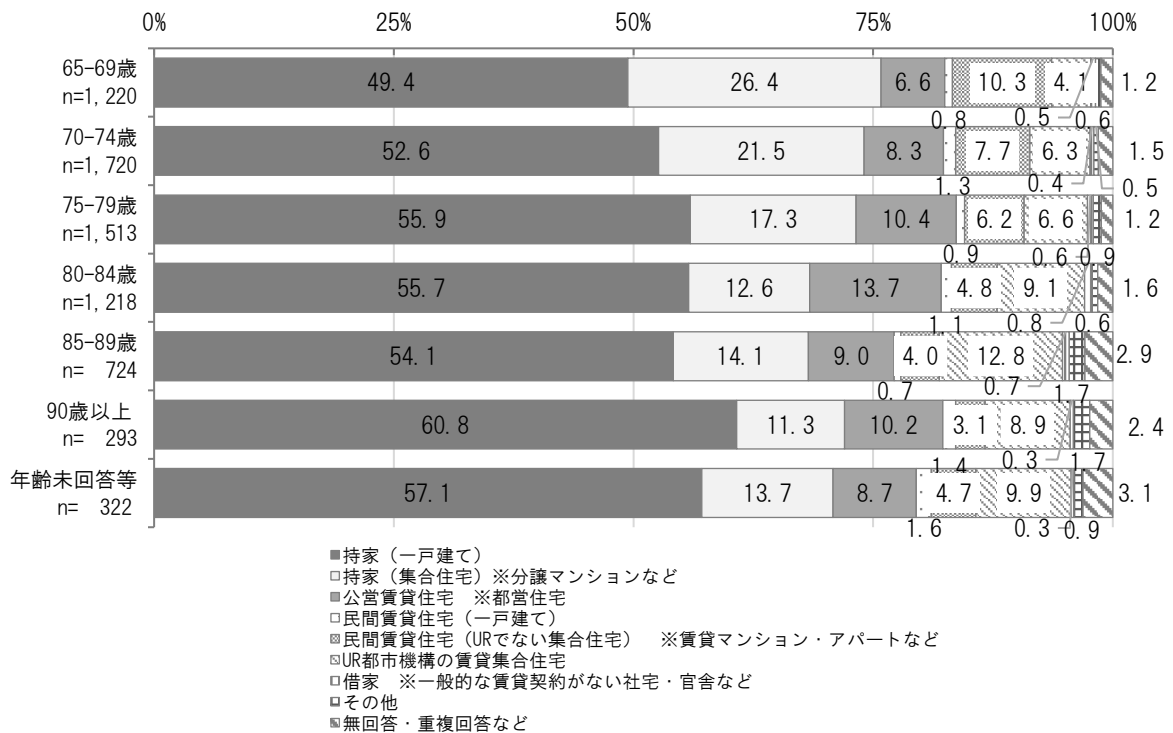
性別で見ると、男性の「持家（一戸建て）」が56.1%と女性より3.6ポイント高くなっています。

年齢階級別で見ると、全ての年代で約半数の方が「持家（一戸建て）」を所有しています。

図表2-2-1 住宅の種類（市全体・性別）

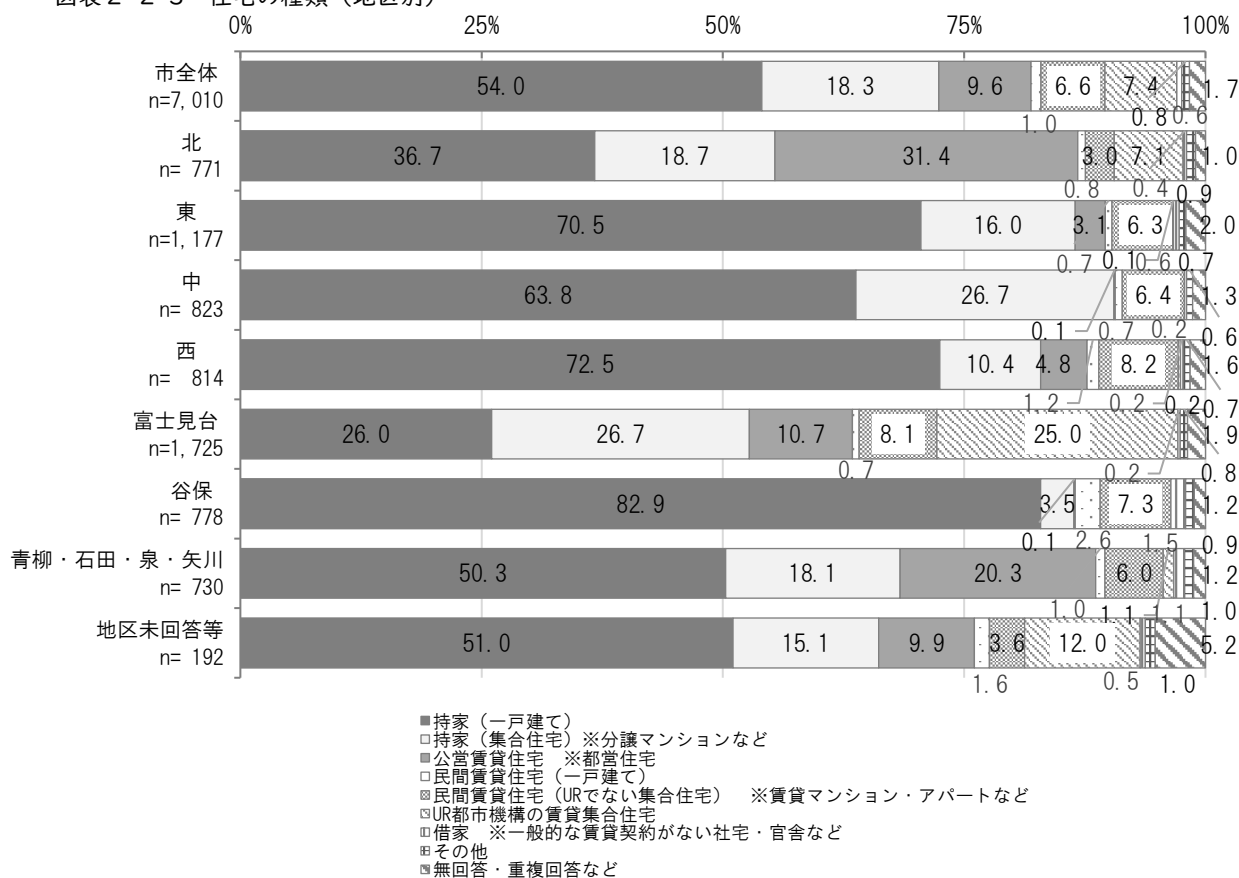


図表2-2-2 住宅の種類（年齢階級別）



地区別でみると、「持家（一戸建て）」が最も高いのは、「谷保地区」の 82.9%、次いで「西地区」の 72.5%となっています。

図表 2-2-3 住宅の種類（地区別）

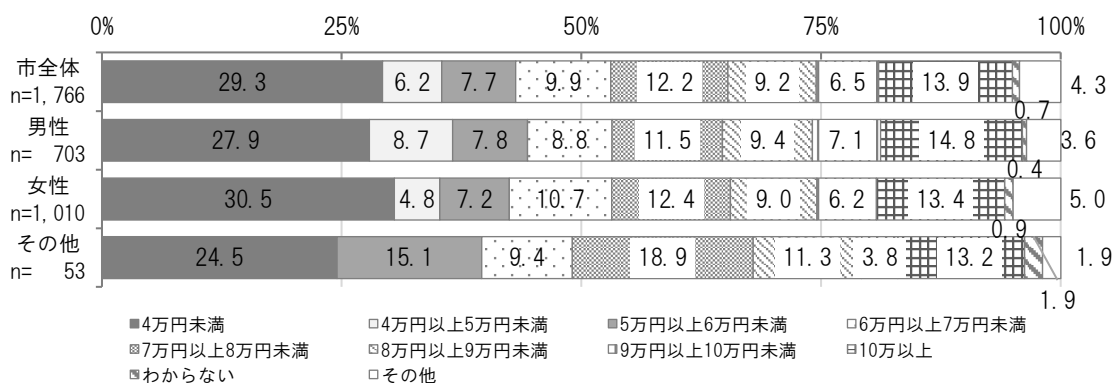


【(1) で賃貸住宅や借家（3・4・5・6・7のいずれか）と回答した方のみ】

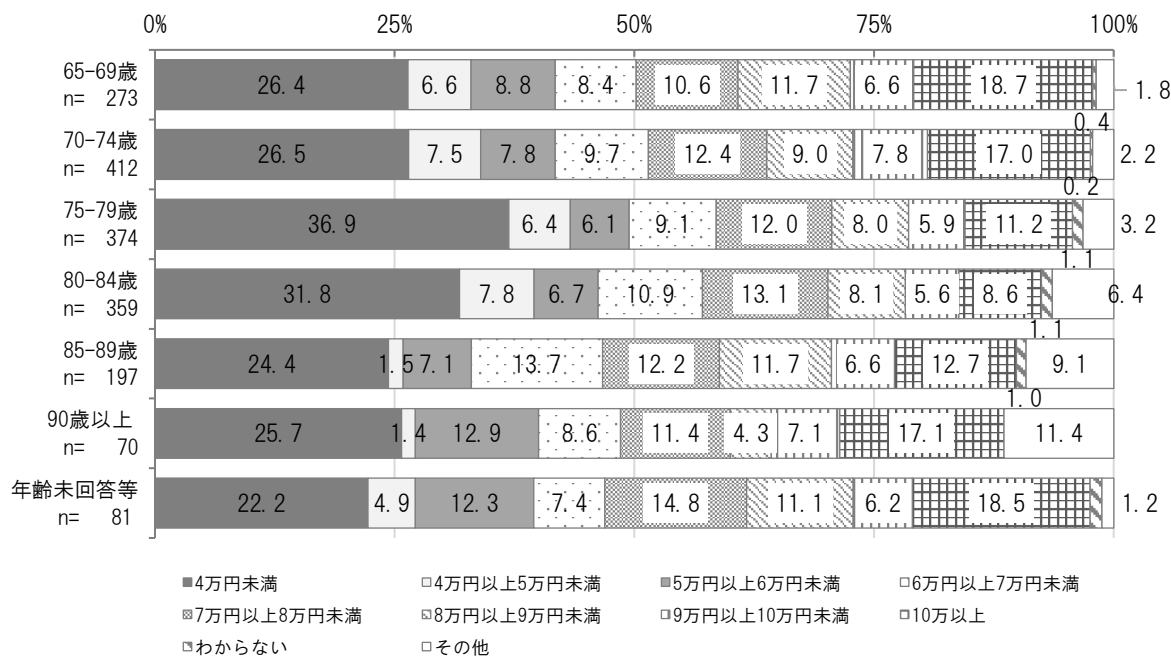
①1 か月の家賃の額はいくらですか

市全体では、「4万円未満」が29.3%と最も高く、次いで「10万円以上」が13.9%、「7万円以上8万円未満」が12.2%となっています。
 性別でみると、女性の「4万円未満」が30.5%と男性より2.6ポイント高くなっています。
 年齢階級別でみると、「75-79歳」の「4万円未満」が36.9%と最も高く、次いで「80-84歳」の31.8%となっています。

図表 2-2-4 1 か月の家賃額（市全体・性別）

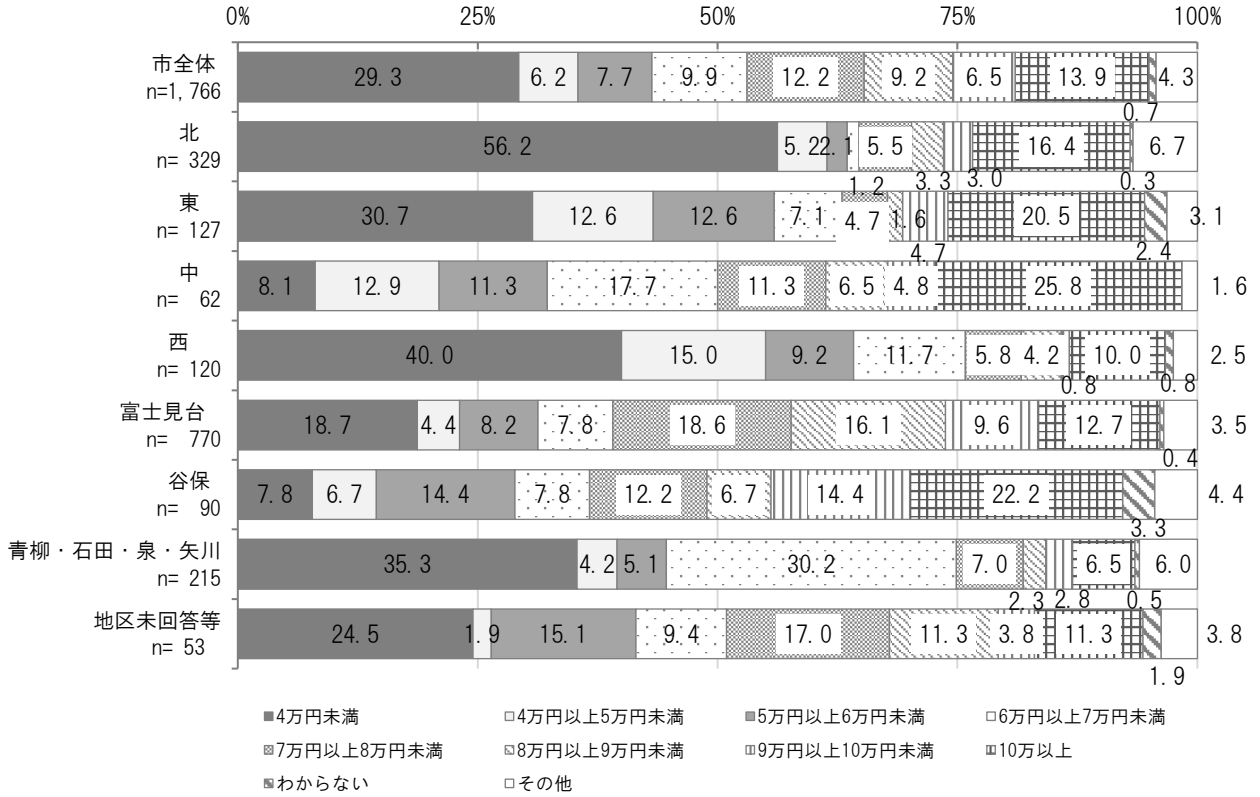


図表 2-2-5 1 か月の家賃額（年齢階級別）



地区別でみると、「4万円未満」が最も高いのは、「北地区」の56.2%、次いで「西地区」の40.0%となっています。

図表 2-2-6 1か月の家賃額（地区別）

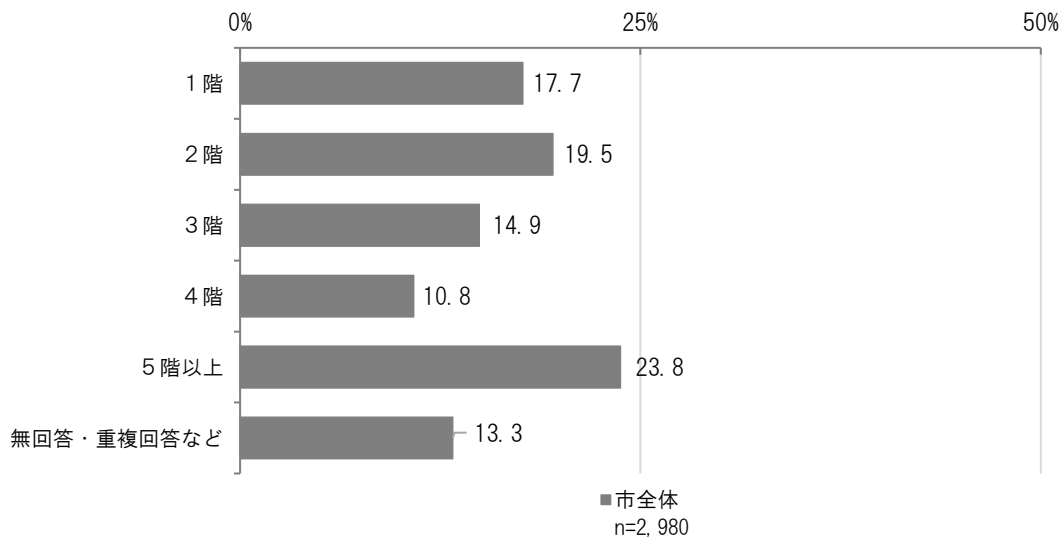


【(1) で賃貸住宅や借家(2・3・5・6・7のいずれか)と回答した方のみ】

②お住まいになっているのは、何階ですか

市全体では、「5階以上」が23.8%と最も高く、次いで「2階」が19.5%、「1階」が17.7%となっています。

図表 2-2-7 住んでいる階層(市全体)



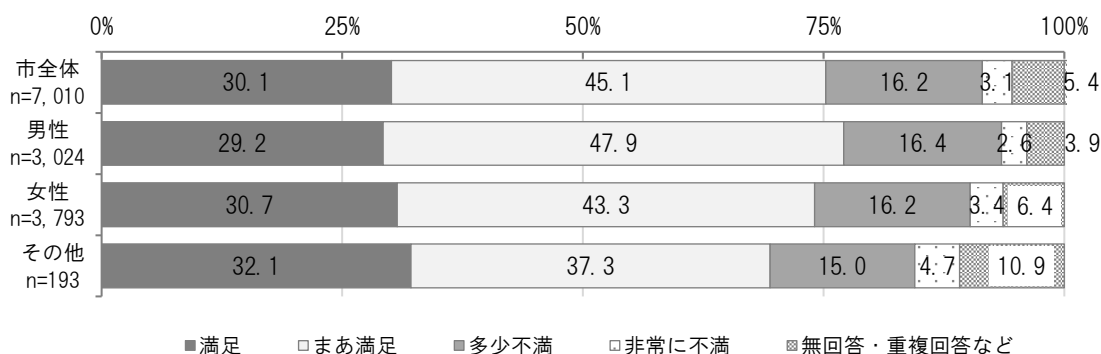
(2) 現在お住まいの住宅（建物）に対する満足度についてあてはまるものに○をしてください
 （あてはまるものに1つに○）

市全体では、「満足（満足+まあ満足）」が75.2%と最も高く、次いで「不満（多少不満+非常に不満）」が19.3%となっています。

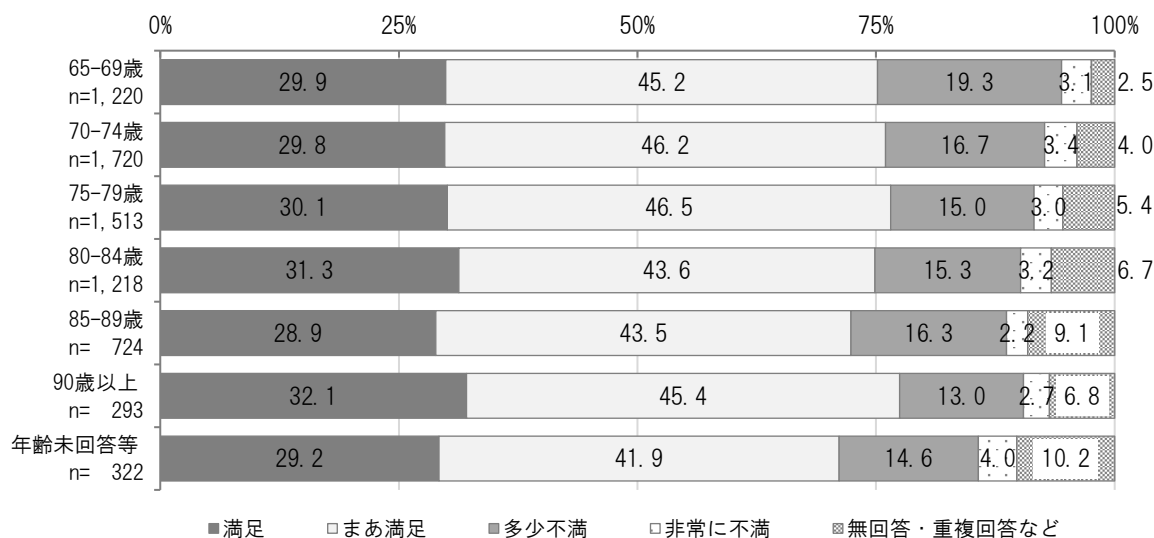
性別でみると、男性の「満足（満足+まあ満足）」が77.1%と女性より3.1ポイント高くなっています。

年齢階級別でみると、「90歳以上」の「満足（満足+まあ満足）」が77.5%と最も高く、次いで「75-79歳」の76.6%となっています。

図表 2-2-8 建物に対する満足度（市全体・性別）

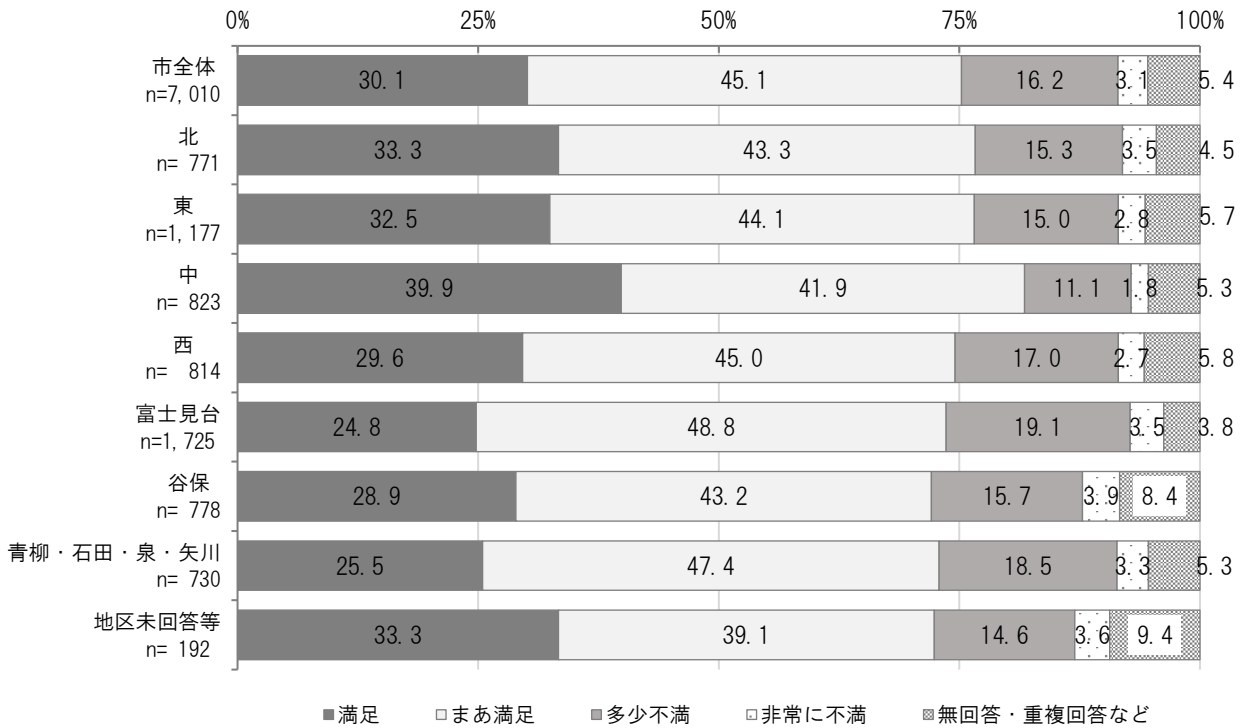


図表 2-2-9 建物に対する満足度（年齢階級別）



地区別でみると、「満足（満足+まあ満足）」が最も高いのは、「中地区」の 81.8%、次いで「北地区」「東地区」の 76.6%となっています。

図表 2-2-10 建物に対する満足度（地区別）



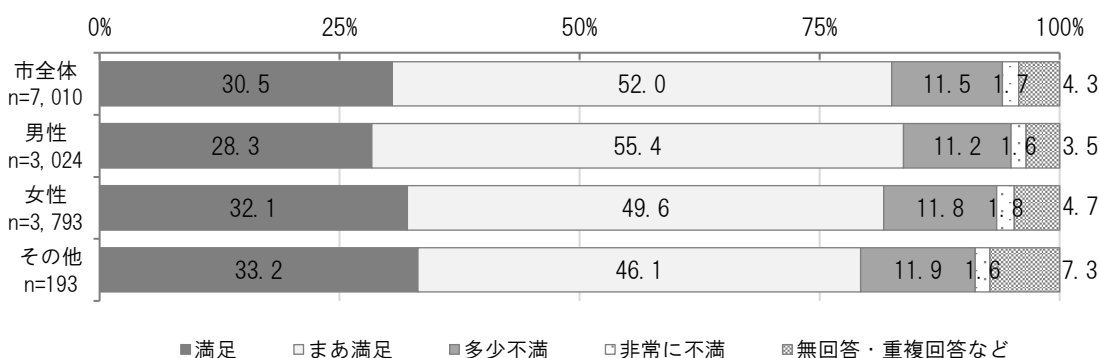
(3) 現在お住まいの住宅まわりの環境に対する満足度についてあてはまるものに○をしてください（あてはまるものに1に○）

市全体では、「満足（満足+まあ満足）」が82.5%と最も高く、次いで「不満（多少不満+非常に不満）」が13.2%となっています。

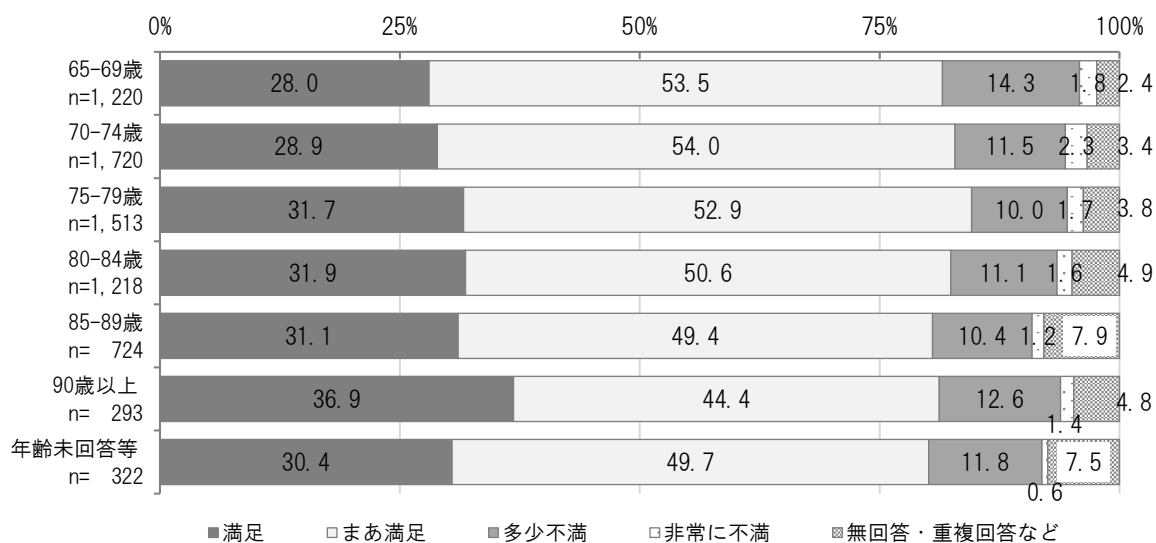
性別でみると、男性の「満足（満足+まあ満足）」が83.7%と女性より2ポイント高くなっています。

年齢階級別でみると、「75-79歳」の「満足（満足+まあ満足）」が84.6%と最も高く、次いで「70-74歳」の82.9%となっています。

図表 2-2-11 住宅まわりの環境に対する満足度（市全体・性別）

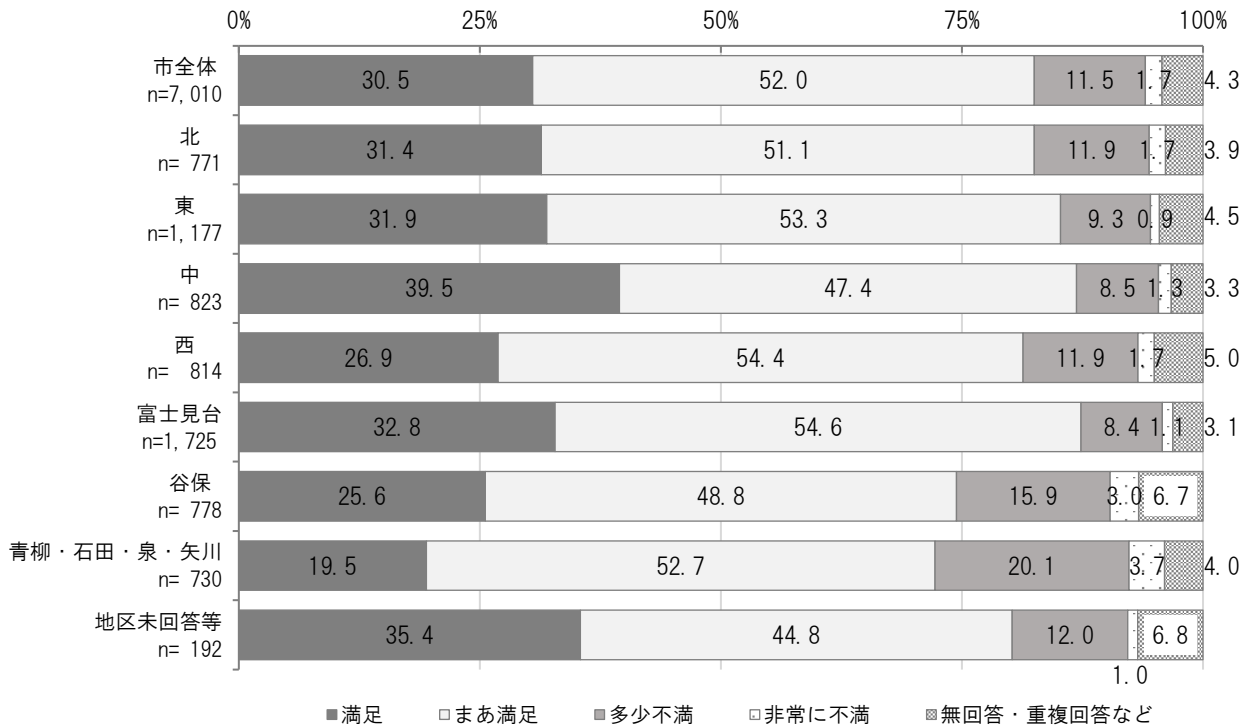


図表 2-2-12 住宅まわりの環境に対する満足度（年齢階級別）



地区別でみると、「満足（満足+まあ満足）」が最も高いのは「富士見台地区」の87.4%、次いで「中地区」の86.9%となっています。

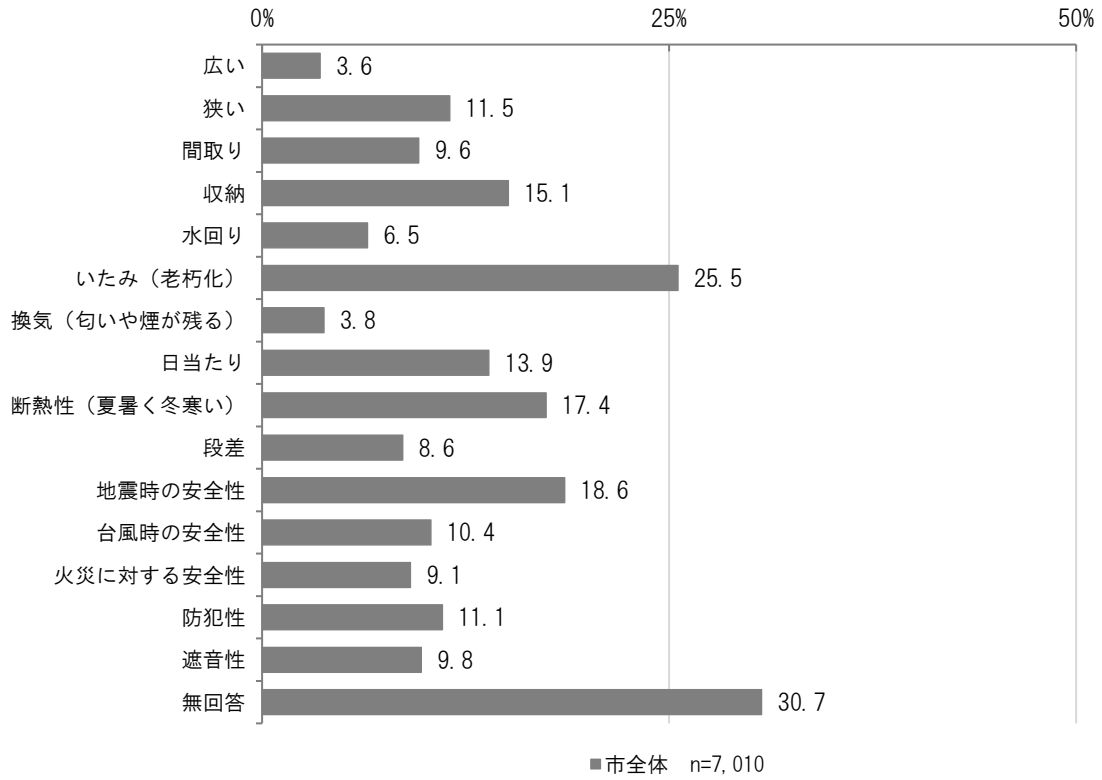
図表 2-2-13 住宅まわりの環境に対する満足度（地区別）



(4) 現在お住まいの住宅について、不満なことがあれば○をしてください
 (あてはまるものにすべてに○)

市全体では、「いたみ(老朽化)」が25.5%と最も高く、次いで「地震時の安全性」が18.6%となっています。

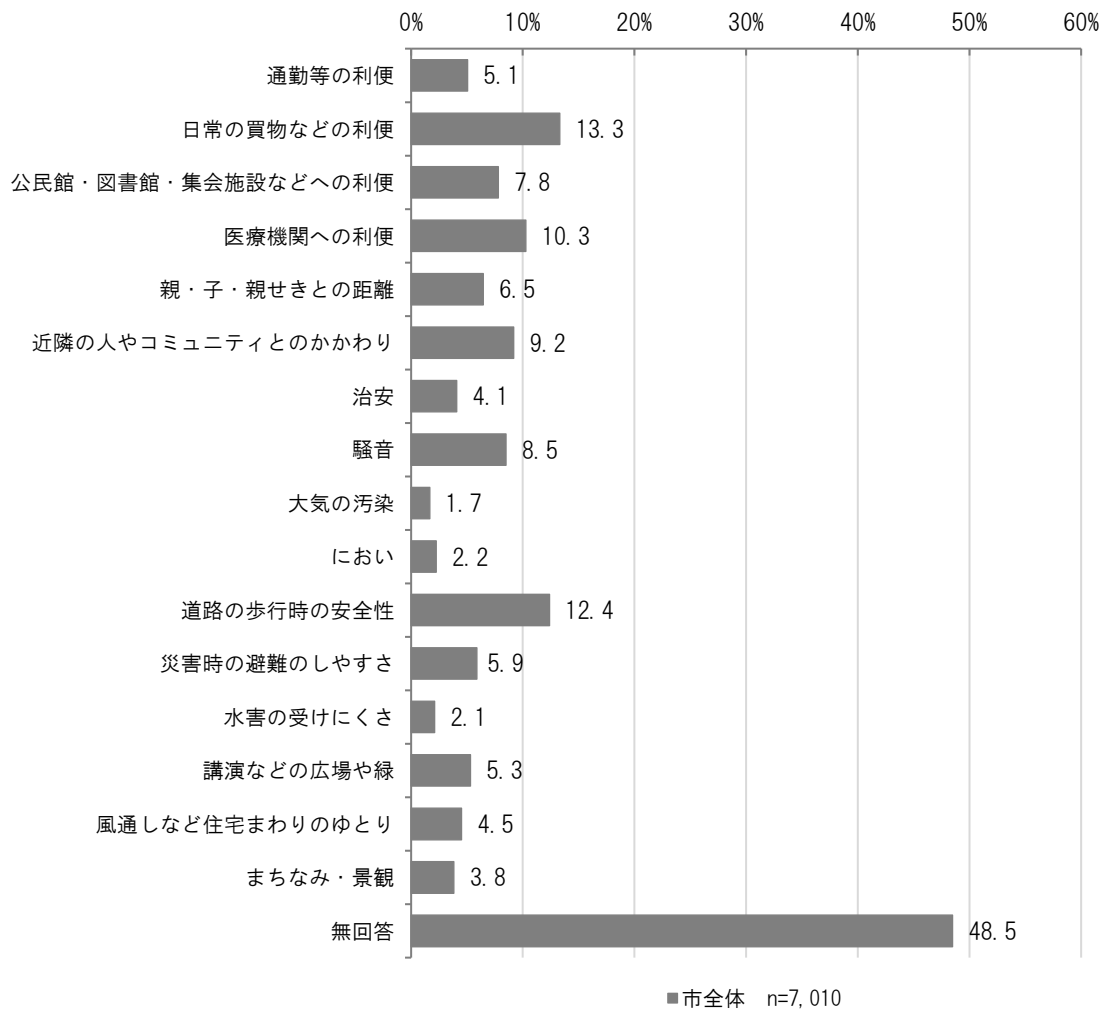
図表 2-2-14 住宅の不満について(市全体)



(5) 現在お住まいの住宅のまわりの環境について、不満なことがあれば○をしてください
 (あてはまるものにすべてに○)

市全体では、「日常の買物などの利便」が13.3%と最も高く、次いで「道路の歩行時の安全性」が12.4%となっています。

図表 2-2-15 住宅まわりの環境についての不満 (市全体)

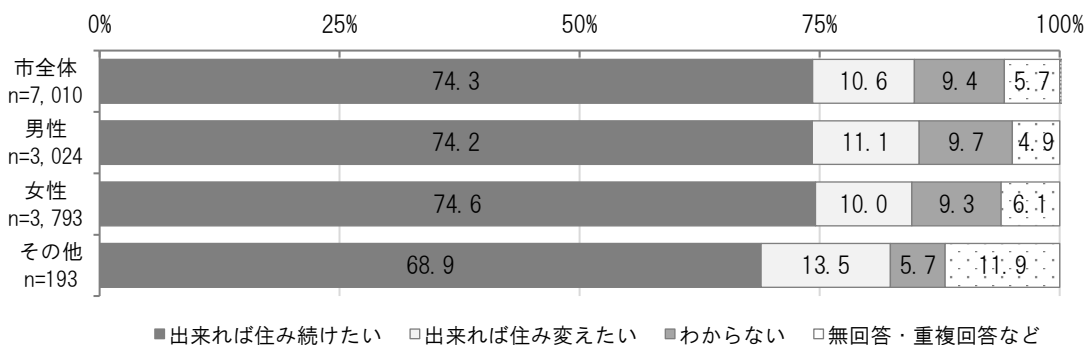


(6) 現在のお住まいに住み続けたいと思いますか。あてはまるものに○をしてください
(1つに○)

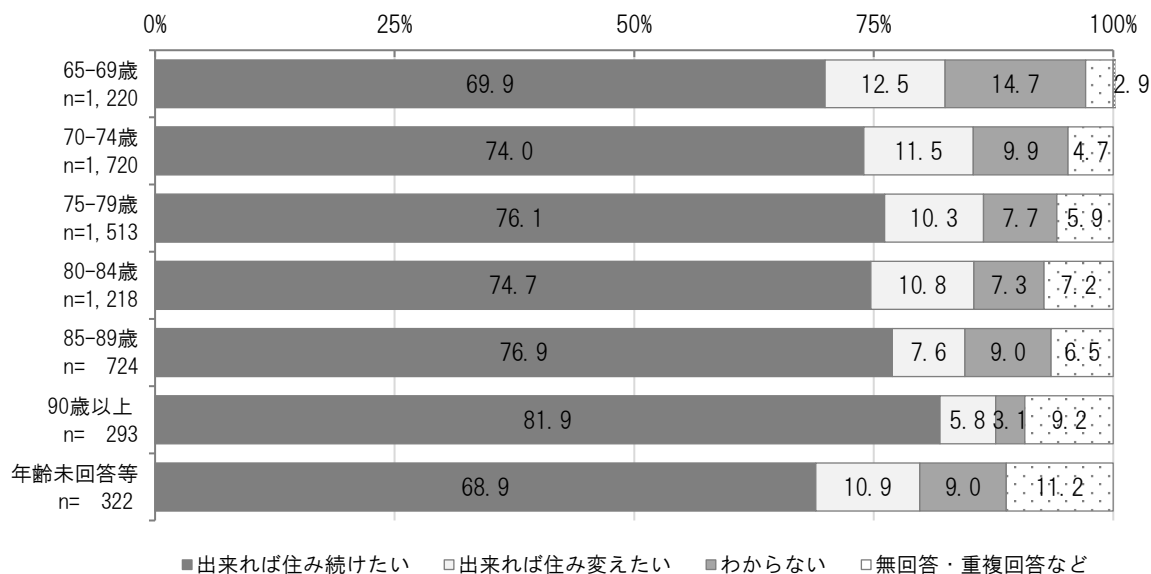
市全体では、「出来れば住み続けたい」が74.3%と最も高く、次いで「出来れば住み変えたい」が10.6%、となっています。

性別、年齢階級別でみると、市全体と同様の結果となっています。

図表 2-2-16 現在の住まいに住み続けたいか（市全体・性別）

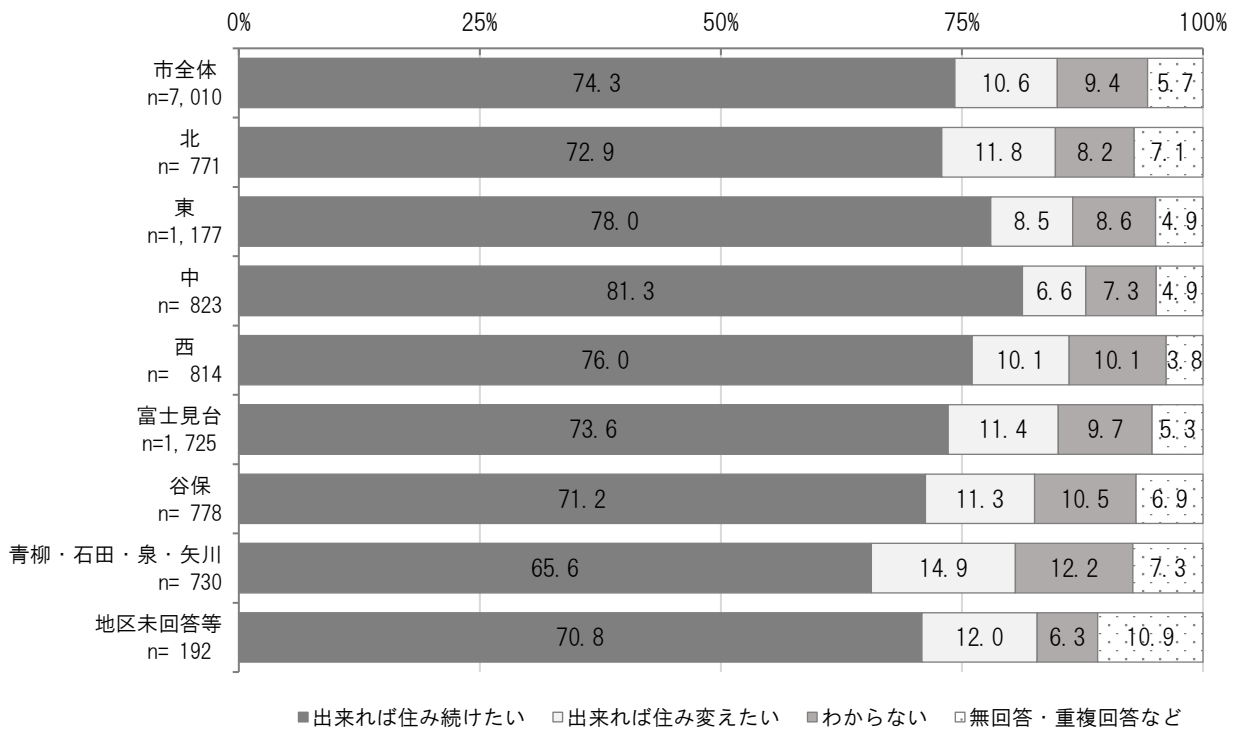


図表 2-2-17 現在の住まいに住み続けたいか（年齢階級別）



地区別でみると、「出来れば住み続けたい」が最も高いのは、「中地区」の81.3%、次いで「東地区」の78.0%となっています。

図表 2-2-18 現在の住まいに住み続けたいか（地区別）

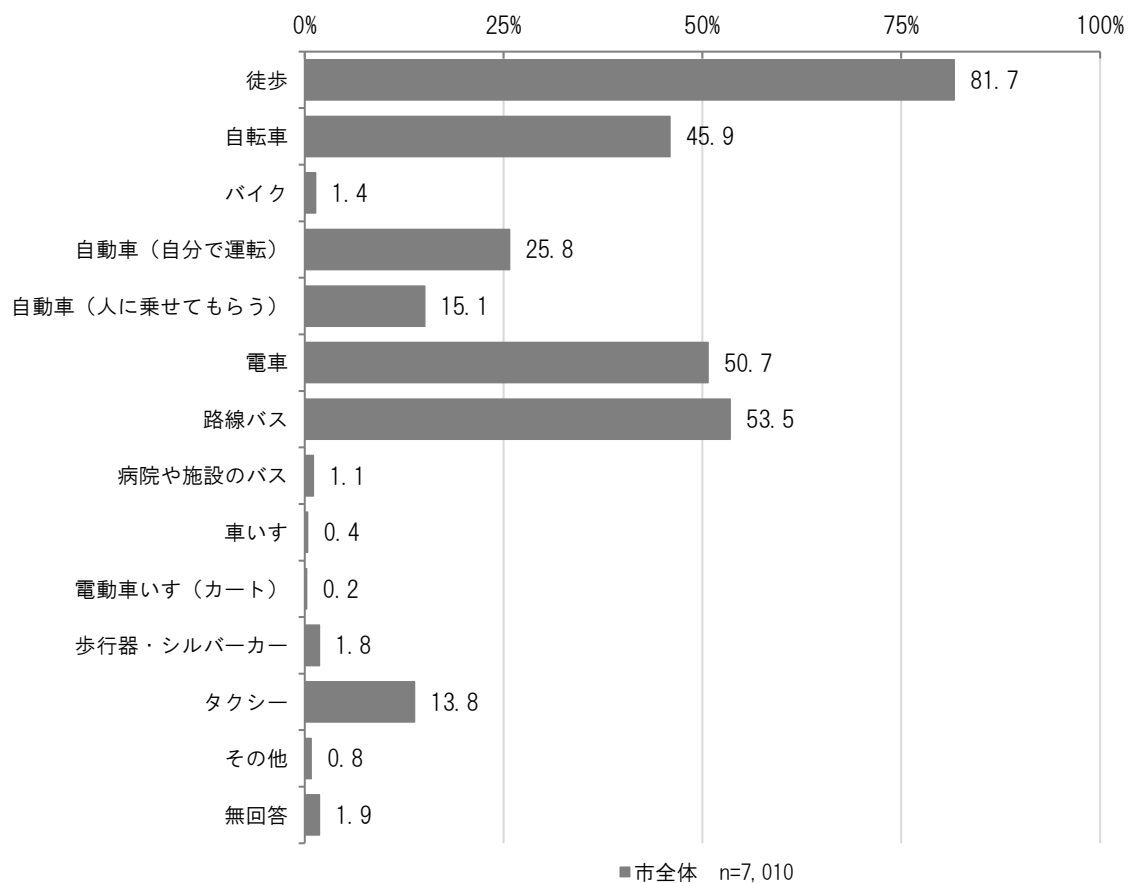


問3 からだを動かすことについて

(8) 外出する際の移動手段は何ですか（あてはまるものにすべてに○）

市全体では、「徒歩」が81.7%と最も高く、次いで「路線バス」が53.5%、「電車」が50.7%となっています。

図表 2-3-1 外出する際の移動手段（市全体）

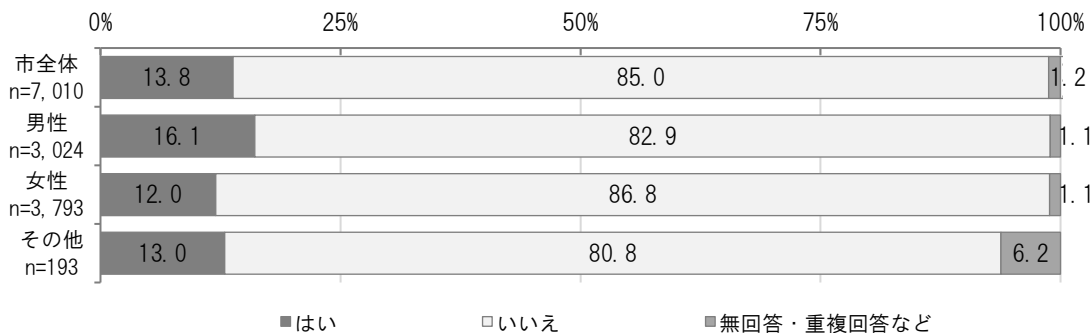


問4 食べることについて

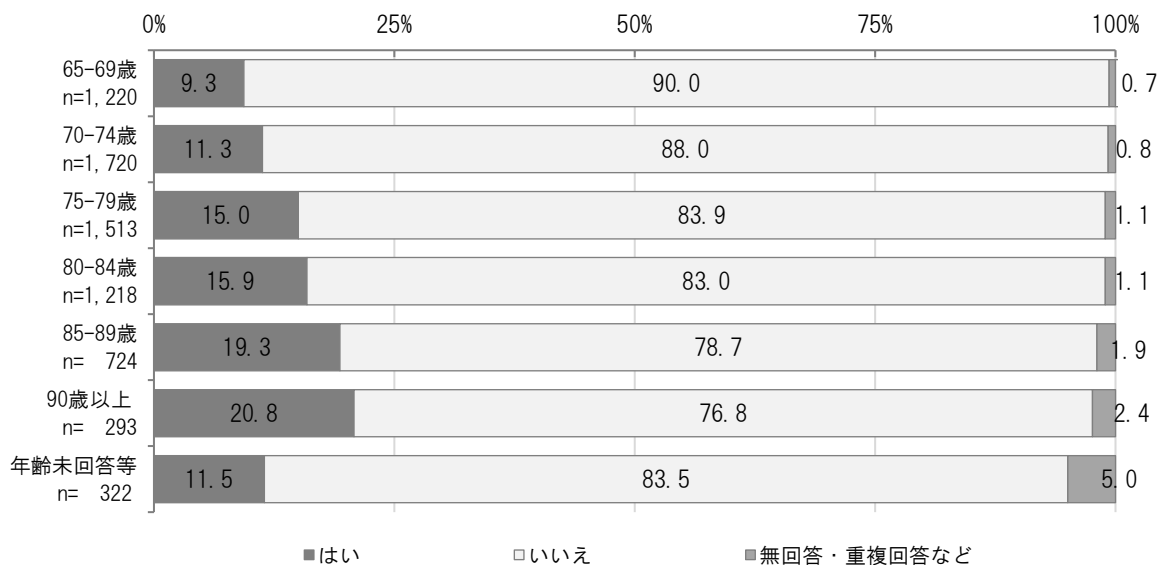
(5) 口から食べ物がこぼれてしまうことがありますか

市全体では、「いいえ」が85.0%となっています。
性別で見ると、男性の「はい」が16.1%と女性より4.1ポイント高くなっています。
年齢階級別で見ると、「はい」が年齢を重ねるにつれて、上昇傾向となっています。

図表 2-4-1 食べ物がこぼれるかの有無（市全体・性別）

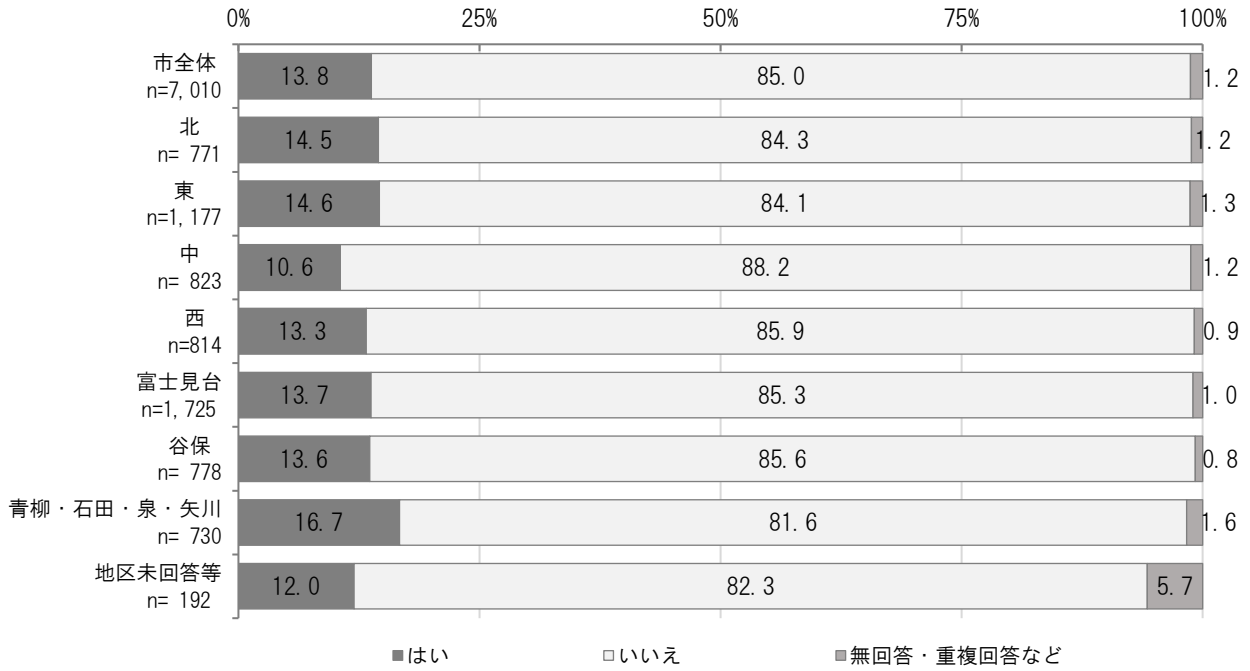


図表 2-4-2 食べ物がこぼれるかの有無（年齢階級別）



地区別でみると、「はい」が最も高いのは、「青柳・石田・泉・矢川地区」の16.7%、次いで「東地区」の14.6%となっています。

図表 2-4-3 食べ物がこぼれるかの有無（地区別）



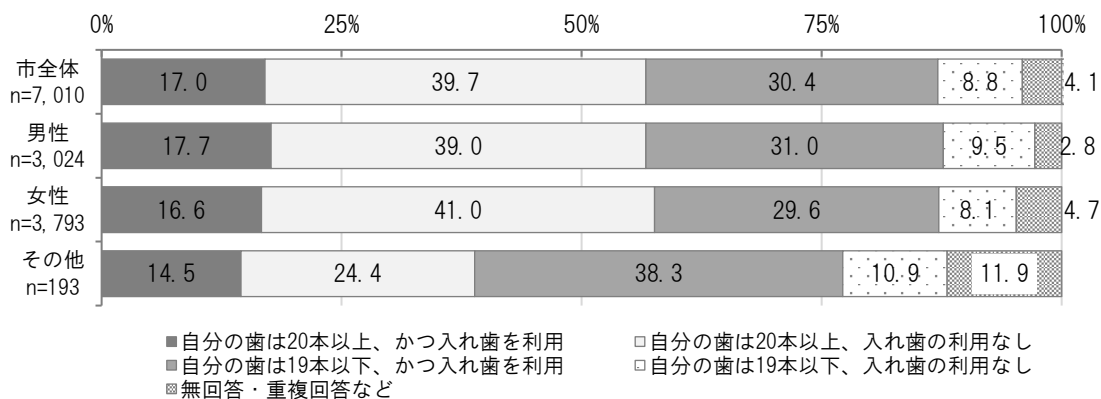
(6) 歯の数と入れ歯の利用状況を教えてください。(〇は1つ)

市全体では、「自分の歯は 20 本以上、入れ歯の利用なし」が 39.7%と最も高く、次いで「自分の歯は 19 本以下、かつ入れ歯の利用」が 30.4%となっています。

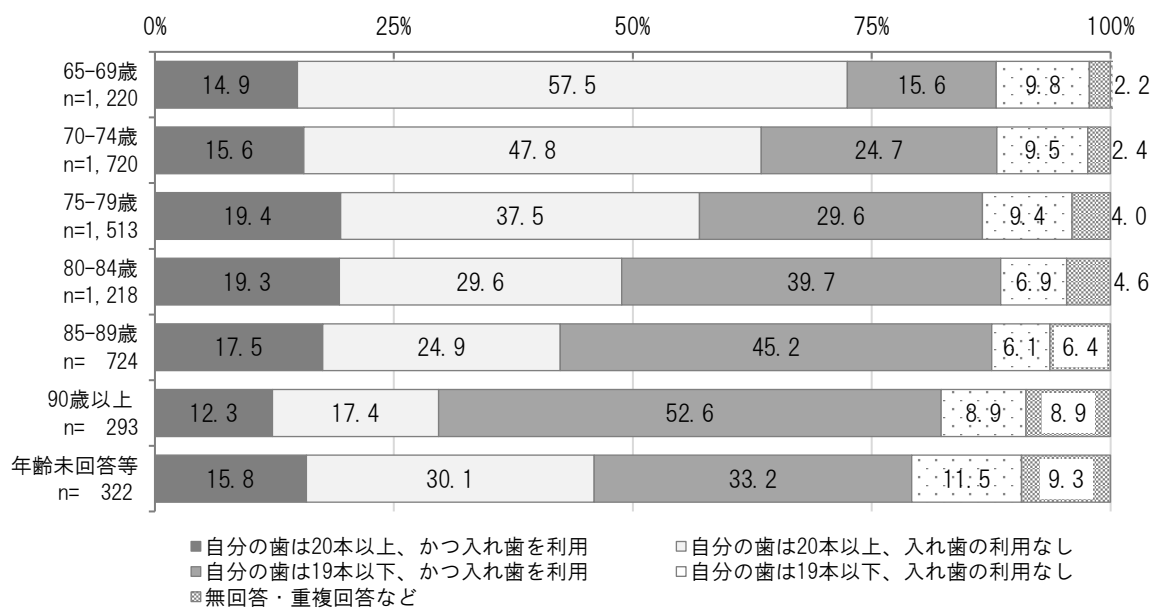
性別でみると、男性の「自分の歯は 19 本以下、かつ入れ歯の利用」が 31.0%と女性より 1.4 ポイント高くなっています。

年齢階級別でみると、「自分の歯は 19 本以下、かつ入れ歯の利用」が年齢を重ねるにつれて上昇傾向となっています。

図表 2-4-4 歯の数と入れ歯の利用状況（市全体・性別）

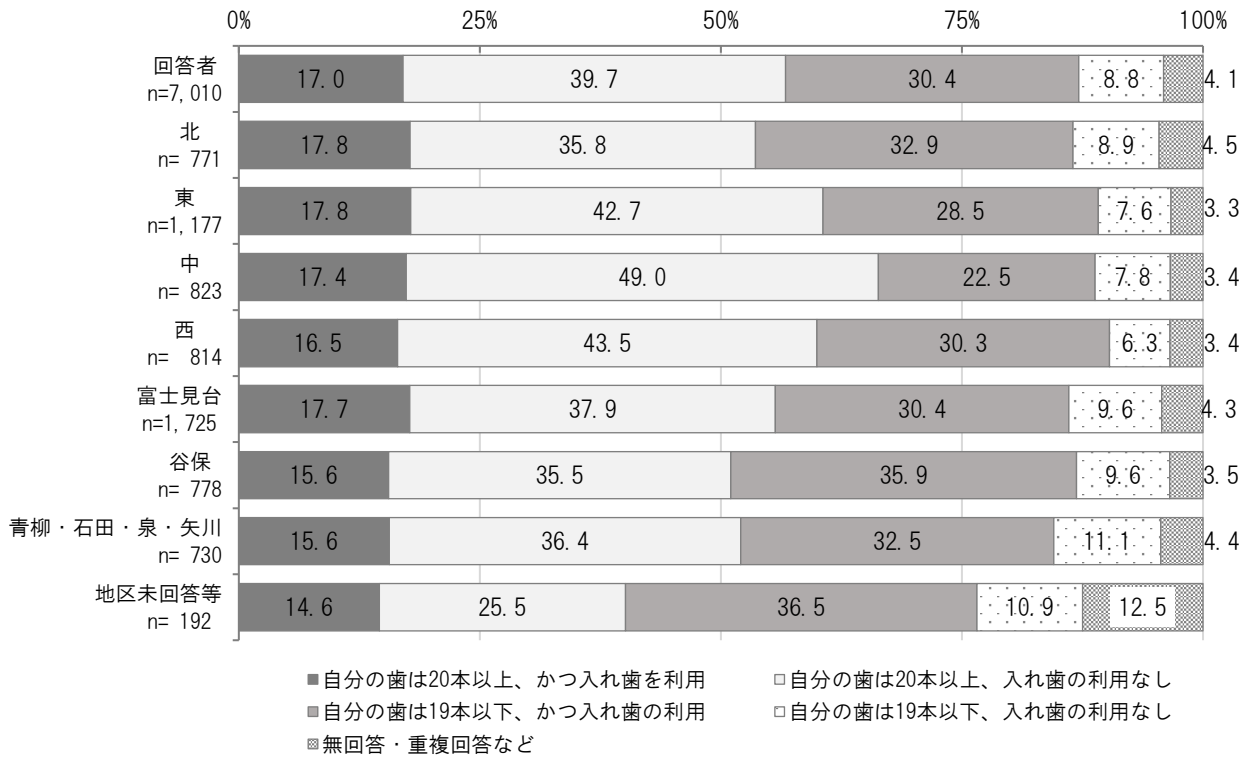


図表 2-4-5 歯の数と入れ歯の利用状況（年齢階級別）



地区別でみると、「自分の歯は 19 本以下、かつ入れ歯の利用」が最も高いのは、「谷保地区」の 35.9%、次いで「北地区」の 32.9%となっています。

図表 2-4-6 歯の数と入れ歯の利用状況（地区別）



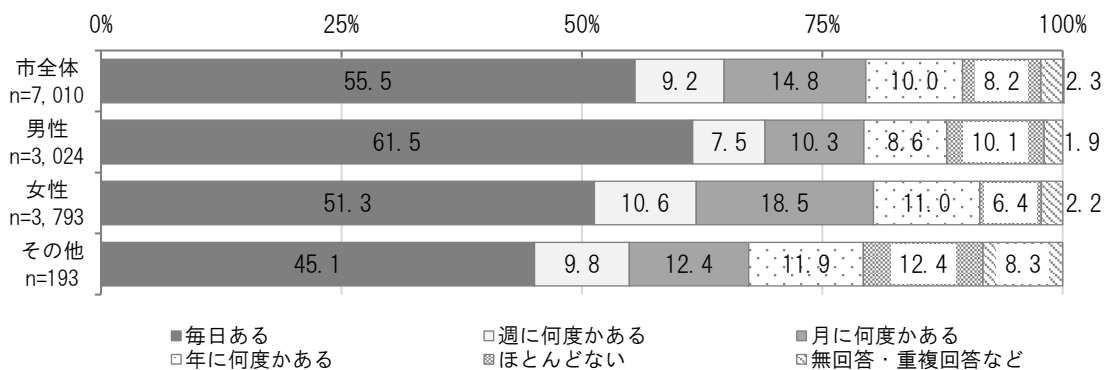
(8) どなたかと食事を共にする機会はありますか (〇は1つ)

市全体では、「毎日ある」が55.5%と最も高く、次いで「月に何度かある」が14.8%となっています。

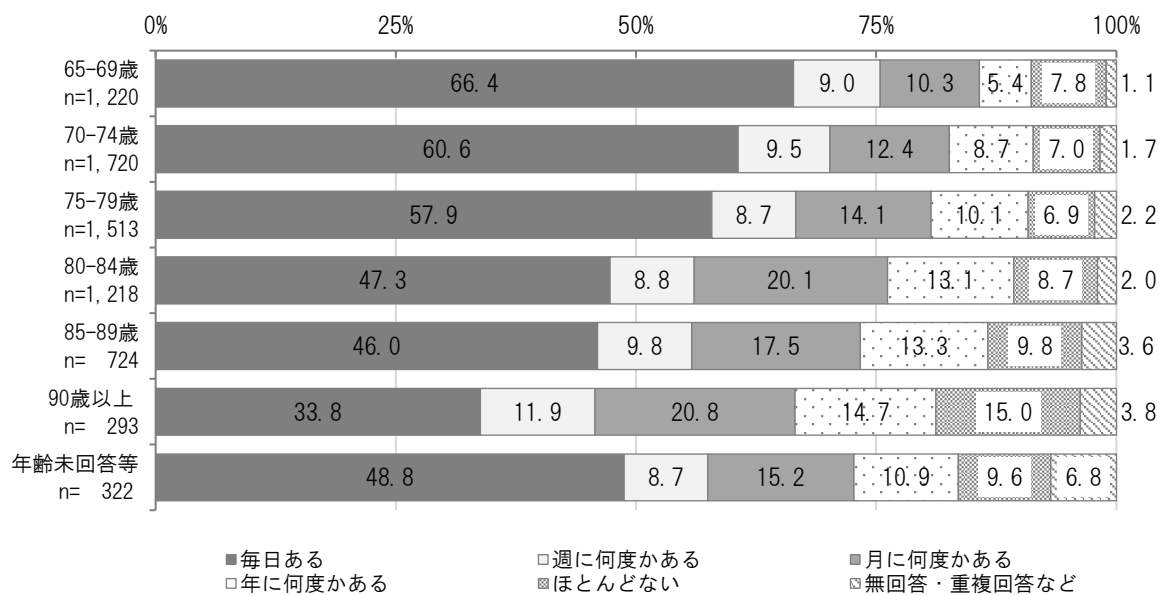
性別で見ると、男性の「毎日ある」が61.5%と女性より10.2ポイント高くなっています。

年齢階級別で見ると、「毎日ある」が年齢を重ねるにつれて減少傾向となっています。

図表 2-4-7 食事を共にする機会 (市全体・性別)

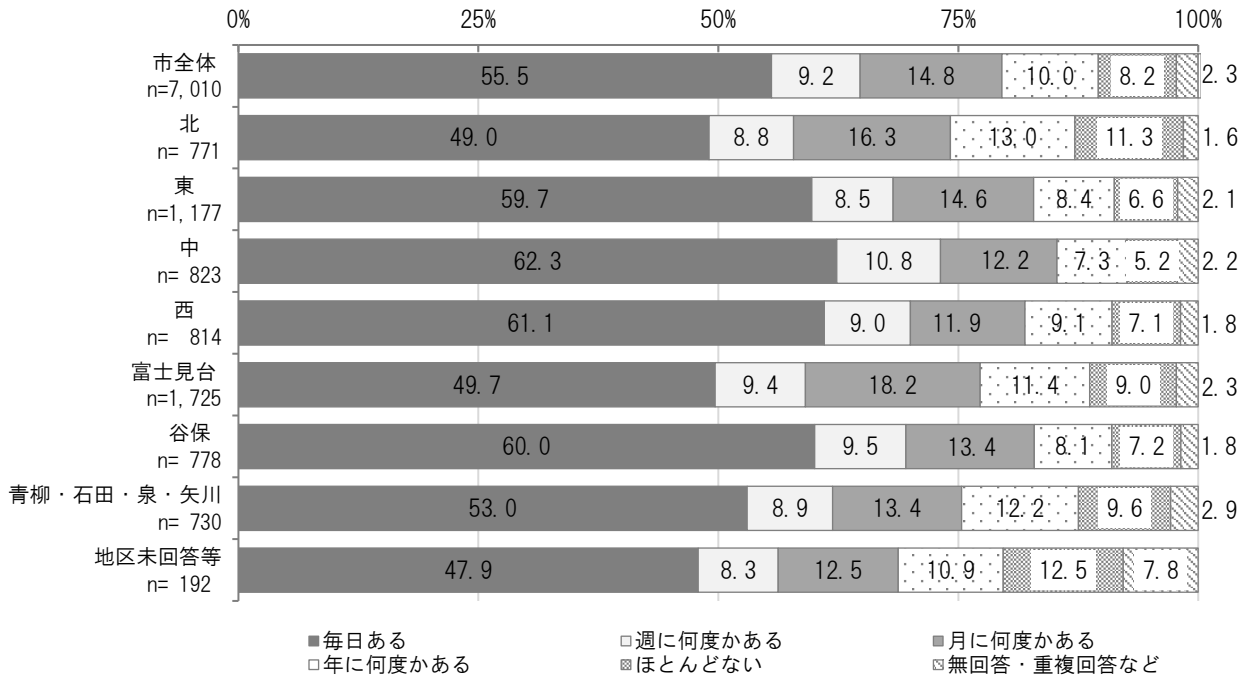


図表 2-4-8 食事を共にする機会 (年齢階級別)



地区別で見ると、「ほとんどない」が最も高いのは、「北地区」の11.3%、次いで「青柳・石田・泉・矢川地区」の9.6%となっています。

図表 2-4-9 食事を共にする機会（地区別）



【(8) で食事を共にする機会がある (1・2・3・4のいずれか) に回答した方のみ】

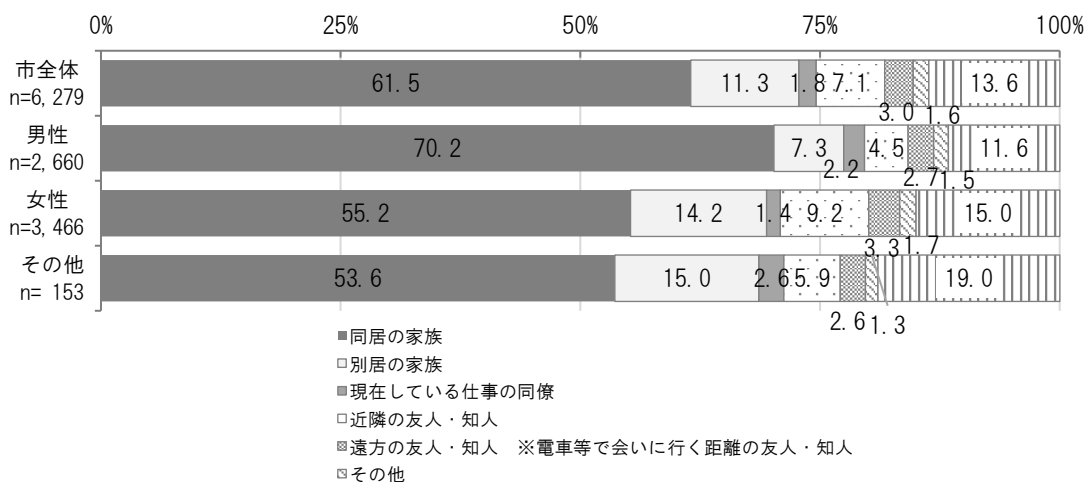
①どなたと食事を共にしていますか。(〇は1つ)

市全体では、「同居の家族」が61.5%と最も高く、次いで「別居の家族」が11.3%となっています。

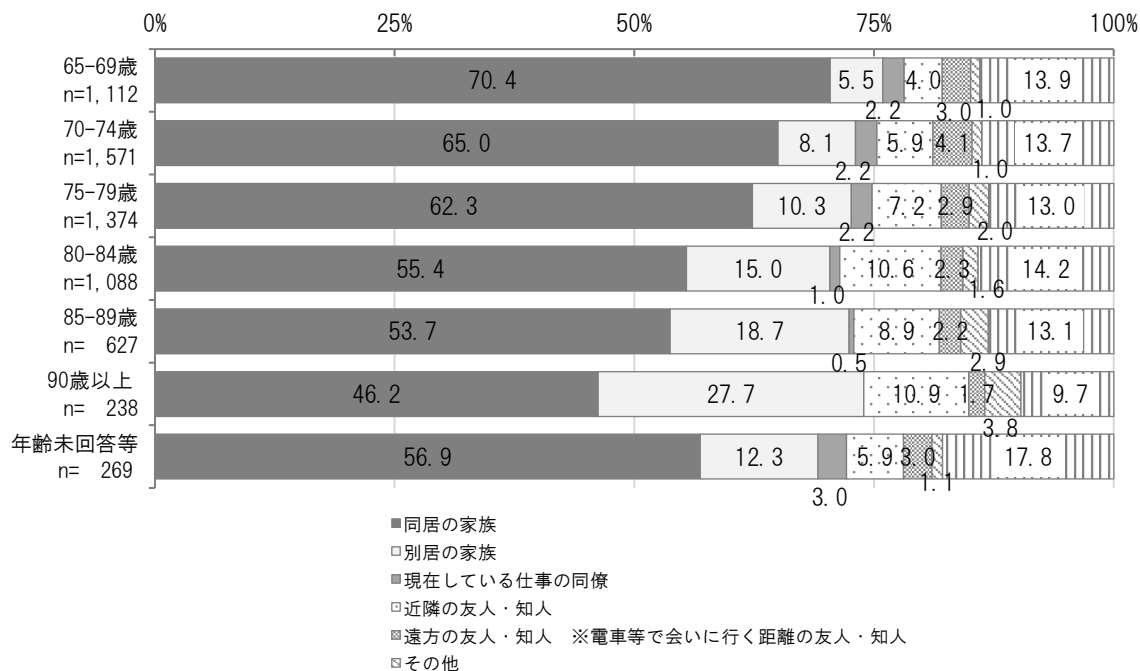
性別で見ると、男性の「同居の家族」が70.2%と女性より15.0ポイント高くなっています。

年齢階級別で見ると、「同居の家族」が年齢を重ねるにつれて減少傾向となり、反対に「別居の家族」が上昇傾向となっています。

図表 2-4-10 誰と食事を共にしているか (市全体・性別)

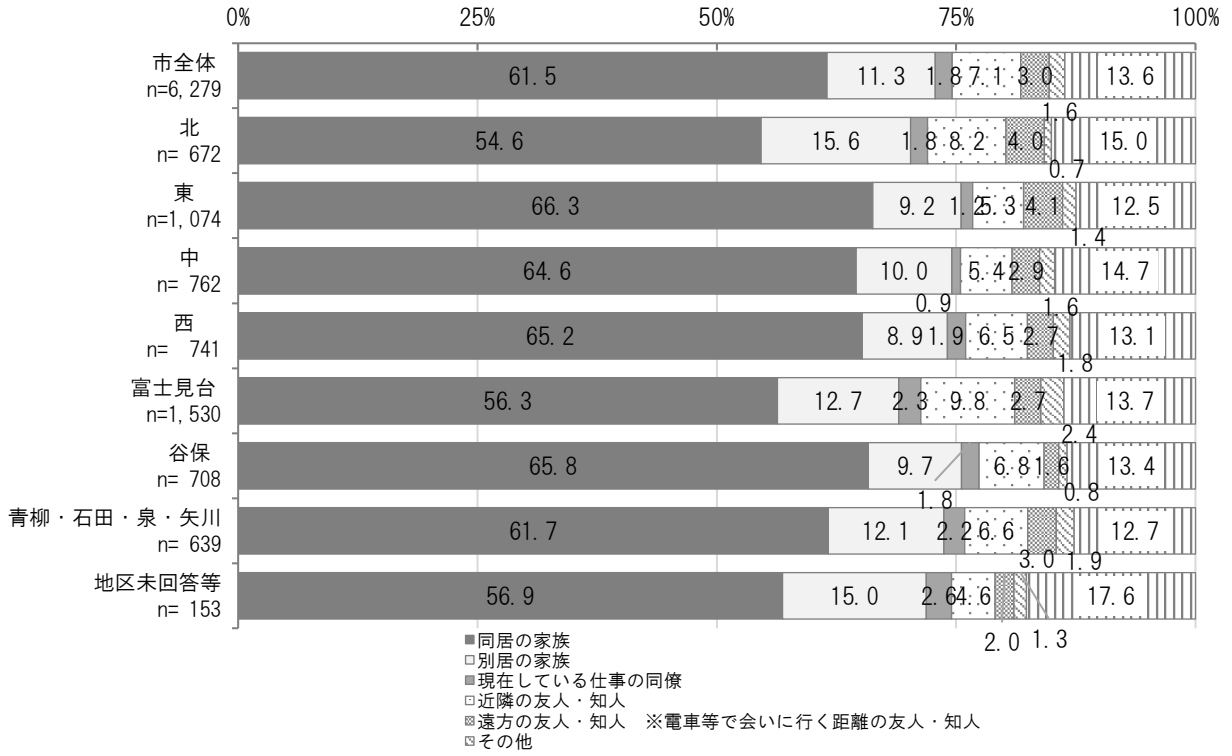


図表 2-4-11 誰と食事を共にしているか (年齢階級別)



地区別でみると、「同居の家族」が最も高いのは、「東地区」の66.3%、次いで「谷保地区」の65.8%となっています。

図表 2-4-12 誰と食事を共にしているか（地区別）

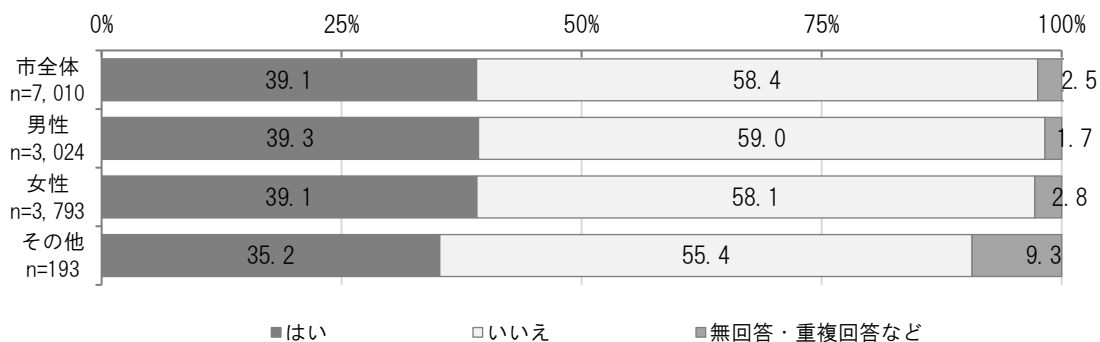


問5 毎日の生活について

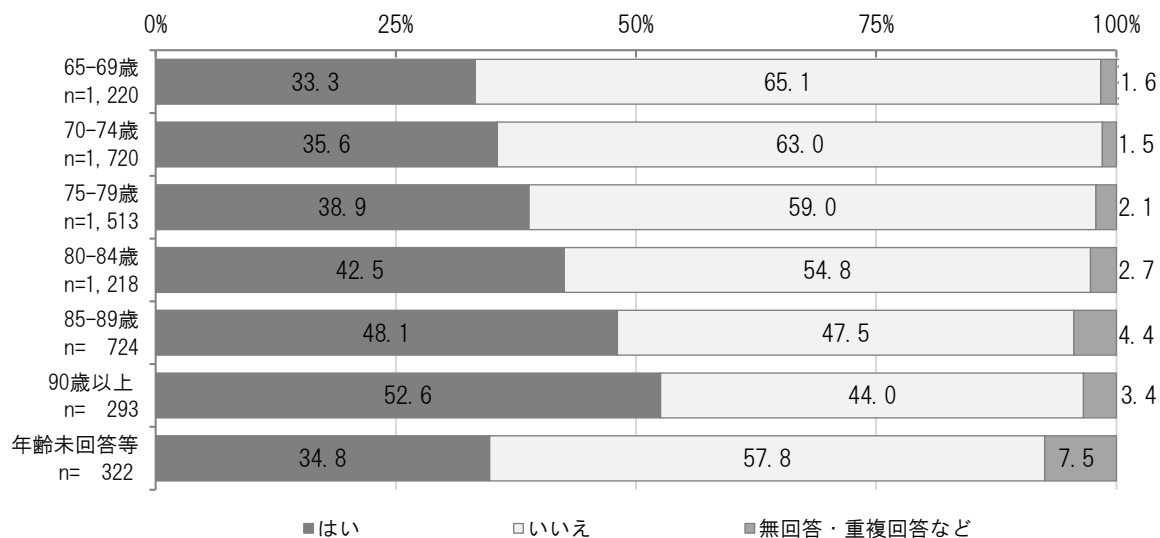
(1) 物忘れが多いと感じますか

市全体では、「いいえ」が58.4%と最も高くなっています。
 性別でみると、市全体と同様となっています。
 年齢階級別でみると、「はい」が年齢を重ねるにつれて、上昇傾向となっています。

図表 2-5-1 物忘れが多いと感じる（市全体・性別）

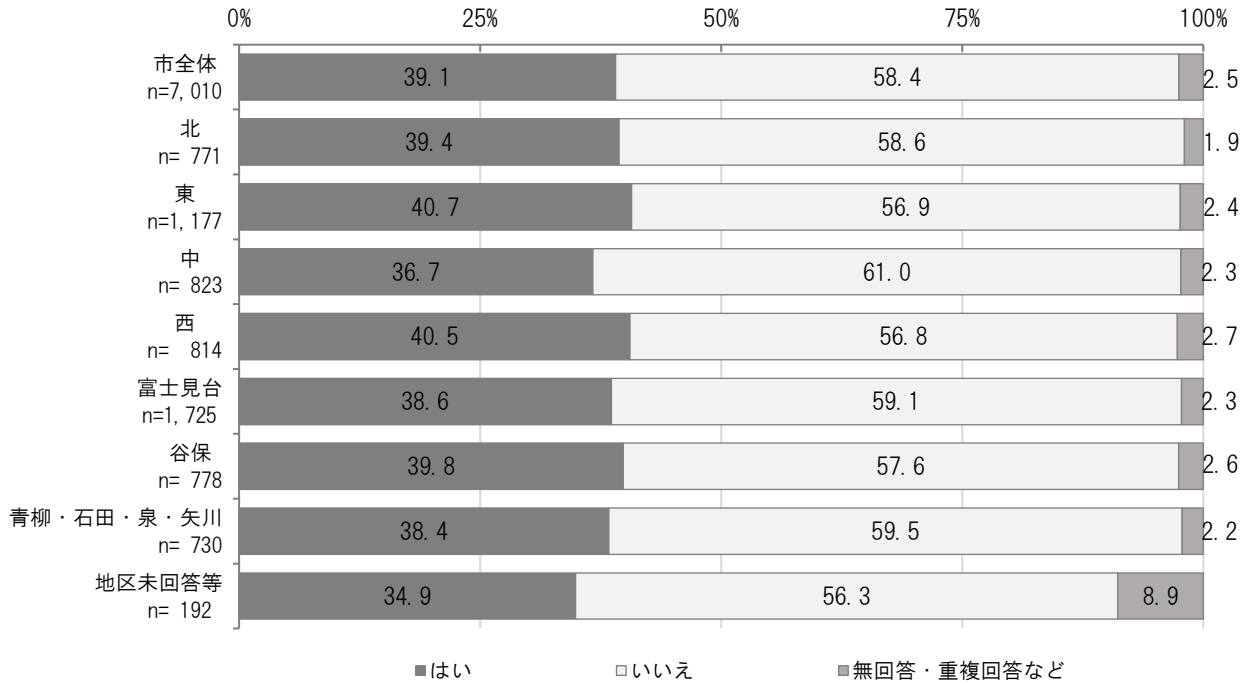


図表 2-5-2 物忘れが多いと感じる（年齢階級別）



地区別でみると、「はい」が最も高いのは、「東地区」の40.7%、次いで「西地区」の40.5%となっています。

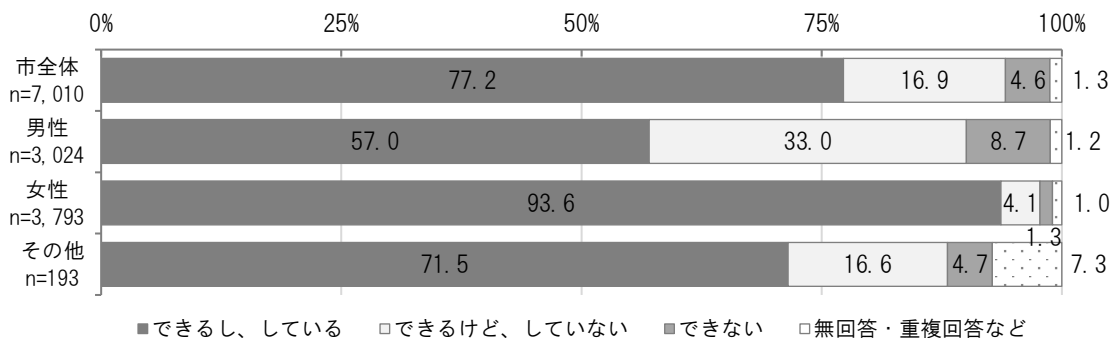
図表 2-5-3 物忘れが多いと感じる（地区別）



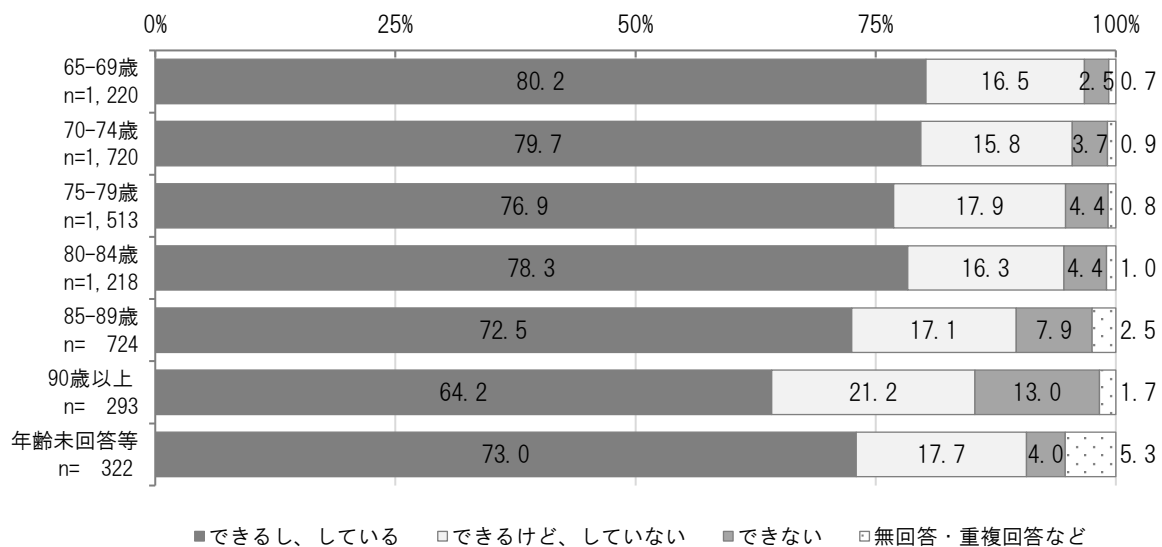
(6) 自分で食事の用意をしていますか

市全体では、「できるし、している」が77.2%と最も高くなっています。
 性別でみると、女性の「できるし、している」が93.6%と男性より36.6ポイント高くなっています。
 年齢階級別でみると、「できるけど、していない」が90歳以上になると2割を超えています。

図表 2-5-4 自分で食事の用意ができるか（市全体・性別）

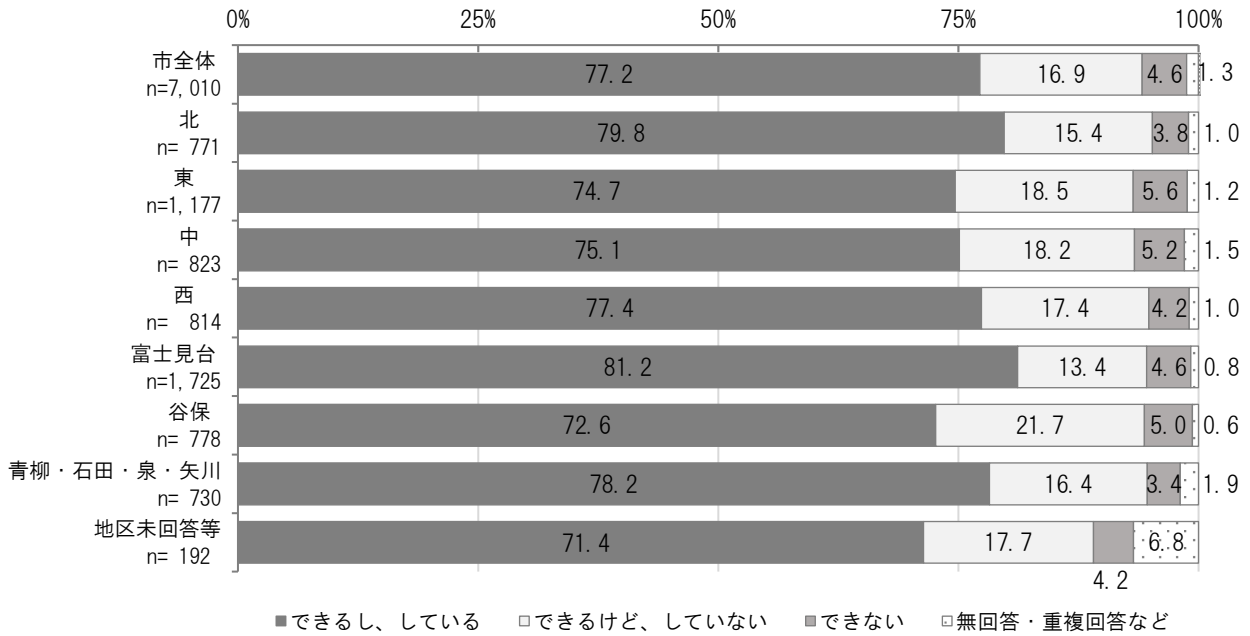


図表 2-5-5 自分で食事の用意ができるか（年齢階級別）



地区別で見ると、「できるけど、していない」が最も高いのは、「谷保地区」の21.7%、次いで「東地区」の18.5%となっています。

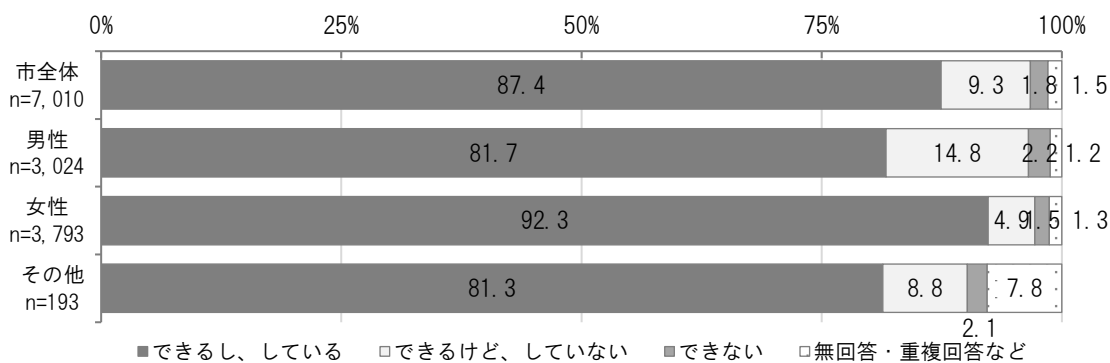
図表 2-5-6 自分で食事の用意ができるか（地区別）



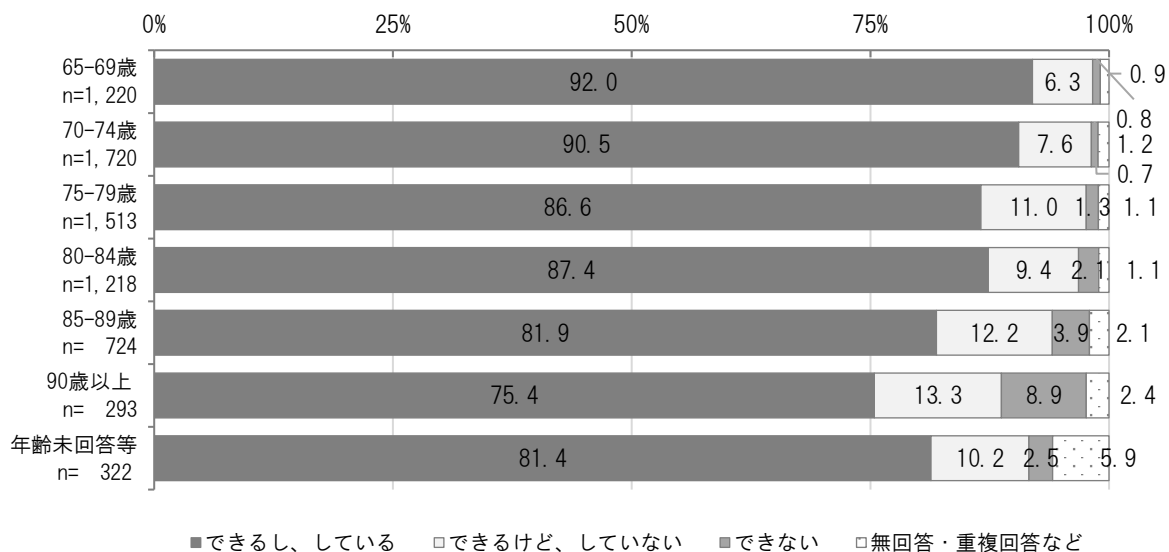
(7) 自分で請求書の支払いをしていますか

市全体では、「できるし、している」が87.4%と最も高くなっています。
 性別でみると、女性の「できるし、している」が92.3%と男性より10.6ポイント高くなっています。
 年齢階級別でみると、「できない」が年齢を重ねるにつれて、上昇傾向となっています。

図表 2-5-7 自分で請求書の支払いができるか（市全体・性別）

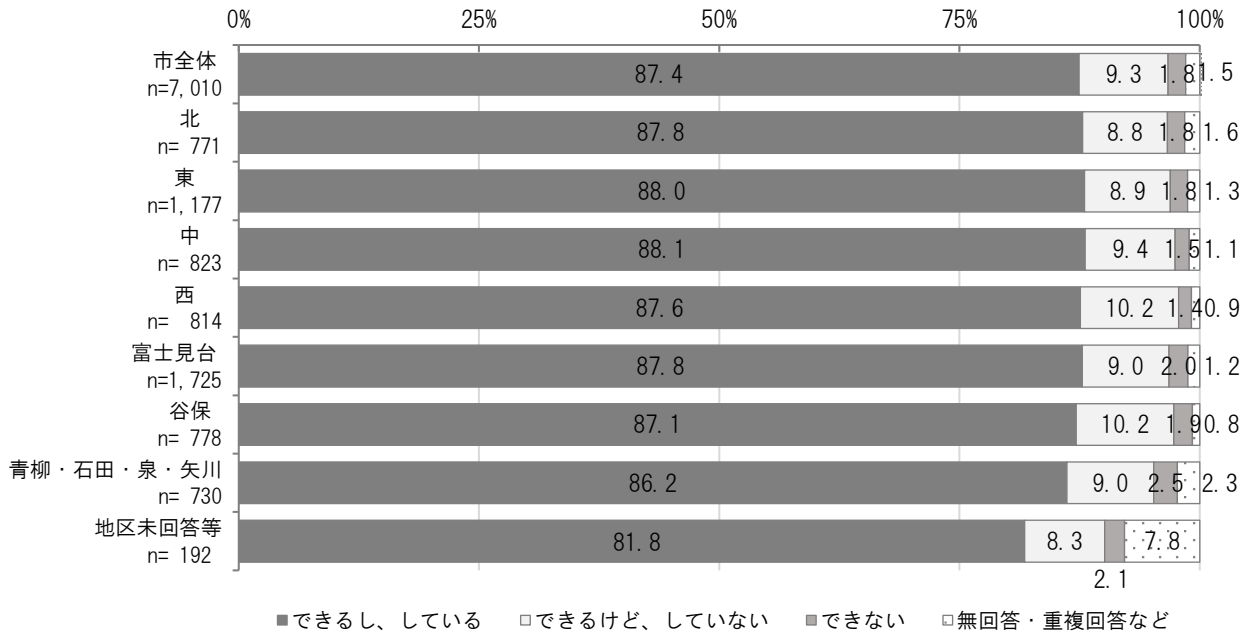


図表 2-5-8 自分で請求書の支払いができるか（年齢階級別）



地区別でみると、「できない」が最も高いのは、「青柳・石田・泉・矢川地区」の2.5%、次いで「富士見台地区」の2.0%となっています。

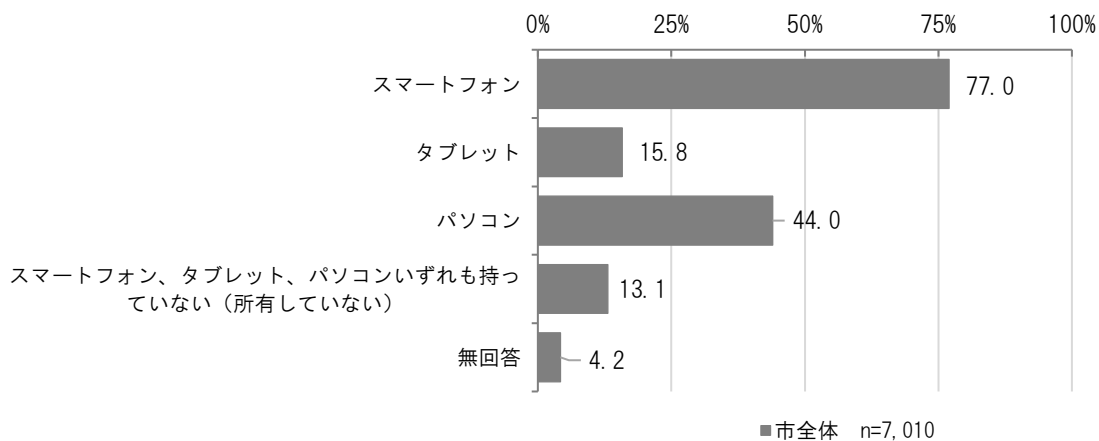
図表 2-5-9 自分で請求書の支払いができるか（地区別）



(9) 以下の機器をふだん使うものとしてお持ちですか (〇はいくつでも)

市全体では、「スマートフォン」が77.0%と最も高くなっています。次いで、「パソコン」が44.0%となっています。

図表 2-5-10 所持している機器について (市全体)

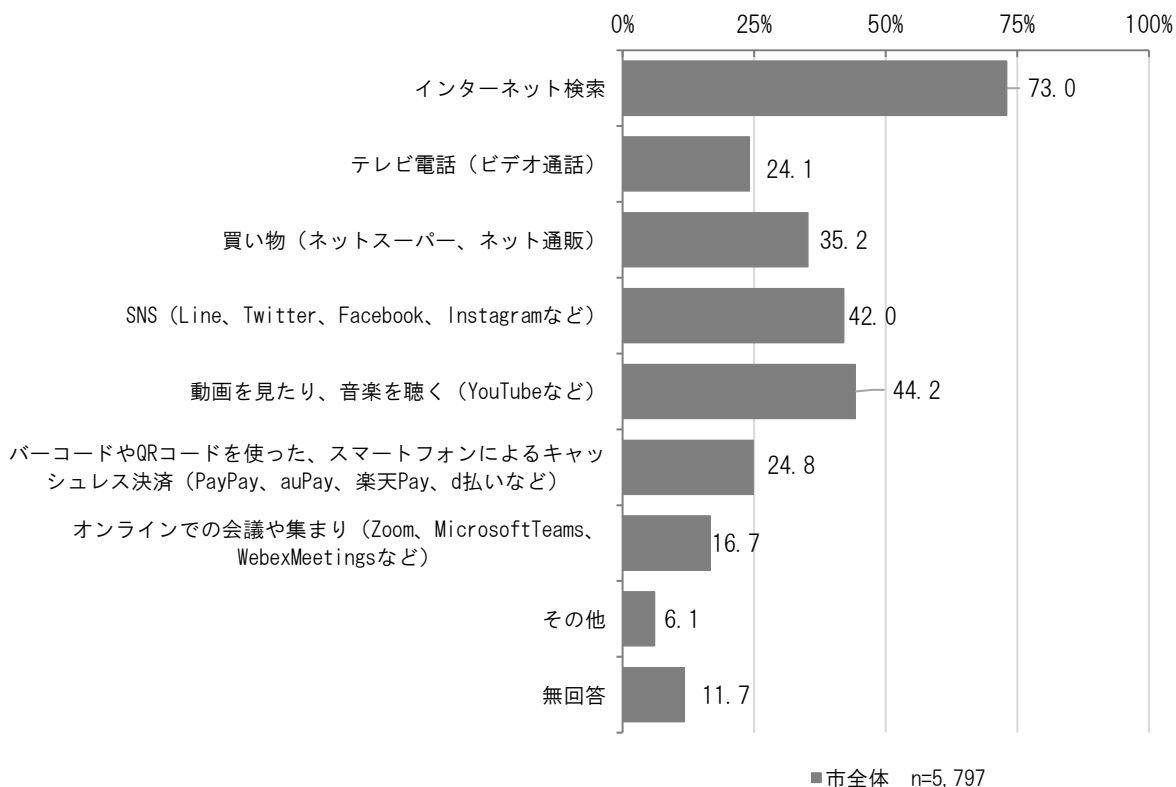


【(9) で (1・2・3のいずれか) に回答した方のみ】

①下記の機能を利用していますか (〇はいくつでも)

市全体では、「インターネット検索」が73.0%と最も高く、次いで「動画を見たり、音楽を聴く (YouTube など)」が44.2%、「SNS (Line、Twitter、Facebook、Instagram など)」が42.0%となっています。

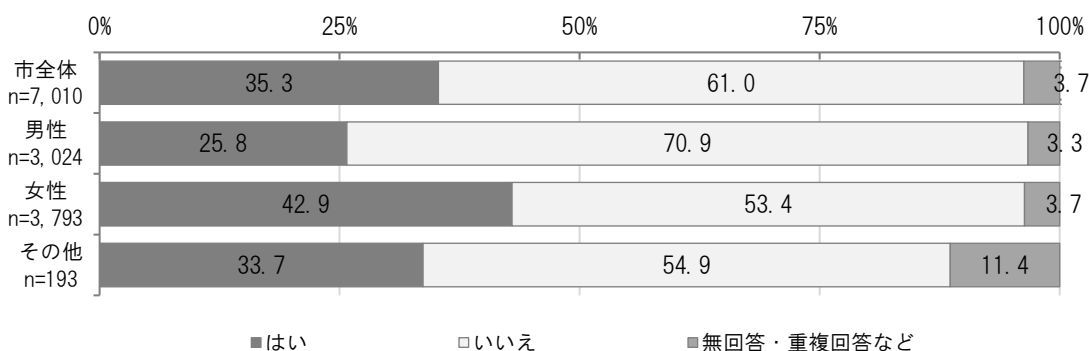
図表 2-5-11 利用している機能について (市全体)



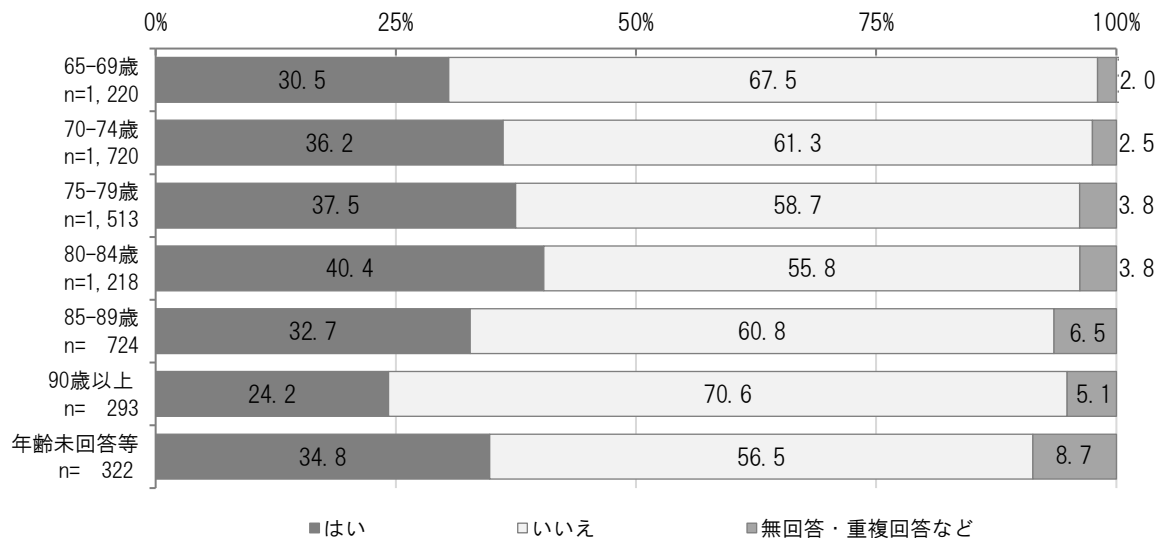
(10) 友人の家を訪ねていますか

市全体では、「いいえ」が61.0%と最も高くなっています。
 性別でみると、男性の「いいえ」が70.9%と女性より17.5ポイント高くなっています。
 年齢階級別でみると、全ての年代で半数以上の方が「いいえ」と回答しています。

図表 2-5-12 友人の家を訪ねているか（市全体・性別）

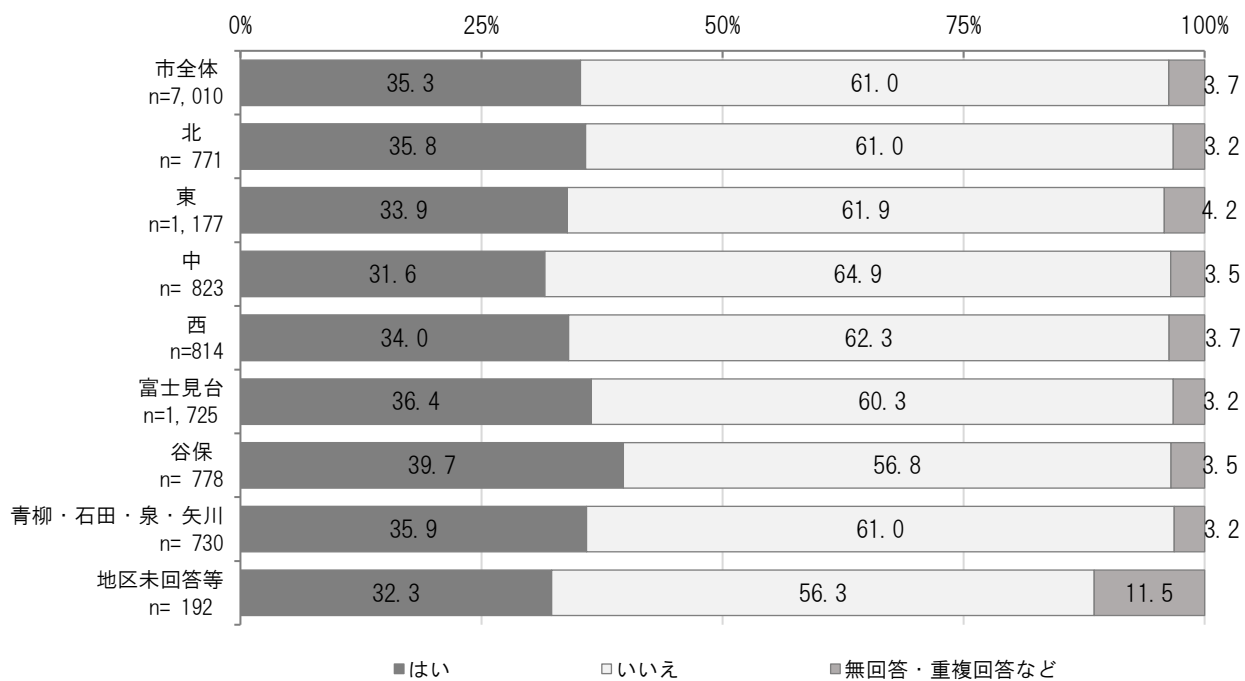


図表 2-5-13 友人の家を訪ねているか（年齢階級別）



地区別でみると、「いいえ」が最も高いのは、「中地区」の64.9%、次いで「西地区」の62.3%となっています。

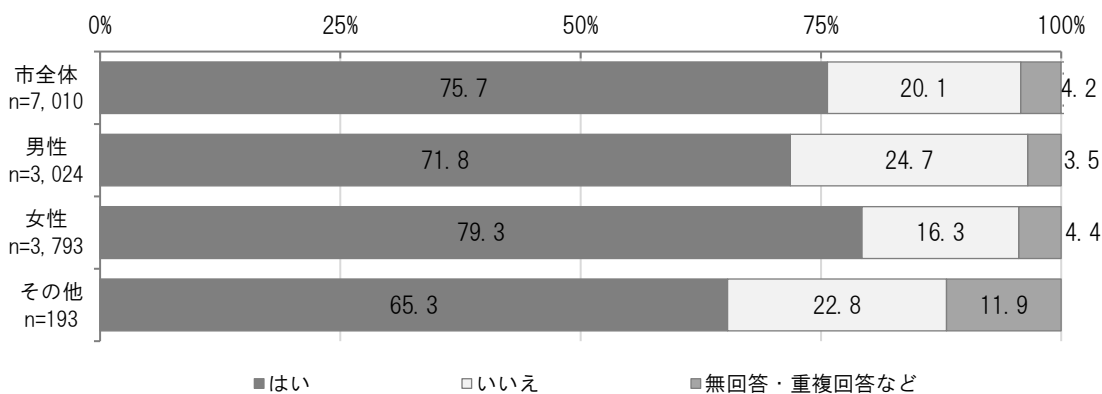
図表 2-5-14 友人の家を訪ねているか（地区別）



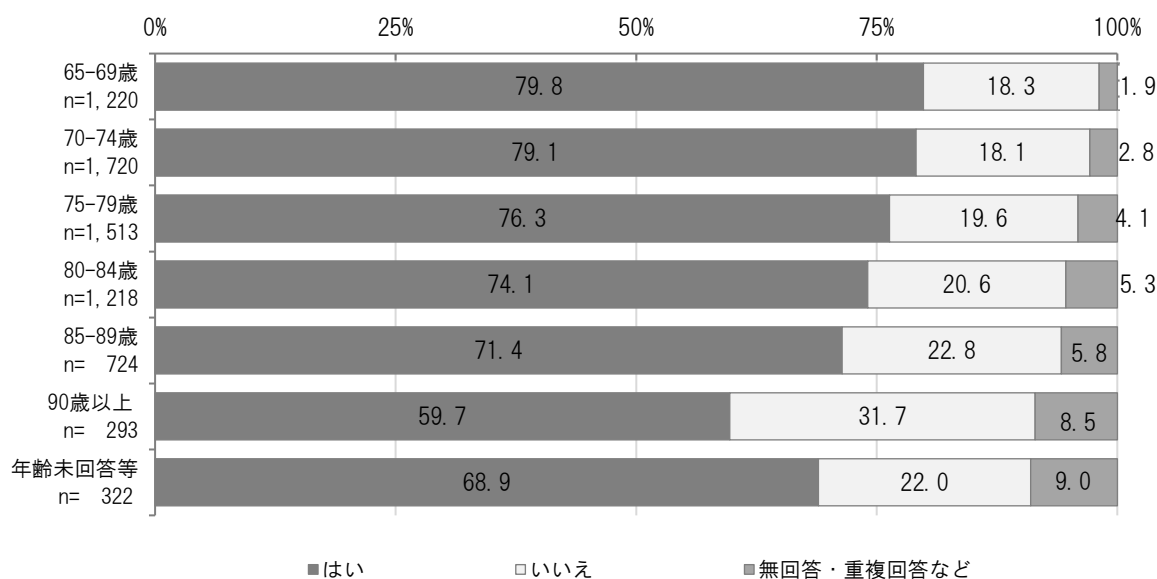
(11) 家族や友人の相談にのっていますか

市全体では、「はい」が75.7%と最も高くなっています。
 性別でみると、男性の「いいえ」が24.7%と女性より8.4ポイント高くなっています。
 年齢階級別でみると、「いいえ」が年齢を重ねるにつれて上昇傾向となっています。

図表 2-5-15 家族や友人の相談にのっているか（市全体・性別）

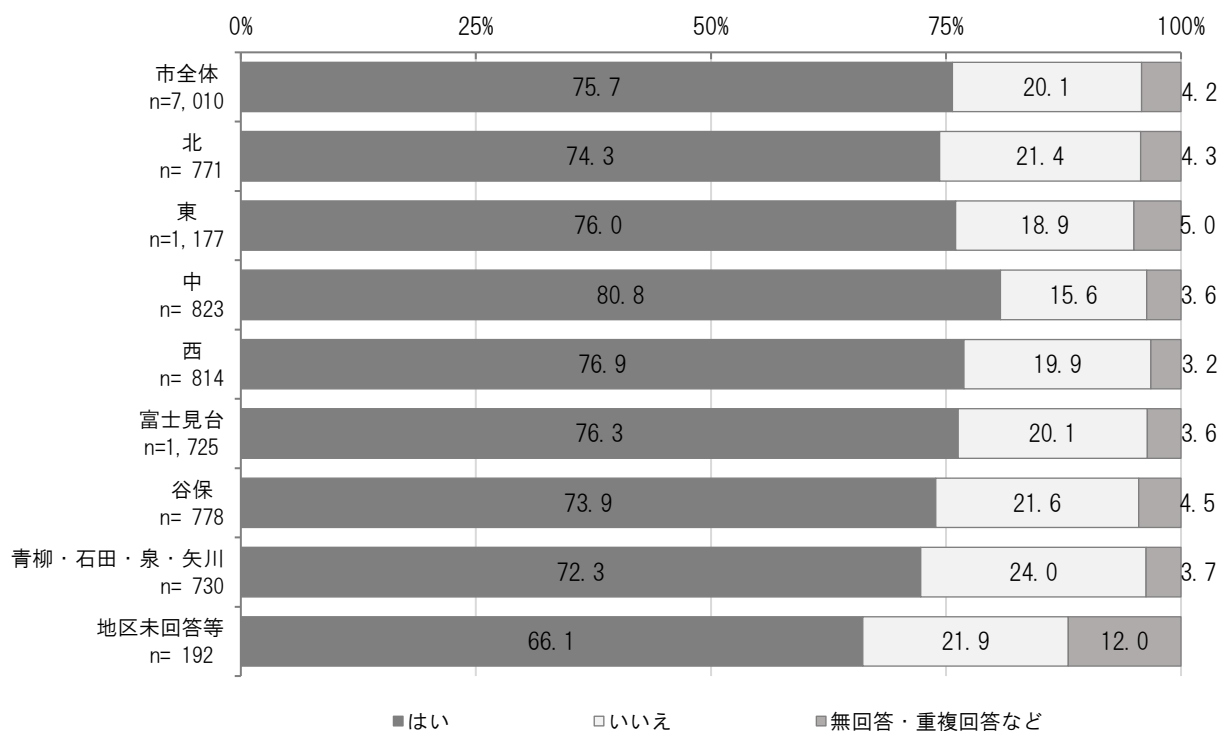


図表 2-5-16 家族や友人の相談にのっているか（年齢階級別）



地区別でみると、「いいえ」が最も高いのは、「青柳・石田・泉・矢川地区」の24.0%、次いで「谷保地区」の21.6%となっています。

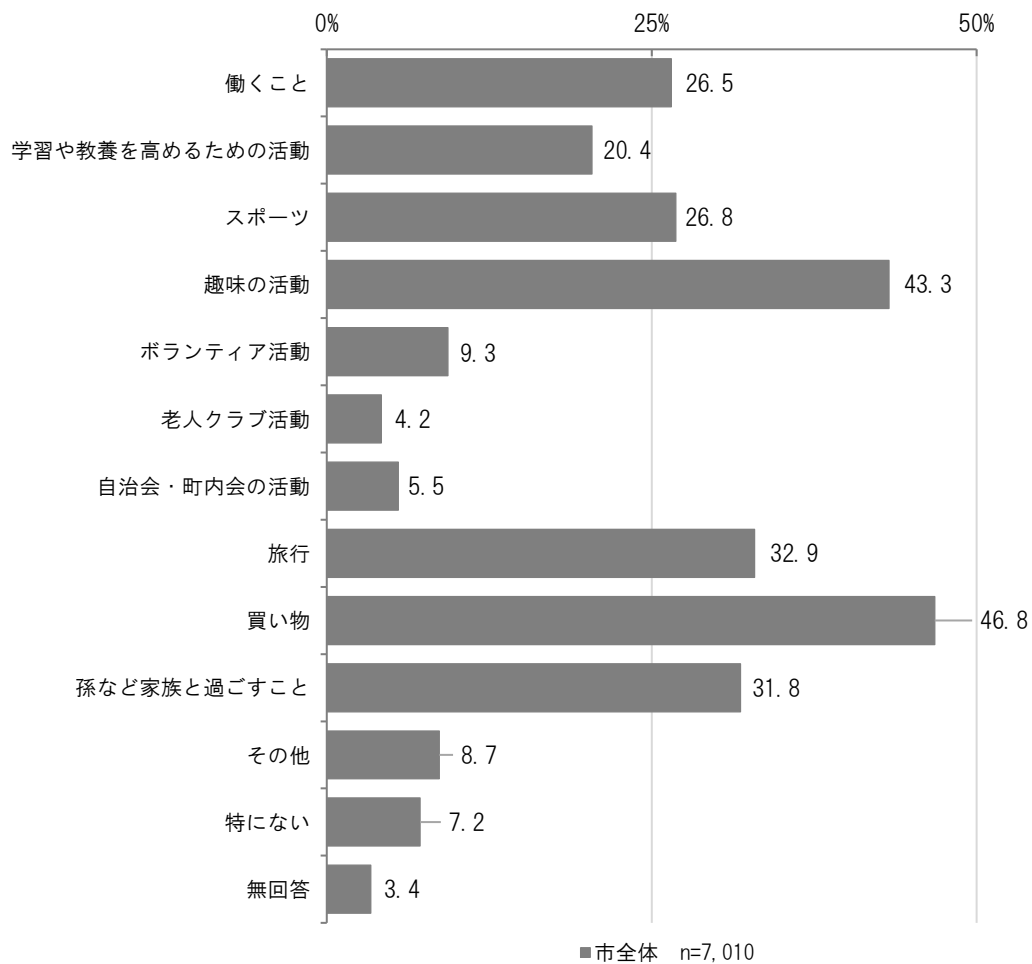
図表 2-5-17 友人の家を訪ねているか（地区別）



(12) あなたが日常生活の中で、楽しみや、やりがいを感じることは何ですか
 (あてはまるものすべてに○)

市全体では、「買い物」が46.8%と最も高くなっています。次いで、「趣味の活動」が43.3%となっています。

図表 2-5-18 日常生活の中で楽しみや、やりがいを感じること (市全体)



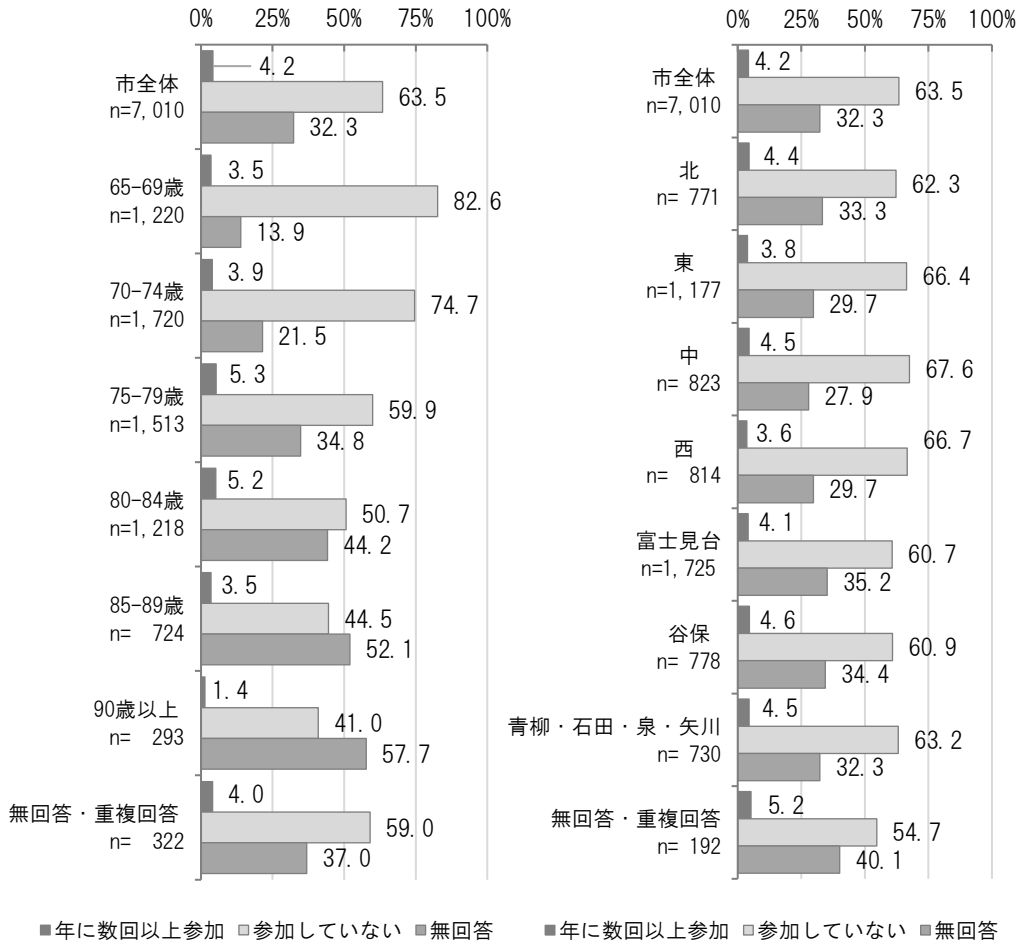
問6 地域での活動について

(1) 以下のような会・グループ等にどれくらいの頻度で参加していますか

①市のサポーター活動

市全体では、「年に数回以上参加」が4.2%となっています。
 地区別で見ると、「年に数回以上参加」が最も高いのは、「谷保地区」の4.6%、次いで「中地区」「青柳・石田・泉・矢川地区」の4.5%となっています。

図表 2-6-1 サポーター活動の参加状況（年齢階級別・地区別）

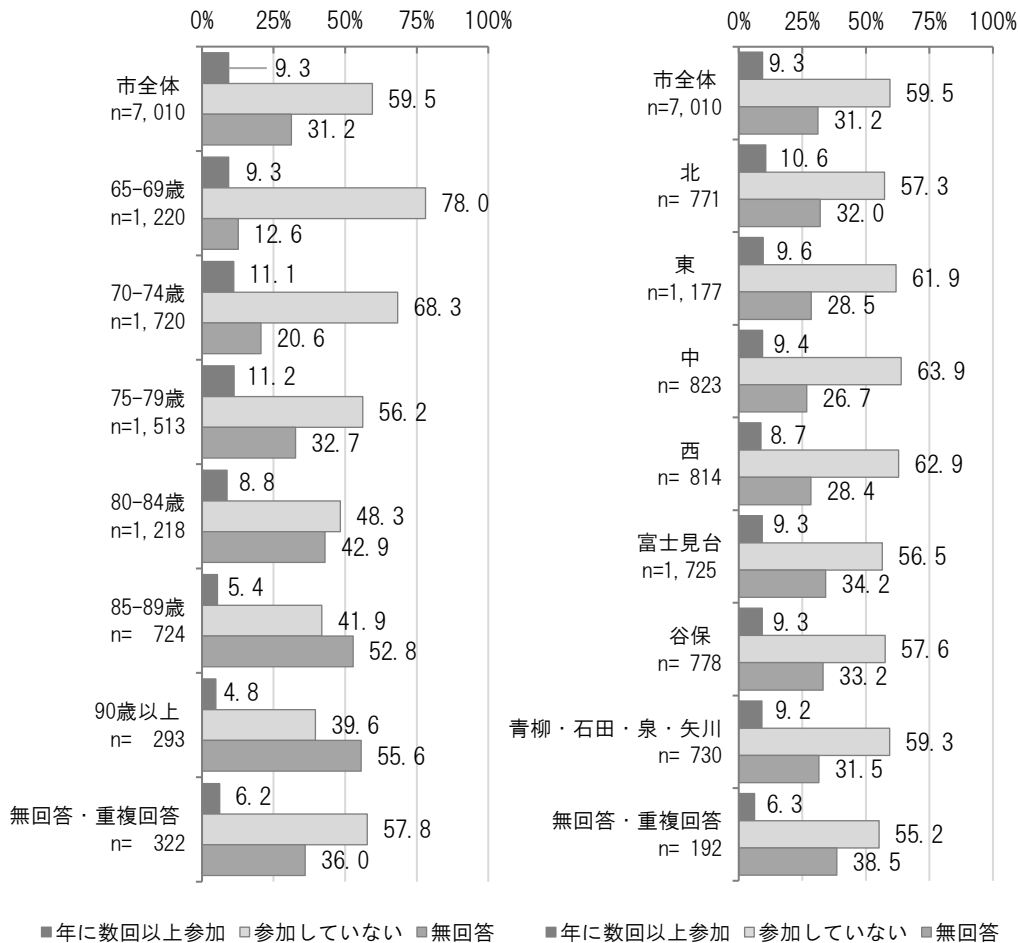


※ 「年に数回以上参加」（「週4回以上」＋「週2～3回」＋「週1回」＋「月1～3回」＋「年に数回」）

②ボランティアのグループ

市全体では、「年に数回以上参加」が9.3%となっています。
 地区別で見ると、「年に数回以上参加」が最も高いのは、「北地区」の10.6%、次いで「東地区」の9.6%となっています。

図表 2-6-2 ボランティアのグループ活動の参加状況（年齢階級別・地区別）

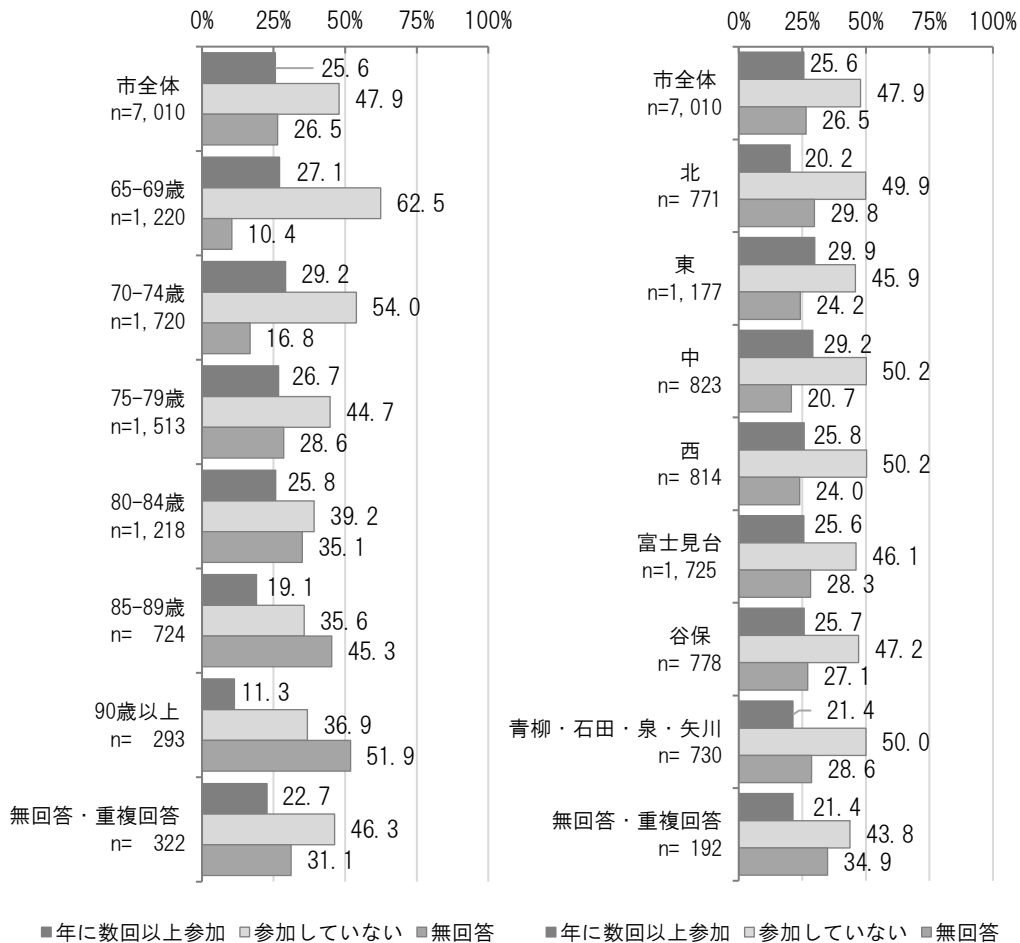


※ 「年に数回以上参加」（「週4回以上」＋「週2～3回」＋「週1回」＋「月1～3回」＋「年に数回」）

③スポーツ関係のグループやクラブ

市全体では、「年に数回以上参加」が25.6%となっています。
 地区別で見ると、「年に数回以上参加」が最も高いのは、「東地区」の29.9%、次いで「中地区」の29.2%となっています。

図表 2-6-3 スポーツ関係のグループやクラブの参加状況（年齢階級別・地区別）

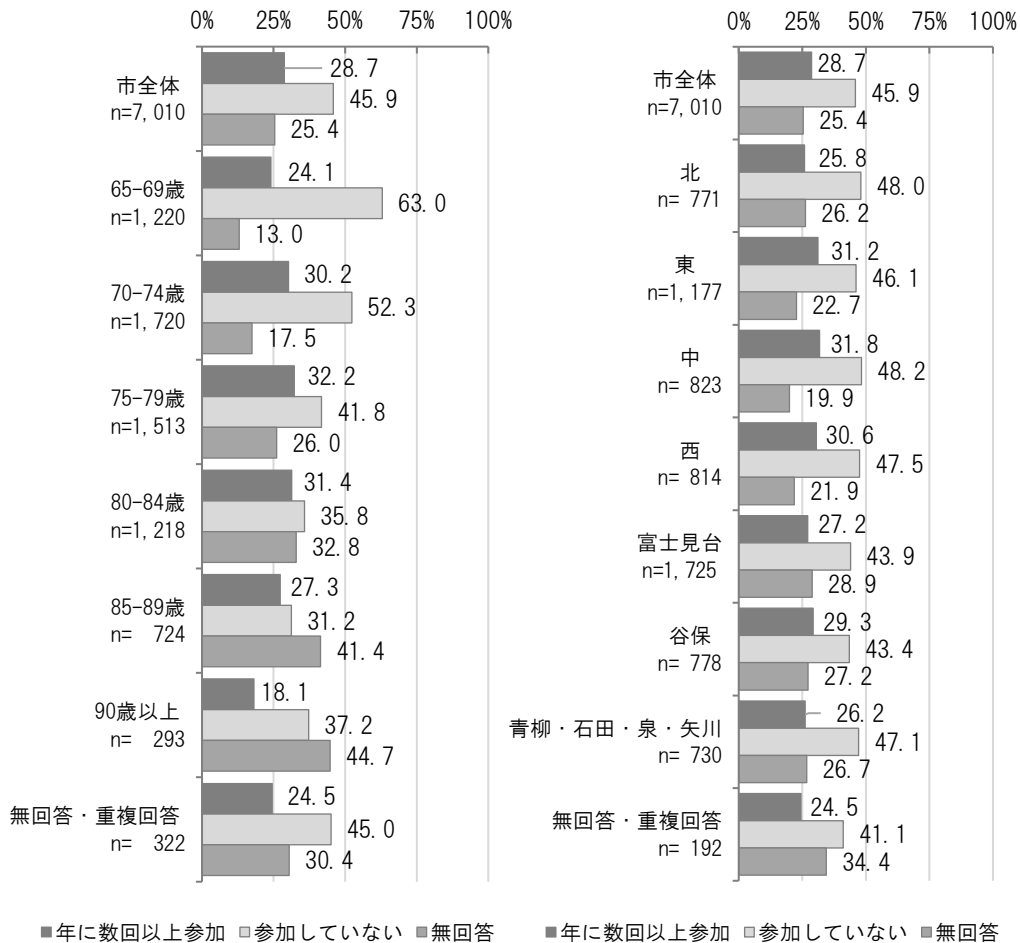


※ 「年に数回以上参加」（「週4回以上」＋「週2～3回」＋「週1回」＋「月1～3回」＋「年に数回」）

④趣味関係のグループ

市全体では、「年に数回以上参加」が28.7%となっています。
 地区別でみると、「年に数回以上参加」が最も高いのは、「中地区」の31.8%、次いで「東地区」の31.2%となっています。

図表 2-6-4 趣味関係のグループの参加状況（年齢階級別・地区別）

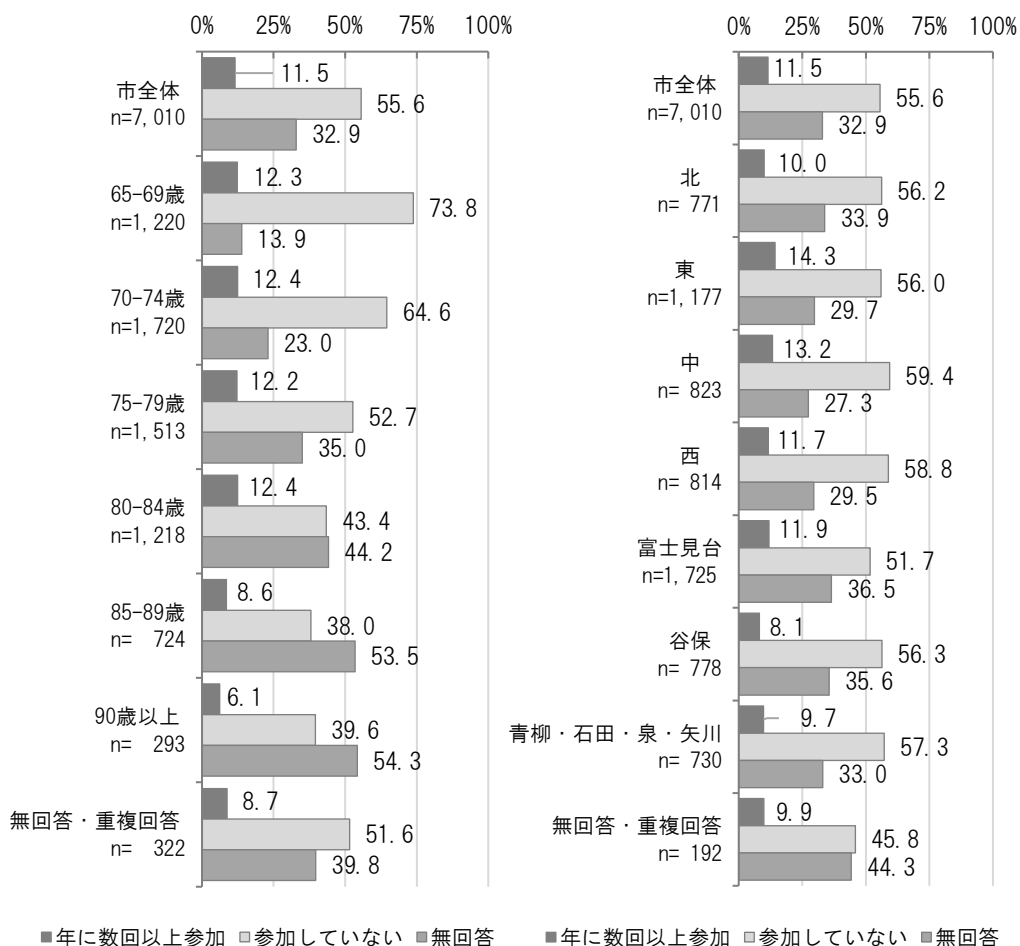


※ 「年に数回以上参加」（「週4回以上」＋「週2～3回」＋「週1回」＋「月1～3回」＋「年に数回」）

⑤学習・教養サークル

市全体では、「年に数回以上参加」が11.5%となっています。
 地区別で見ると、「年に数回以上参加」が最も高いのは、「東地区」の14.3%、次いで「中地区」の13.2%となっています。

図表 2-6-5 趣味関係のグループの参加状況（年齢階級別・地区別）

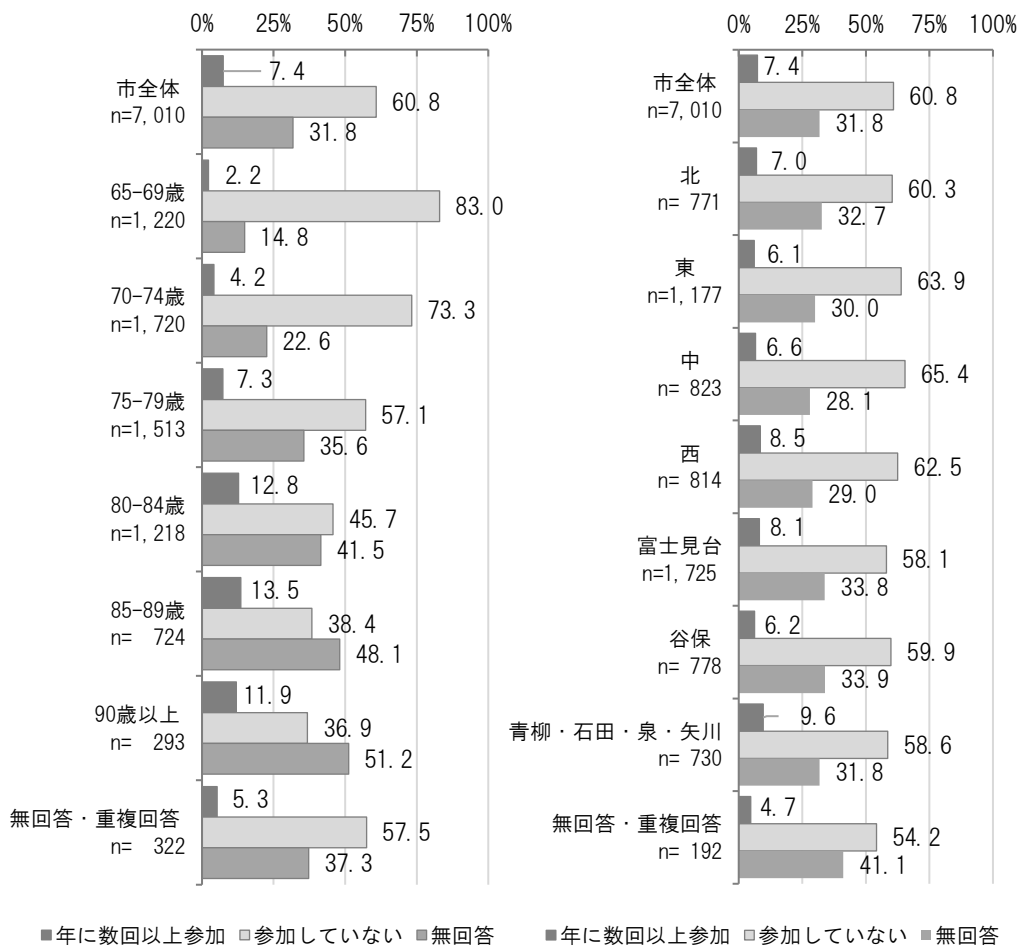


※ 「年に数回以上参加」（「週4回以上」＋「週2～3回」＋「週1回」＋「月1～3回」＋「年に数回」）

⑥介護予防の通いの場

市全体では、「年に数回以上参加」が7.4%となっています。
 地区別で見ると、「年に数回以上参加」が最も高いのは、「青柳・石田・泉・矢川地区」の9.6%、次いで「西地区」の8.5%となっています。

図表 2-6-6 介護予防の通いの場の参加状況（年齢階級別・地区別）

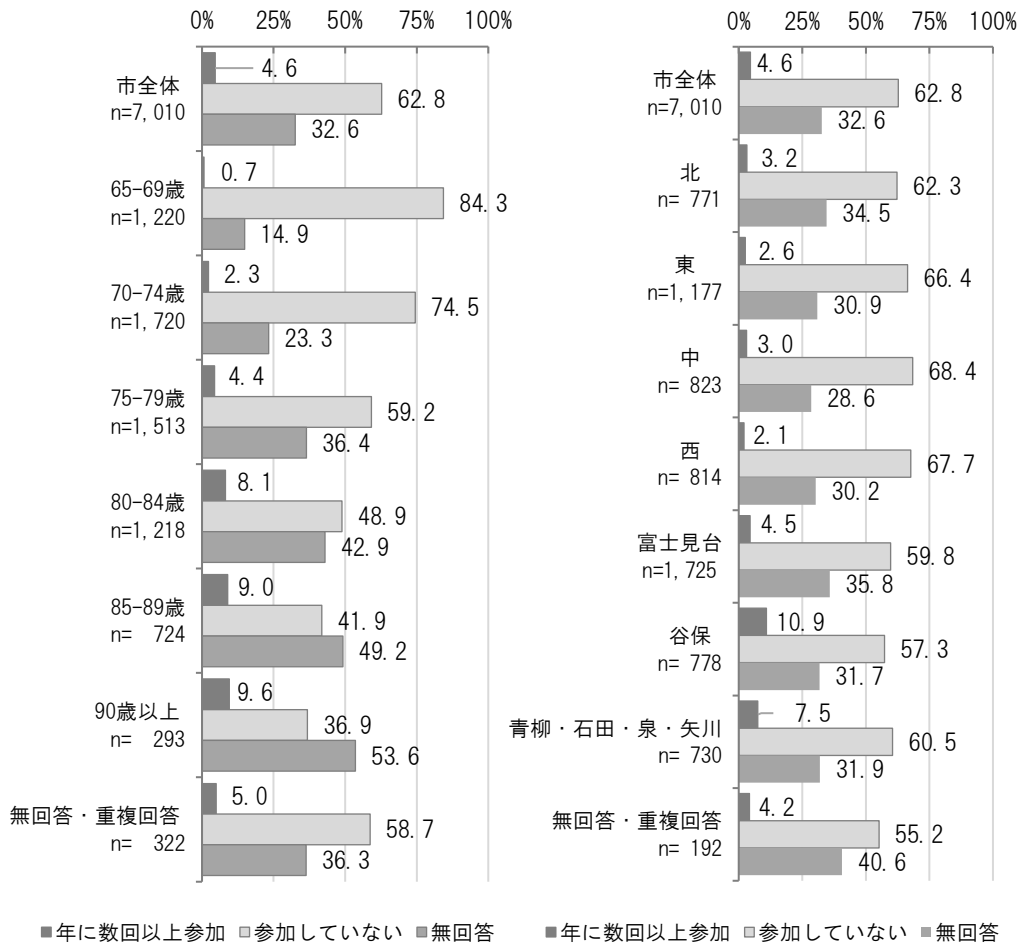


※ 「年に数回以上参加」（「週4回以上」＋「週2～3回」＋「週1回」＋「月1～3回」＋「年に数回」）

⑦老人クラブ

市全体では、「年に数回以上参加」が4.6%となっています。
 地区別で見ると、「年に数回以上参加」が最も高いのは、「谷保地区」の10.9%、次いで「青柳・石田・泉・矢川地区」の7.5%となっています。

図表 2-6-7 老人クラブの参加状況（年齢階級別・地区別）

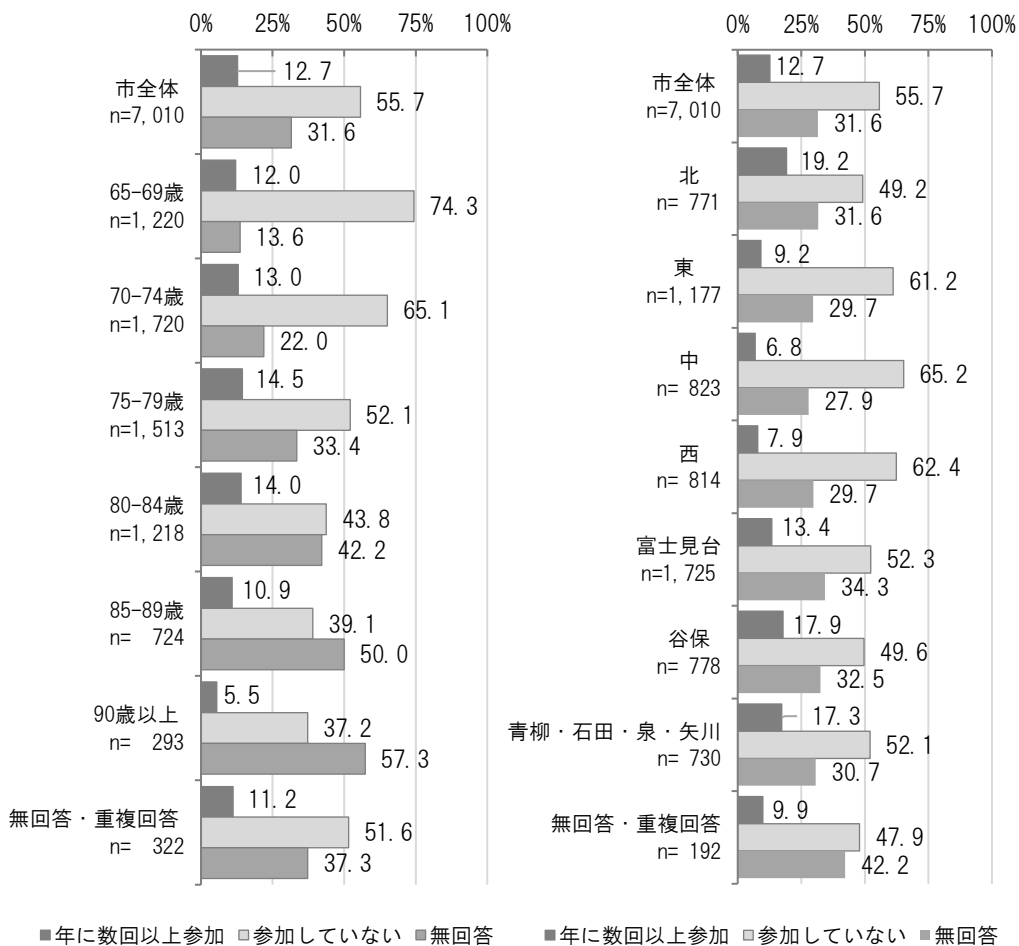


※ 「年に数回以上参加」（「週4回以上」＋「週2～3回」＋「週1回」＋「月1～3回」＋「年に数回」）

⑧町内会・自治会

市全体では、「年に数回以上参加」が12.7%となっています。
 地区別でみると、「年に数回以上参加」が最も高いのは「北地区」の19.2%、次いで「谷保地区」の17.9%となっています。

図表 2-6-8 町内会・自治会の参加状況（年齢階級別・地区別）

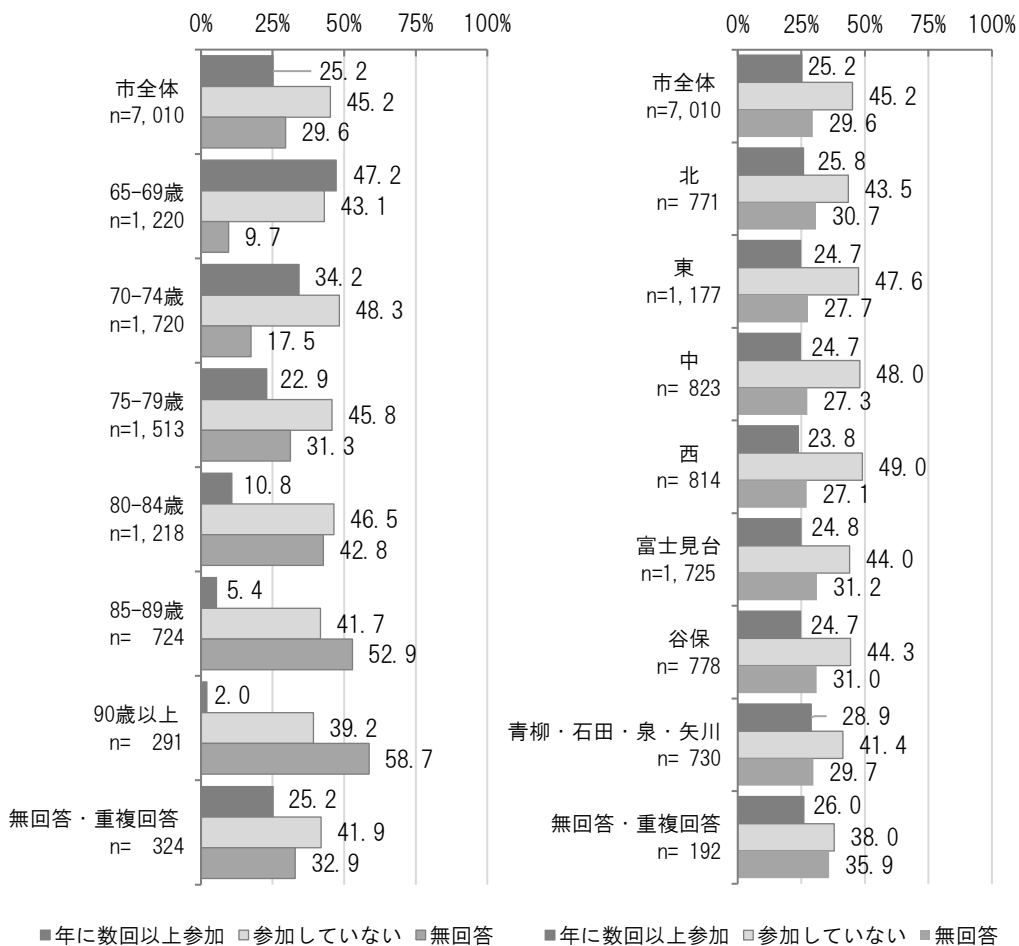


※ 「年に数回以上参加」（「週4回以上」＋「週2～3回」＋「週1回」＋「月1～3回」＋「年に数回」）

⑨収入のある仕事

市全体では、「年に数回以上参加」が25.2%となっています。
 地区別でみると、「年に数回以上参加」が最も高いのは、「青柳・石田・泉・矢川地区」の28.9%、次いで「北地区」の25.8%となっています。

図表 2-6-9 収入のある仕事の参加状況（年齢階級別・地区別）



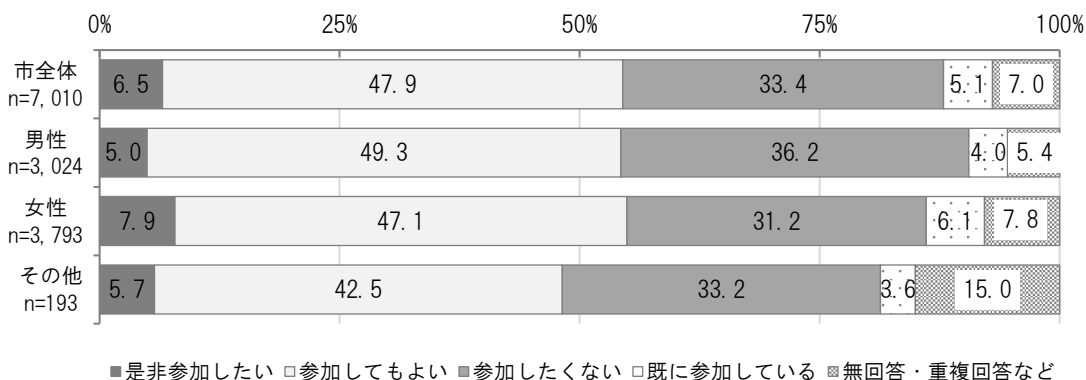
※ 「年に数回以上参加」（「週4回以上」＋「週2～3回」＋「週1回」＋「月1～3回」＋「年に数回」）

(2) 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行っていきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか（〇は1つ）

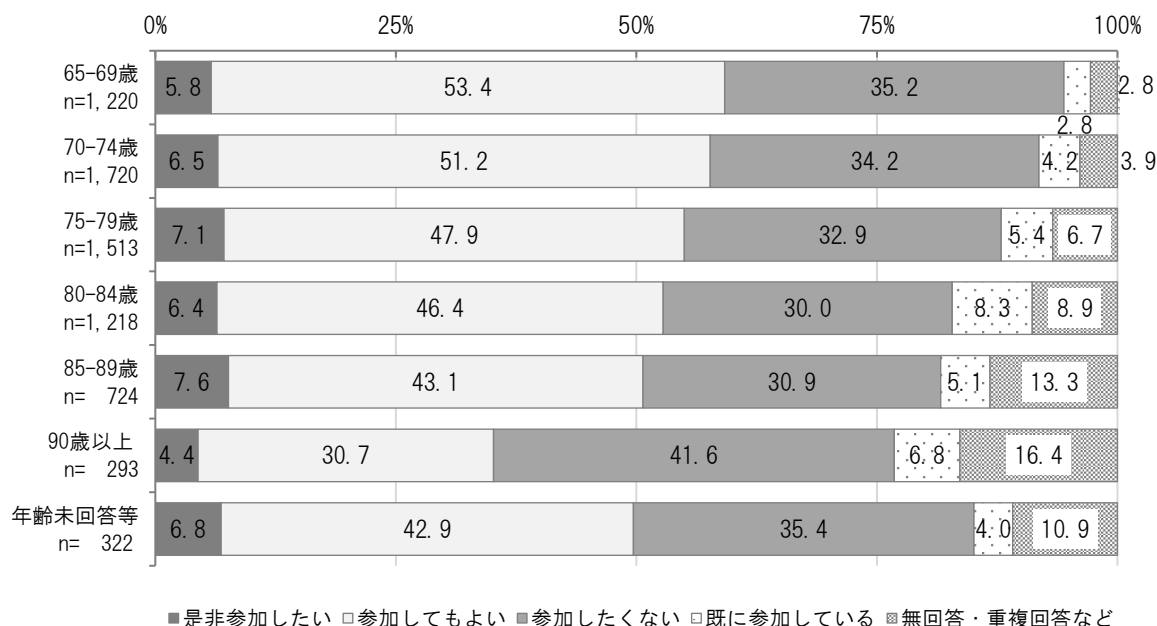
市全体では、「参加してもよい」が47.9%と最も高く、次いで「参加したくない」が33.4%となっています。

年齢階級別でみると、「参加してもよい」が年齢を重ねるにつれて、減少傾向となっています。

図表 2-6-10 グループ活動の参加者として参加したいか（市全体・性別）

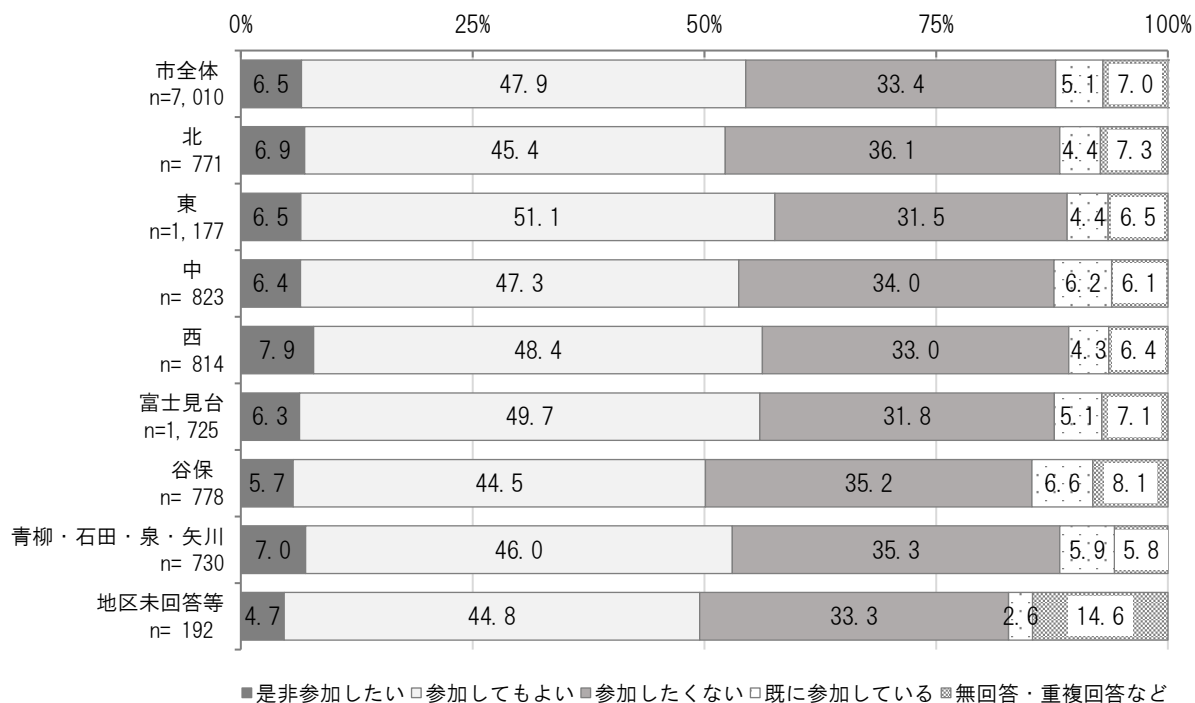


図表 2-6-11 グループ活動の参加者として参加したいか（年齢階級別）



地区別でみると、「是非参加したい」が最も高い地区は、「西地区」の7.9%、次いで「青柳・石田・泉・矢川地区」の7.0%となっています。

図表 2-6-12 グループ活動の参加者として参加したいか（地区別）



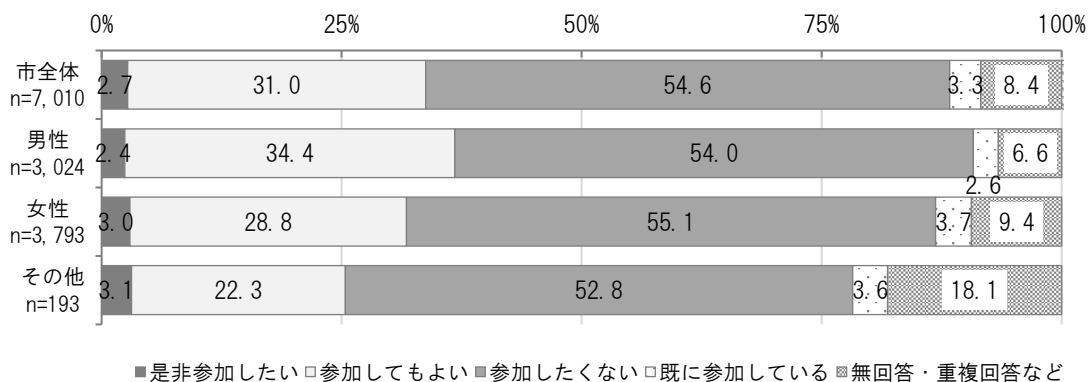
(3) 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行っていきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営（お世話役）として参加してみたいと思いますか（〇は1つ）

市全体では、「参加したくない」が54.6%と最も高く、次いで「参加してもよい」が31.0%となっています。

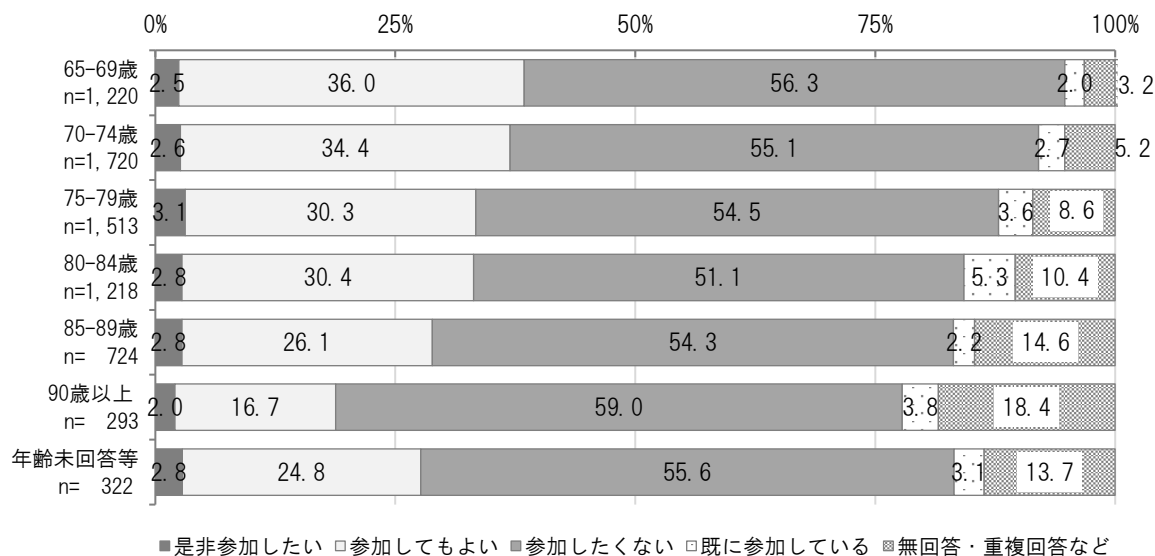
性別で見ると、男性の「参加してもよい」が34.4%と女性より5.6ポイント高くなっています。

年齢階級別で見ると、「参加してもよい」が年齢を重ねるにつれて、減少傾向となっています。

図表 2-6-13 グループ活動の企画・運営（お世話役）として参加したいか（市全体・性別）

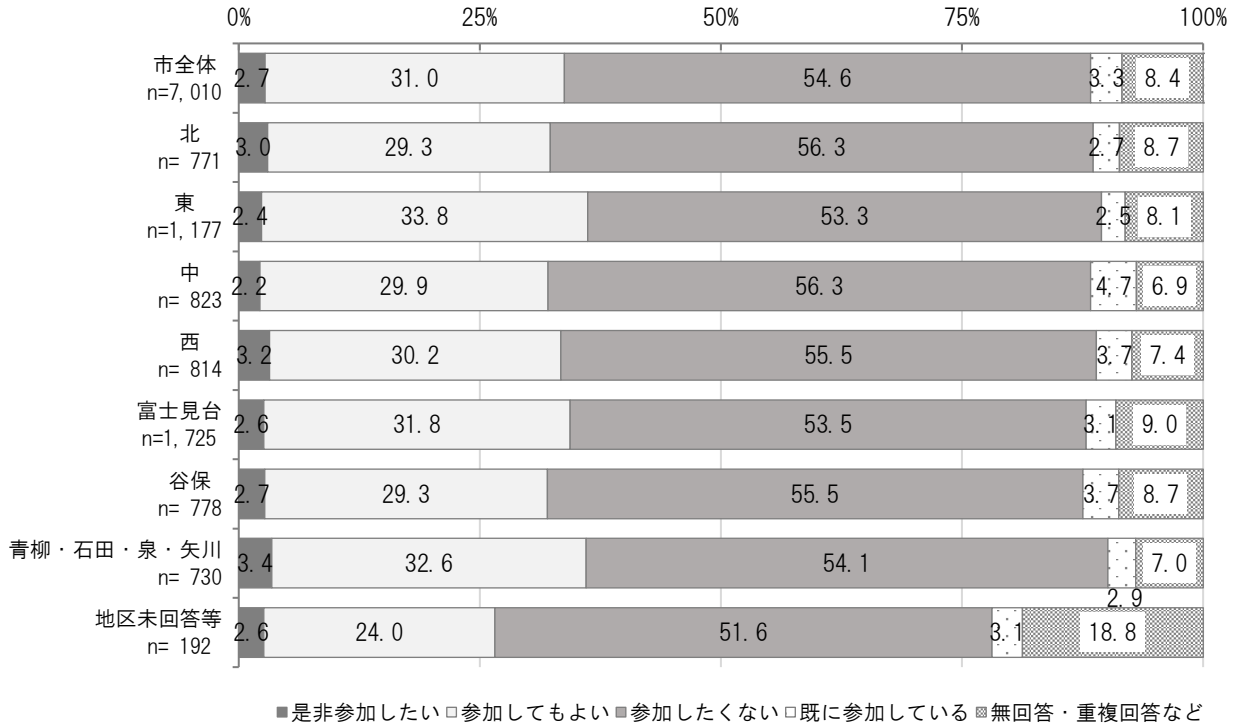


図表 2-6-14 グループ活動の企画・運営（お世話役）として参加したいか（年齢階級別）



地区別でみると、「是非参加したい」が最も高い地区は、「青柳・石田・泉・矢川地区」の3.4%、次いで「西地区」の3.2%となっています。

図表 2-6-15 グループ活動の企画・運営（お世話役）として参加したいか（地区別）

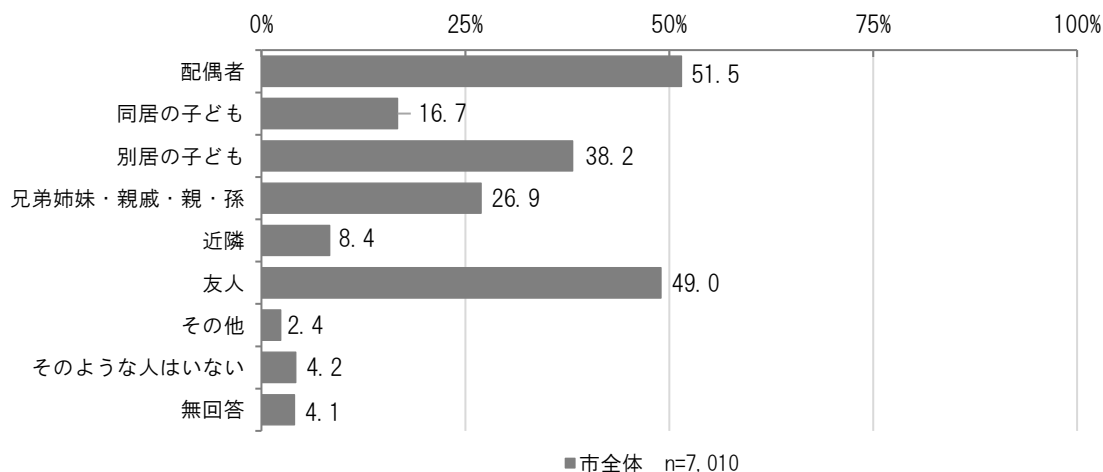


問7 たすけあいについて

(1) あなたの心配事や愚痴（ぐち）を聞いてくれる人（〇はいくつでも）

市全体では、「配偶者」が51.5%と最も高く、次いで「友人」が49.0%、「別居の子ども」が38.2%となっています。

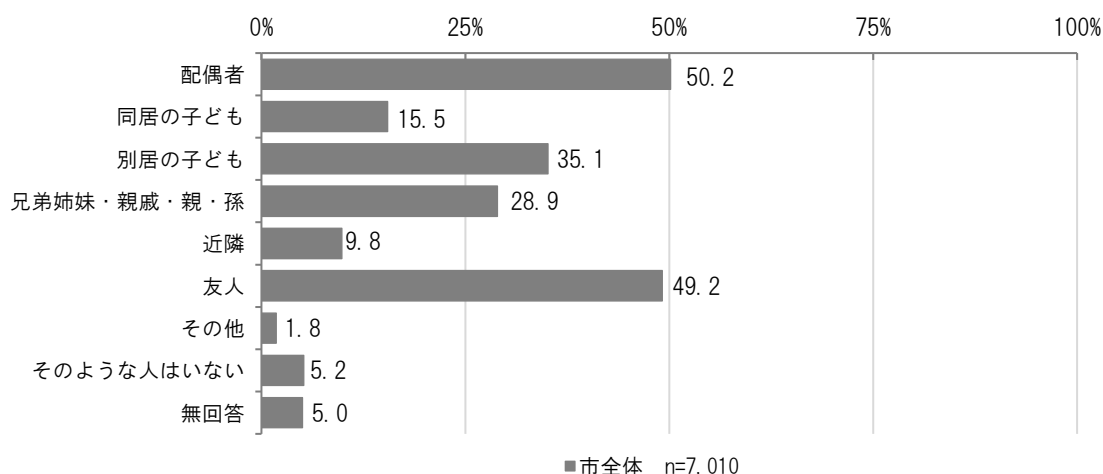
図表 2-7-1 心配ごとや愚痴（ぐち）を聞いてくれる人（市全体）



(2) 反対に、あなたが心配事や愚痴（ぐち）を聞いてあげる人（〇はいくつでも）

市全体では、「配偶者」が50.2%と最も高く、次いで「友人」が49.2%、「別居の子ども」が35.1%となっています。

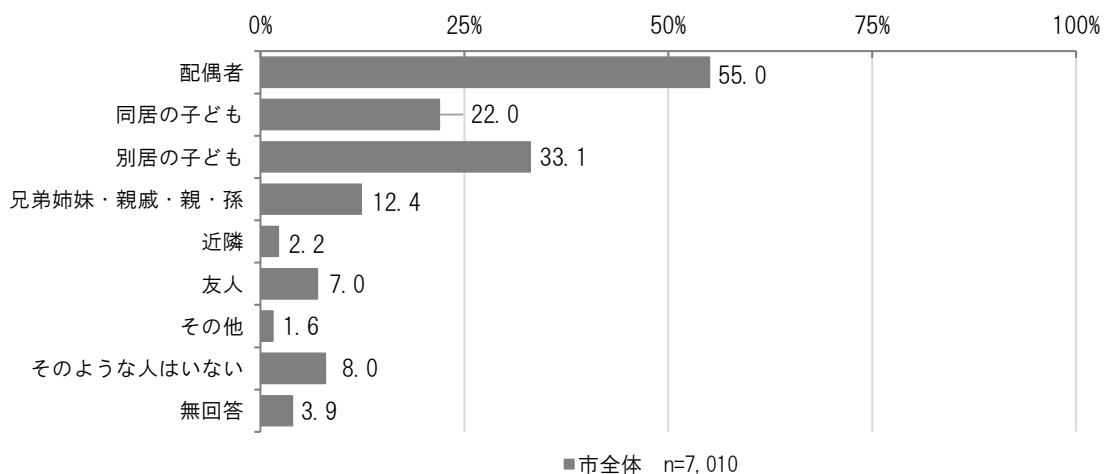
図表 2-7-2 心配ごとや愚痴（ぐち）を聞いてあげる人（市全体）



(3) あなたが病気で数日寝込んだとき、看病や世話をしてくれる人 (〇はいくつでも)

市全体では、「配偶者」が 55.0%と最も高く、次いで「別居の子ども」が 33.1%、「同居の子ども」が 22.0%となっています。

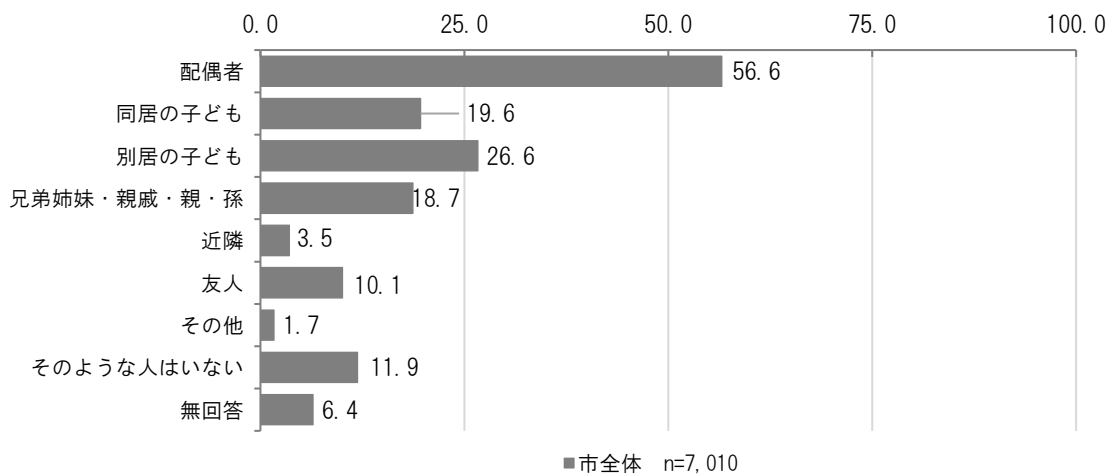
図表 2-7-3 看病や世話をしてくれる人 (市全体)



(4) 反対に、看病や世話をしてあげる人 (〇はいくつでも)

市全体では、「配偶者」が 56.6%と最も高く、次いで「別居の子ども」が 26.6%、「同居の子ども」が 19.6%となっています。

図表 2-7-4 看病や世話をしてあげる人 (市全体)

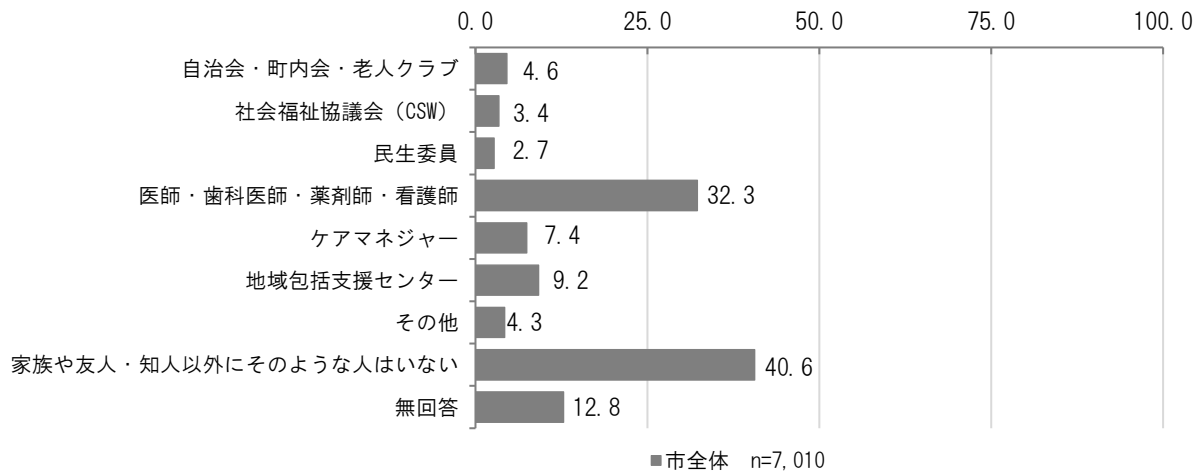


(5) 家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手を教えてください

(〇はいくつでも)

市全体では、「医師・薬剤師・看護師」が 32.3%と最も高く、次いで「地域包括支援センター」が 9.2%、「ケアマネジャー」が 7.4%となっています。
反対に「家族や友人・知人以外にそのような人はいない」は 40.6%となっています。

図表 2-7-5 相談する相手（市全体）



問8 健康について

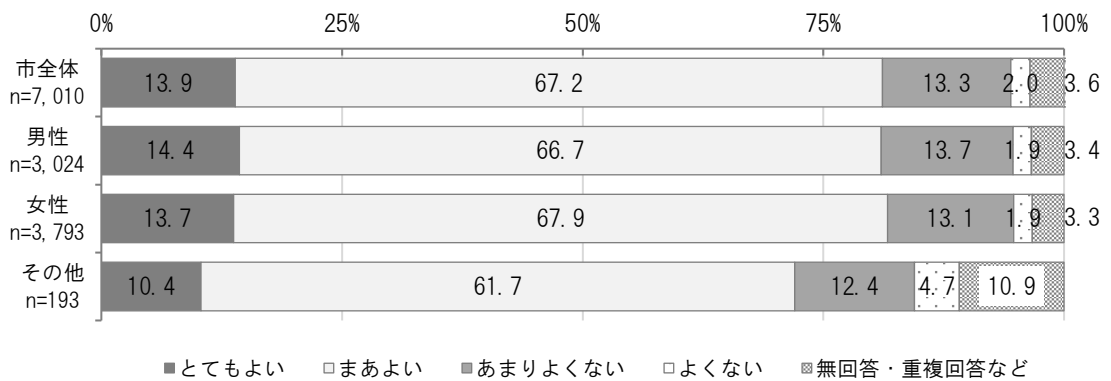
(1) 現在のあなたの健康状態はいかがですか

市全体では、「よい（とてもよい+まあよい）」が81.1%と最も高く、次いで「よくない（あまりよくない+よくない）」が15.3%となっています。

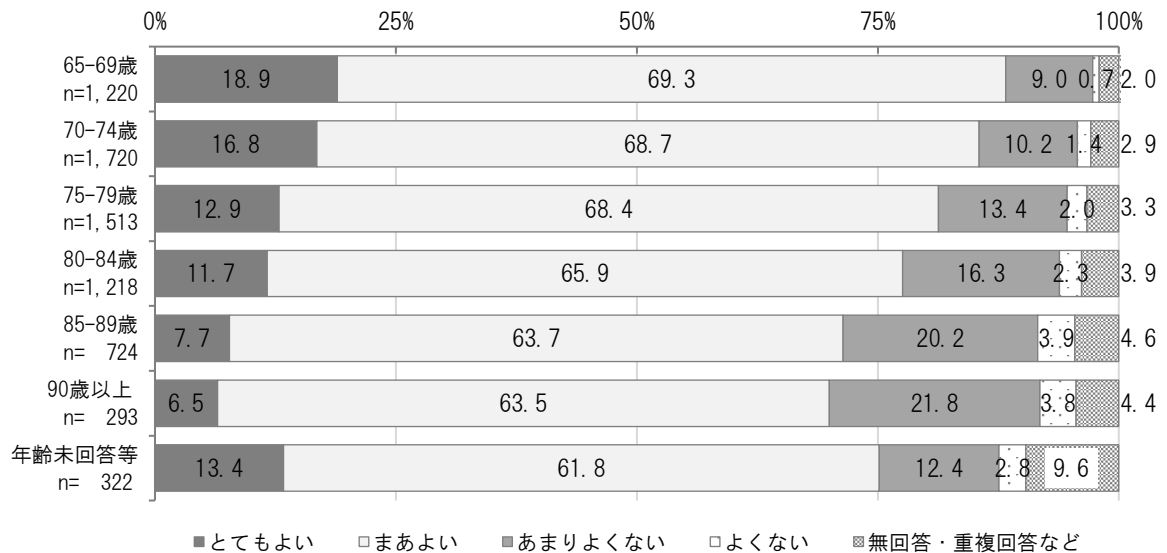
性別で見ると、女性の「よい（とてもよい+まあよい）」が81.6%と男性より0.5ポイント高くなっています。

年齢階級別で見ると、「あまりよくない」が年齢を重ねるにつれて、上昇傾向となっており、反対に「とてもよい」が減少傾向となっています。

図表 2-8-1 健康状態（市全体・性別）

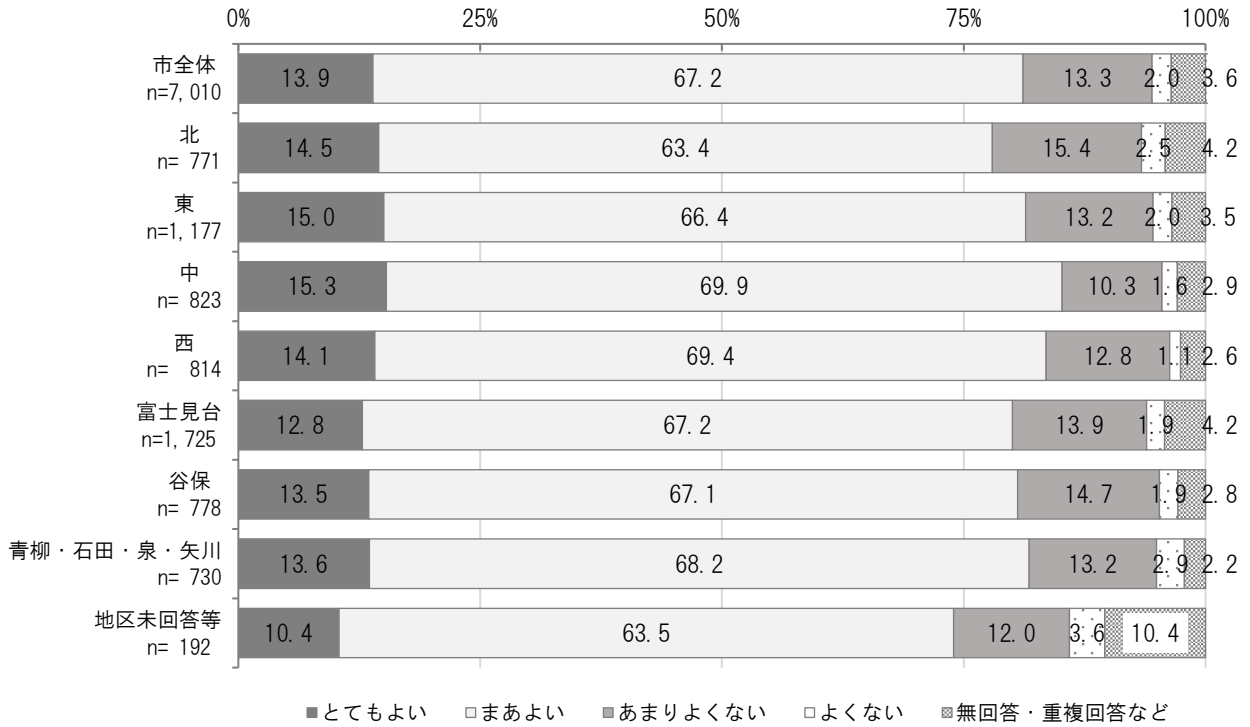


図表 2-8-2 健康状態（年齢階級別）



地区別で見ると、「よい（とてもよい+まあよい）」が最も高い地区は、「中地区」の85.2%、次いで「西地区」の83.5%となっています。

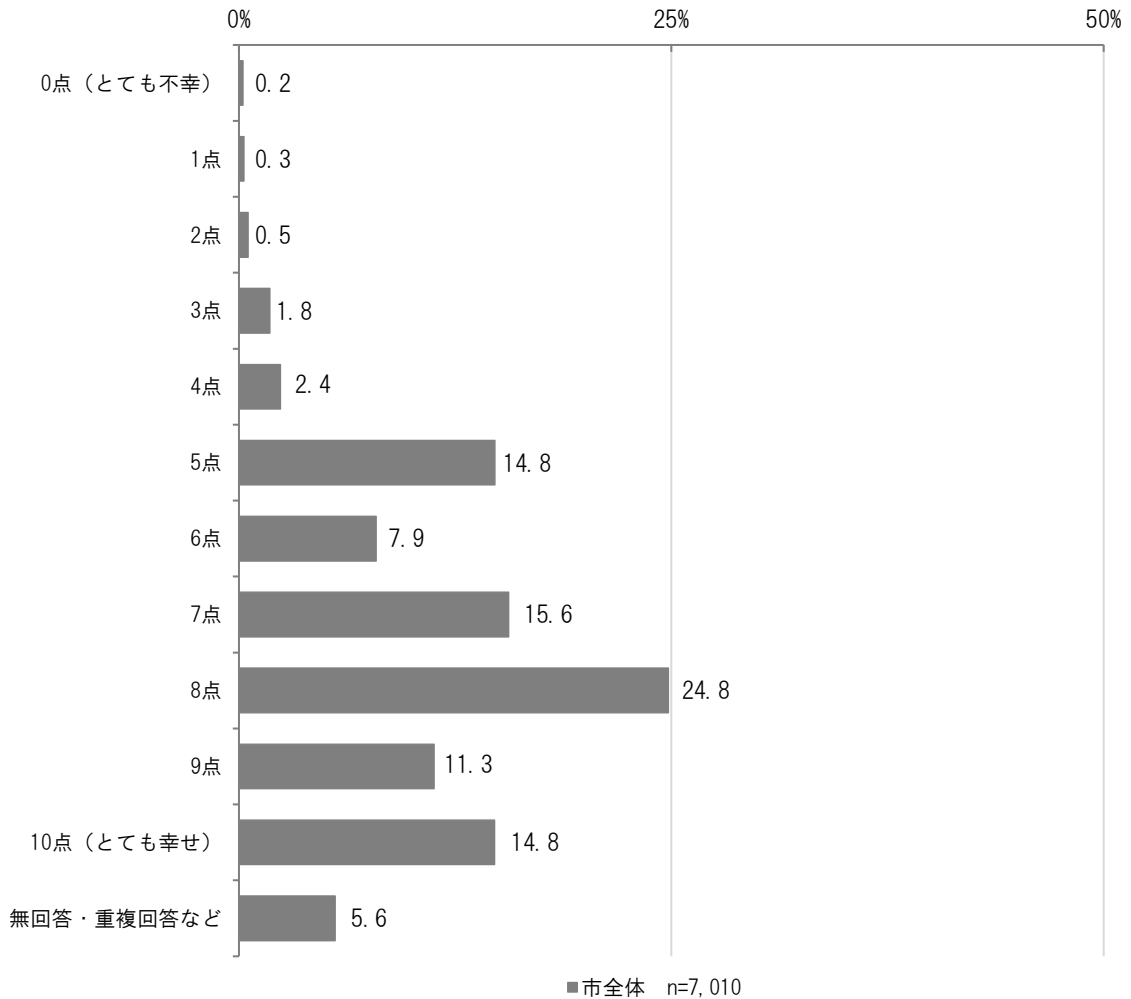
図表 2-8-3 健康状態（地区別）



(2) あなたは、現在どの程度幸せですか（「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を10点として、ご記入ください）

市全体では、「8点」が24.8%と最も高く、次いで「7点」が15.6%、「5点」「10点」がそれぞれ14.8%となっています。

図表 2-8-4 幸福度（市全体）



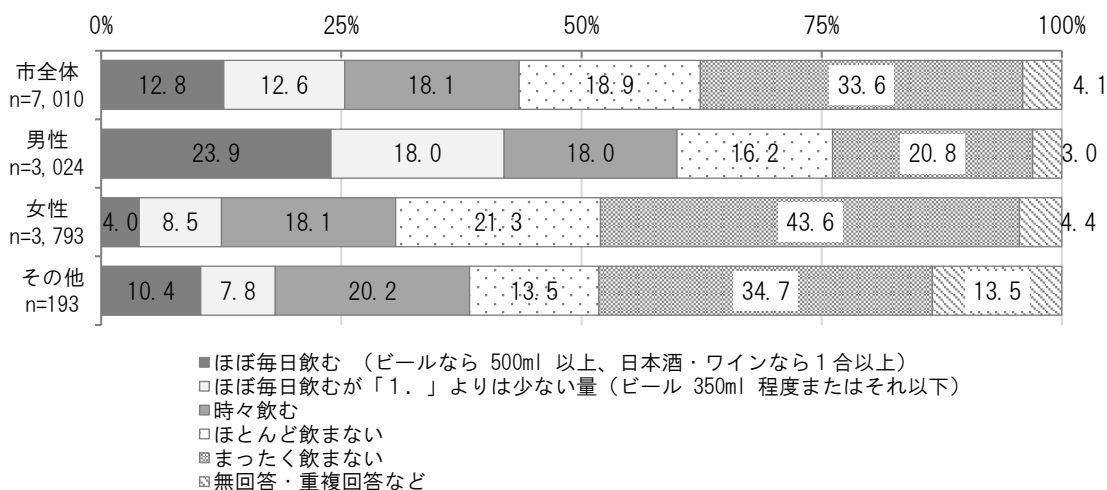
(5) お酒は飲みますか (〇は1つ)

市全体では、「まったく飲まない」が 33.6%と最も高く、次いで「ほとんど飲まない」が 18.9%となっています。

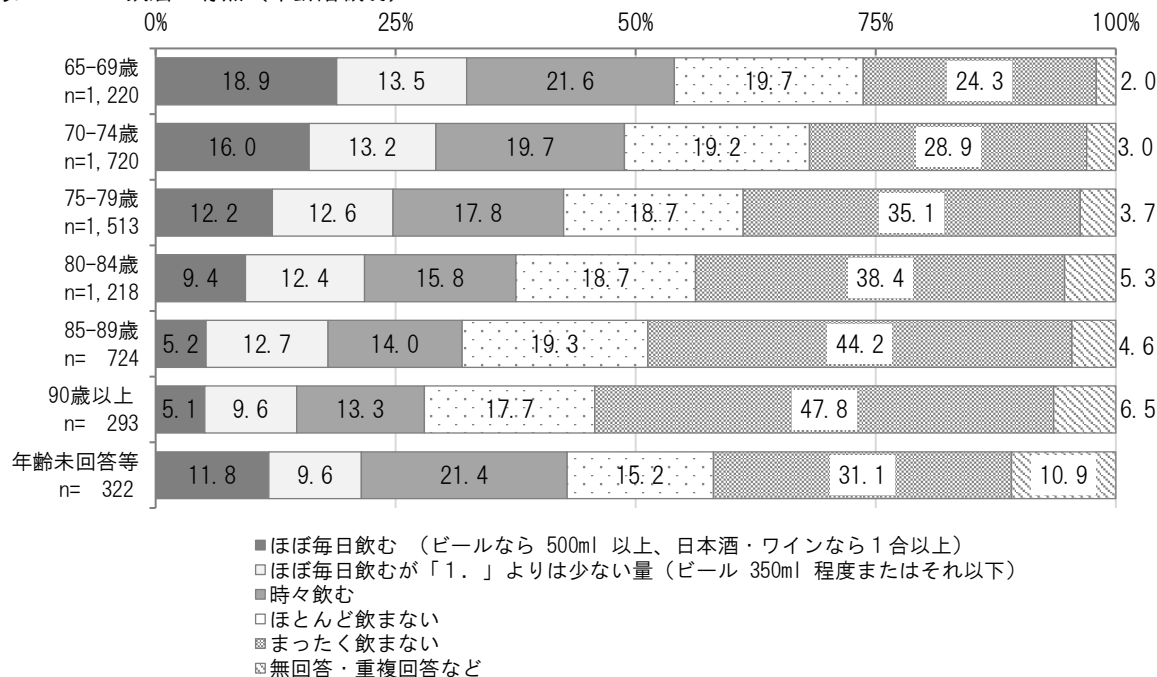
性別で見ると、男性では「ほぼ毎日飲む (ビールなら 500ml 以上、日本酒・ワインなら 1 合以上)」が 23.9%と最も高く、女性より 19.9 ポイント高くなっています。

年齢階級別で見ると、「ほぼ毎日飲む (ビールなら 500ml 以上、日本酒・ワインなら 1 合以上)」が年齢を重ねるにつれて、減少傾向となっており、反対に「まったく飲まない」が上昇傾向となっています。

図表 2-8-5 飲酒の有無 (市全体・性別)

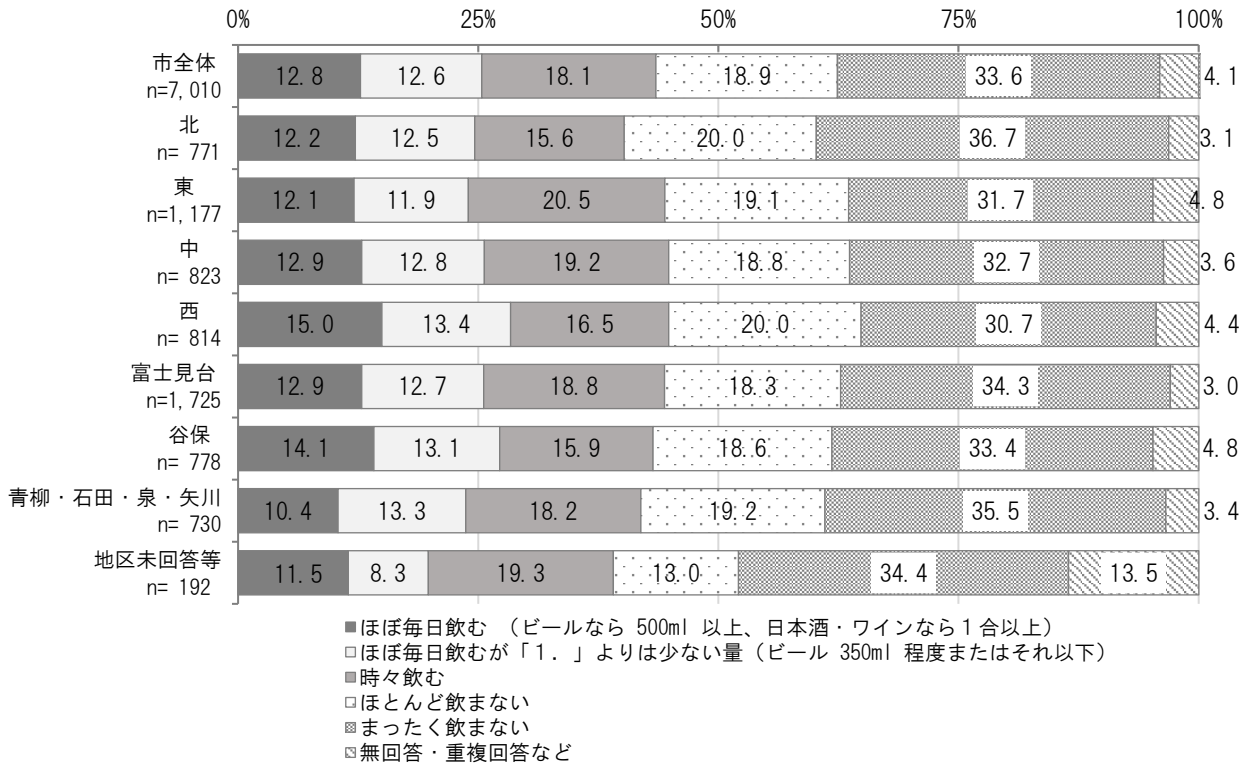


図表 2-8-6 飲酒の有無 (年齢階級別)



地区別でみると、「ほぼ毎日飲む」が最も高い地区は、「西地区」の15.0%、次いで「谷保地区」の14.1%となっています。

図表 2-8-7 飲酒の有無（地区別）



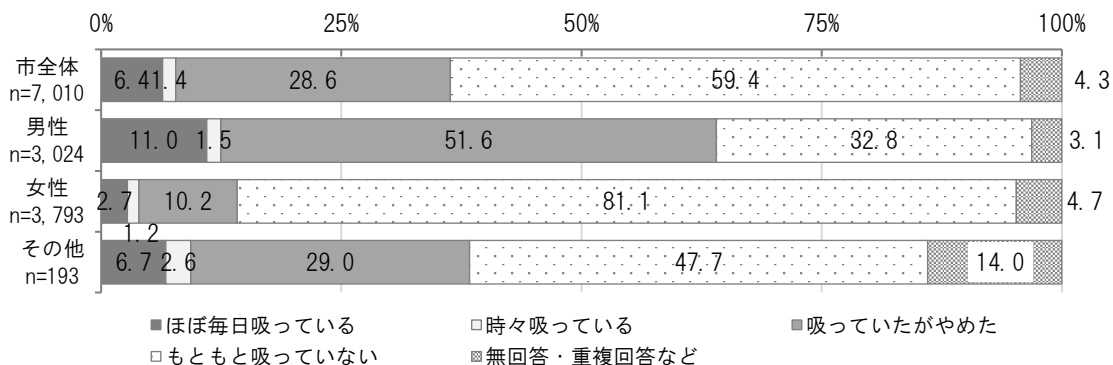
(6) タバコは吸っていますか (〇は1つ)

市全体では、「もともと吸っていない」が 59.4%と最も高く、次いで「吸っていたがやめた」が 28.6%となっています。

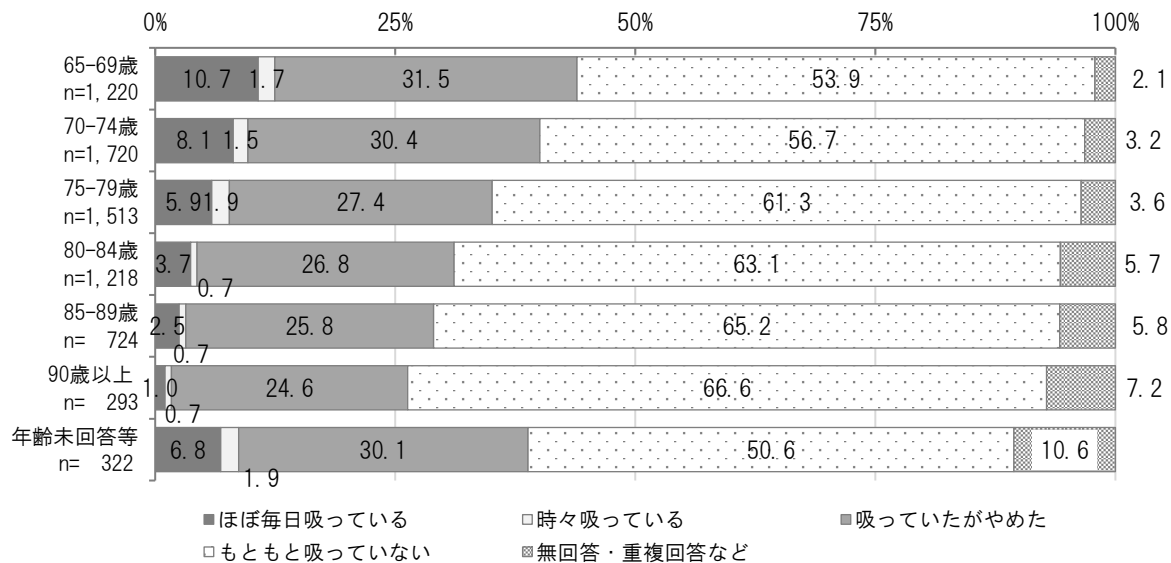
性別で見ると、男性では「吸っていたがやめた」が 51.6%と最も高く、女性より 41.4ポイント高くなっています。

年齢階級別で見ると、「ほぼ毎日吸っている」が年齢を重ねるにつれて、減少傾向となっており、反対に「もともと吸っていない」が上昇傾向となっています。

図表 2-8-8 喫煙の有無 (市全体・性別)

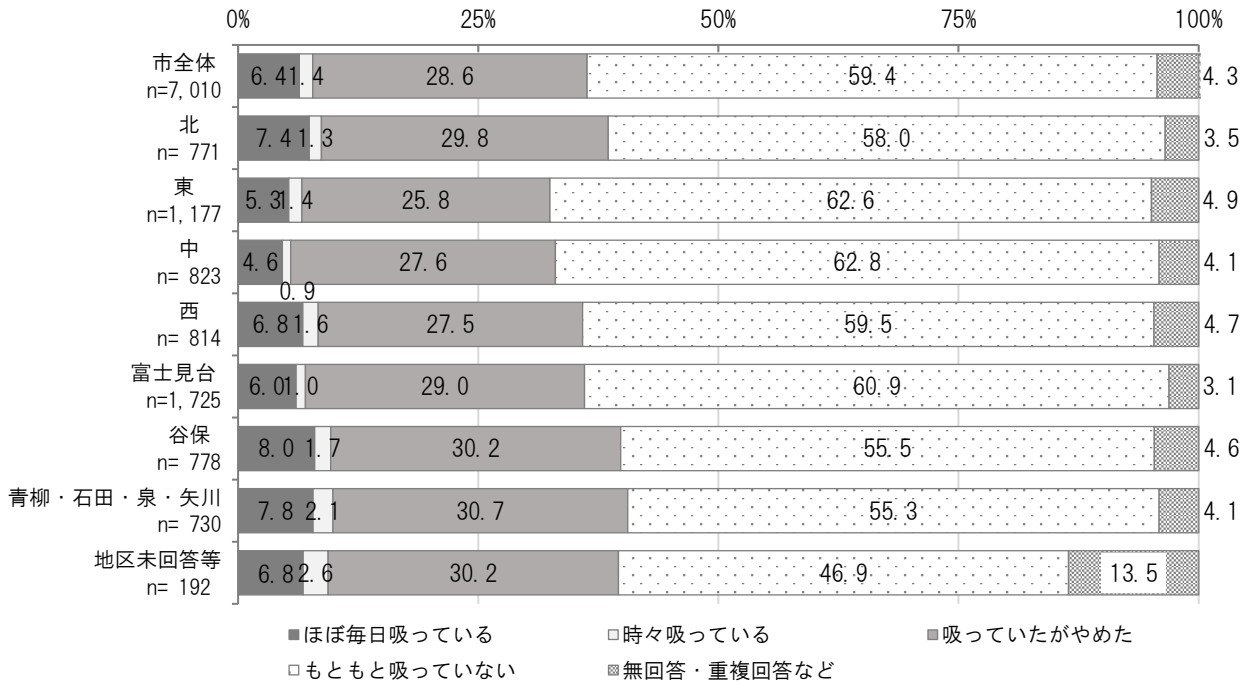


図表 2-8-9 喫煙の有無 (年齢階級別)



地区別でみると、「ほぼ毎日吸っている」が最も高い地区は、「谷保地区」の 8.0%、次いで「青柳・石田・泉・矢川地区」の 7.8%となっています。

図表 2-8-10 喫煙の有無（地区別）



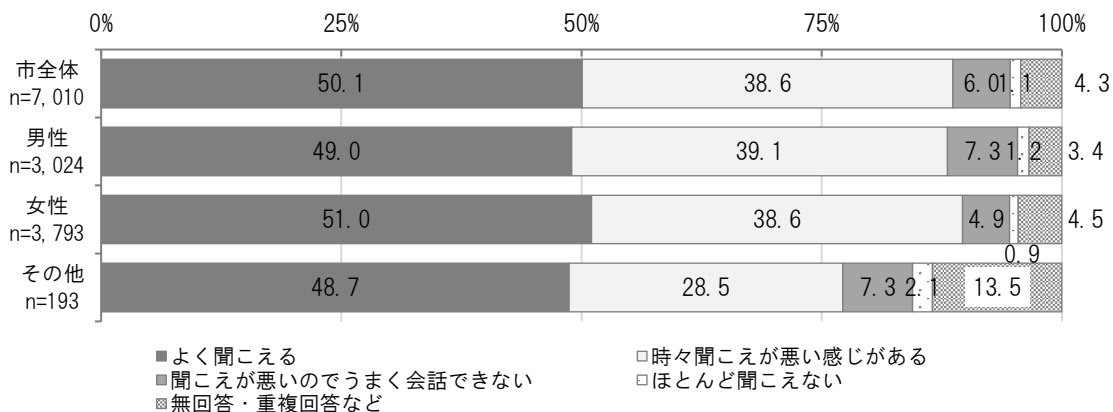
(7) 現在の耳の聞こえはどうか (〇は1つ)

市全体では、「よく聞こえる」が 50.1%と最も高く、次いで「時々聞こえが悪い感じがある」が 38.6%となっています。

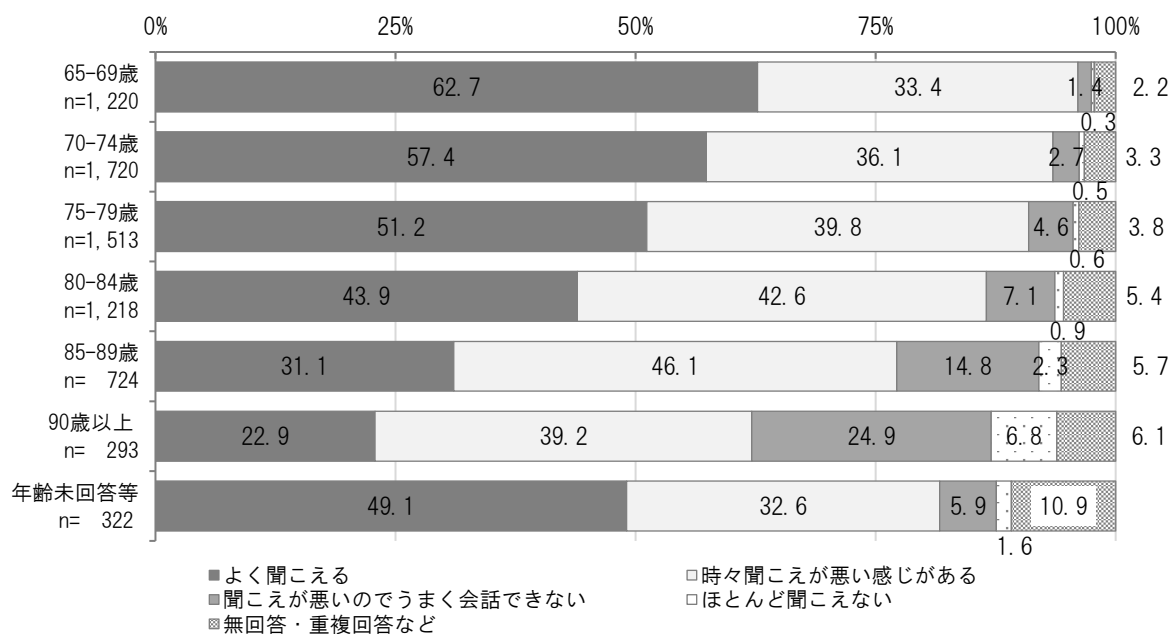
性別でみると、男性では「聞こえが悪いのでうまく会話できない」が 7.3%と、女性より 2.4 ポイント高くなっています。

年齢階級別でみると、「よく聞こえる」が年齢を重ねるにつれて、減少傾向となっており、反対に「聞こえが悪いのでうまく会話できない」が上昇傾向となっています。

図表 2-8-11 耳の聞こえ (市全体・性別)

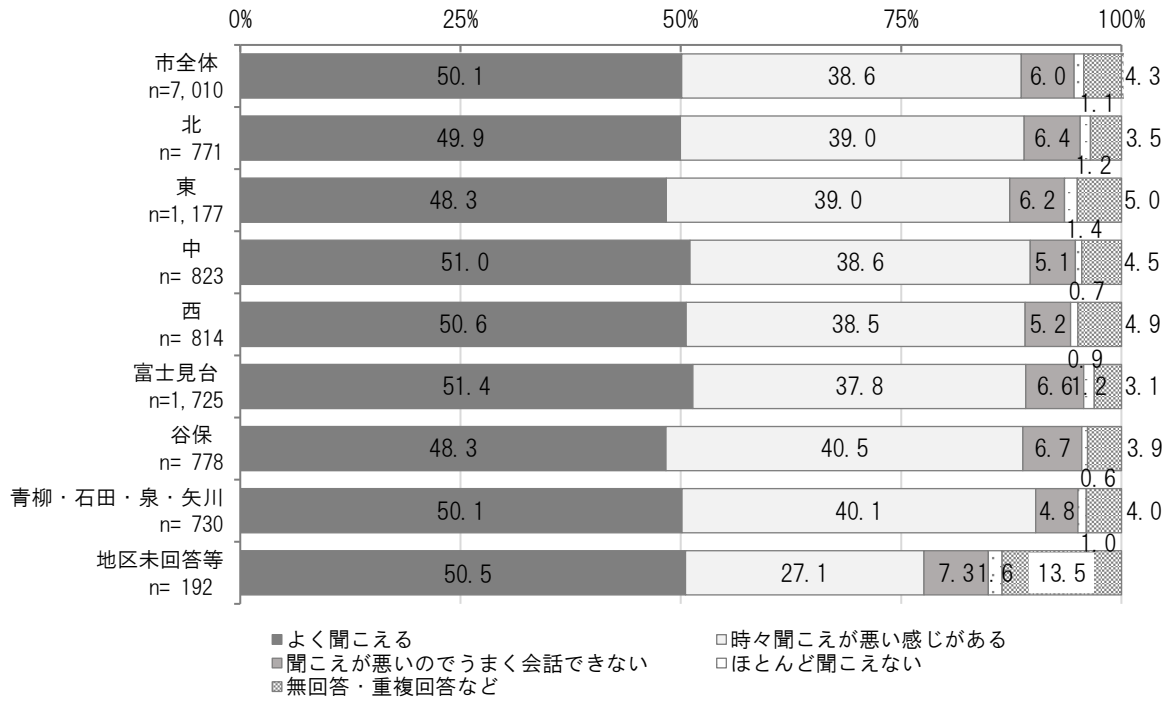


図表 2-8-12 耳の聞こえ (年齢階級別)



地区別でみると、「聞こえが悪いのでうまく会話できない」が最も高い地区は、「谷保地区」の6.7%、次いで「富士見台地区」の6.6%となっています。

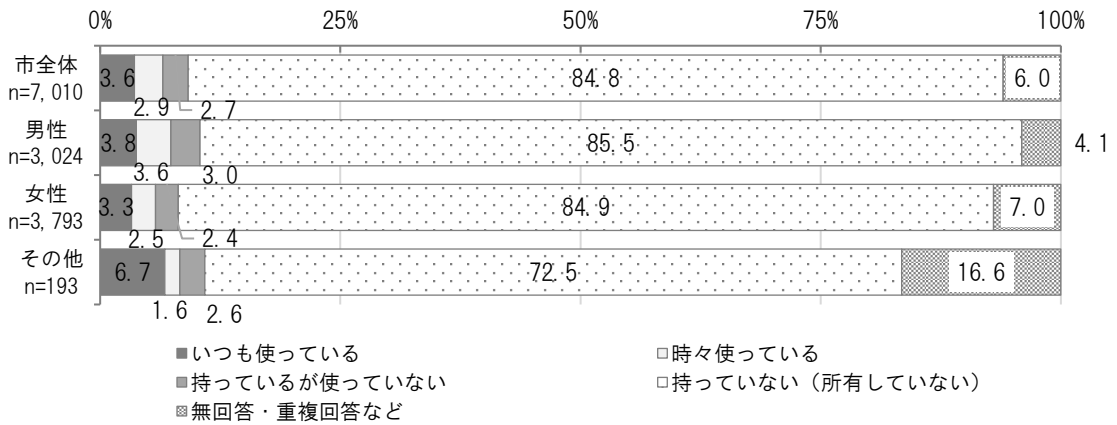
図表 2-8-13 耳の聞こえ（地区別）



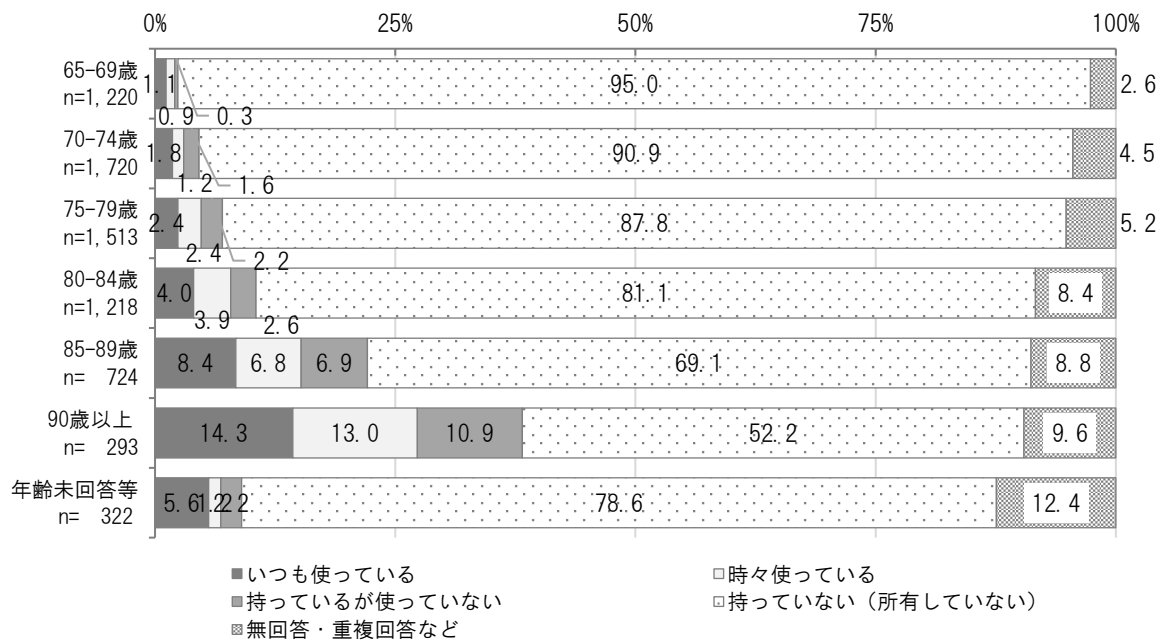
(8) 補聴器は持っていますか（所有していますか）。また、日頃から使っていますか（○は1つ）

市全体では、「持っていない（所有していない）」が84.8%と最も高くなっています。
 性別でみると、男性では「持っているが使っていない」が3.0%と、女性より0.6ポイント高くなっています。
 年齢階級別でみると、「いつも使っている」が年齢を重ねるにつれて、上昇傾向となっています。

図表 2-8-14 補聴器の使用頻度（市全体・性別）

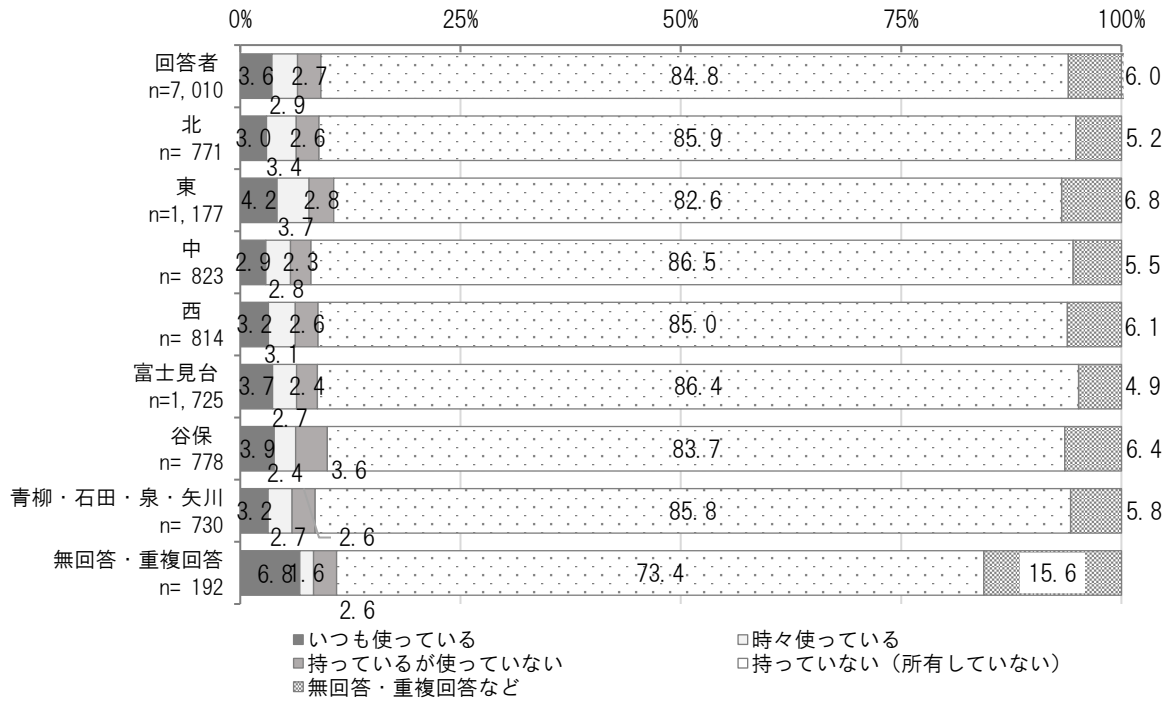


図表 2-8-15 補聴器の使用頻度（年齢階級別）



地区別でみると、「持っているが使ってない」が最も高いのは、「谷保地区」の3.6%、次いで「東地区」の2.8%となっています。

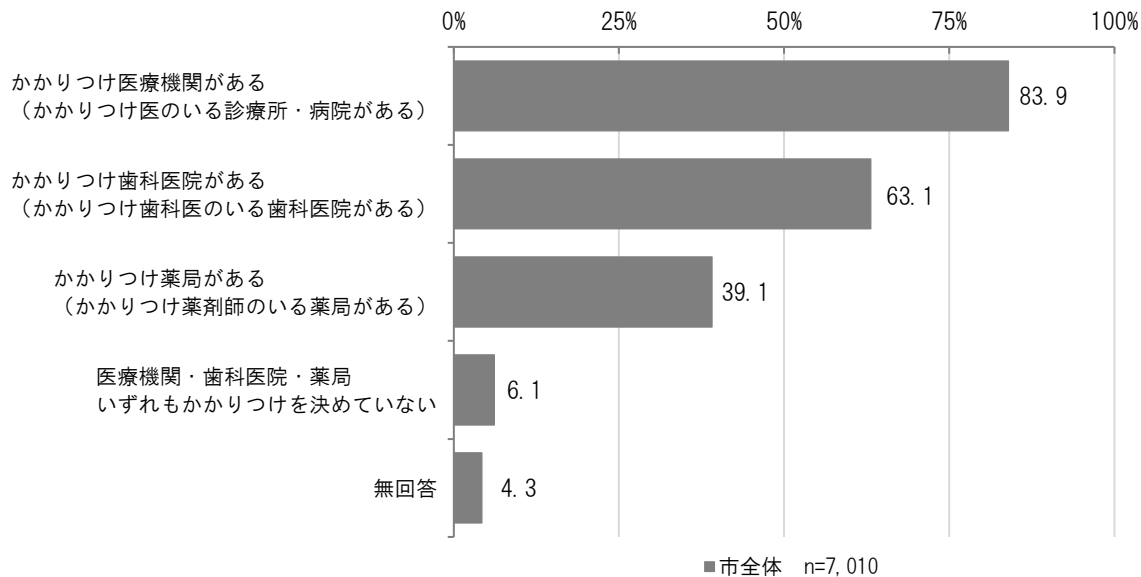
図表 2-8-16 補聴器の使用頻度（地区別）



(9) あなたは、かかりつけ医を決めていますか（あてはまるものに○）

市全体では、「かかりつけ医療機関がある（かかりつけ医のいる診療所・病院がある）」が83.9%と最も高く、次いで「かかりつけ歯科医院がある（かかりつけ歯科医のいる歯科医院がある）」が63.1%、「かかりつけ薬局がある（かかりつけ薬剤師のいる薬局がある）」が39.1%となっています。

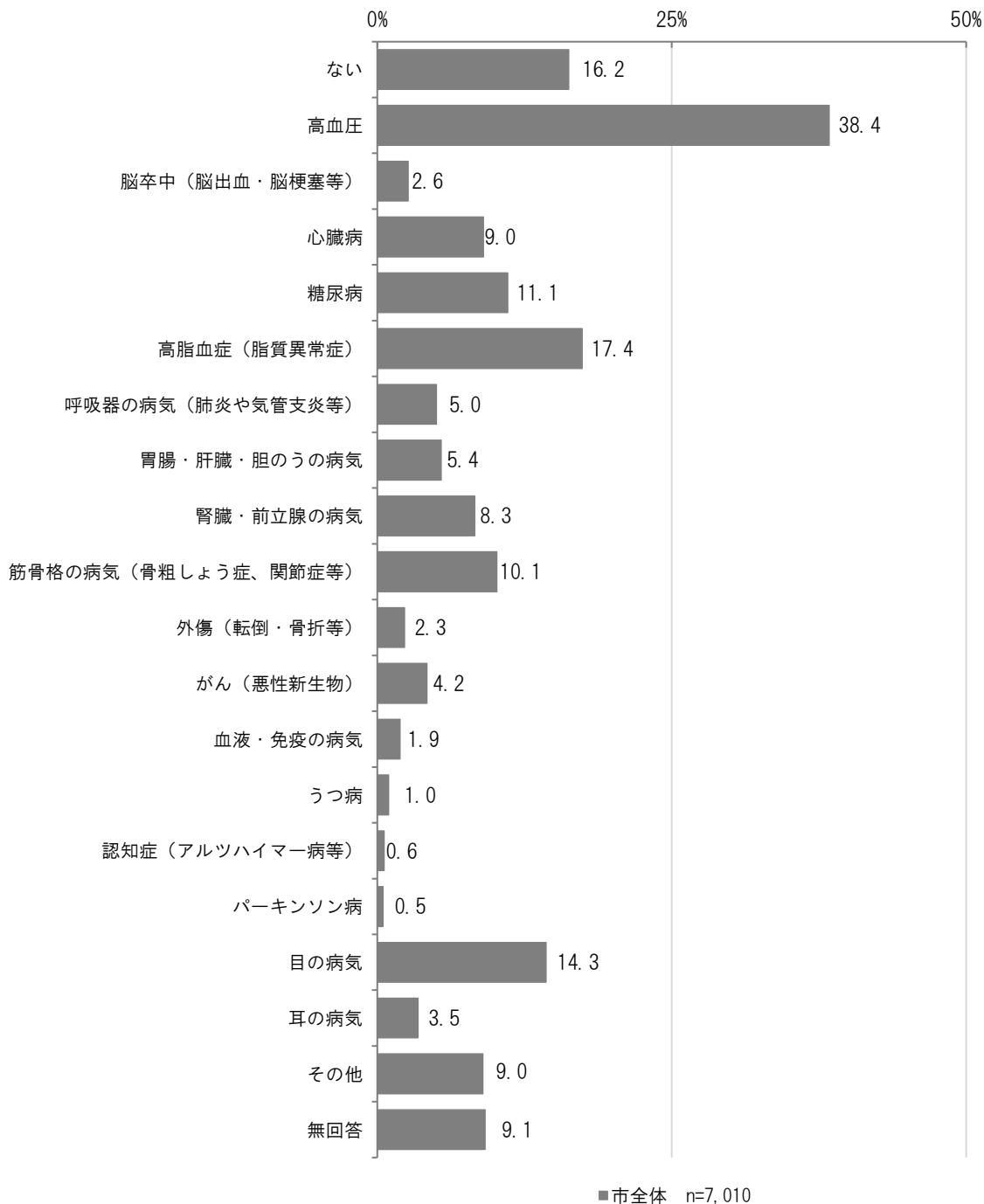
図表 2-8-17 かかりつけ医の有無（市全体）



(10) 現在治療中、または後遺症のある病気はありますか（あてはまるものに○）

市全体では、「高血圧」が 38.4%と最も高く、次いで「高脂血症（脂質異常症）」が 17.4%、「目の病気」が 14.3%となっています。
 一方で、「ない」が 16.2%となっています。

図表 2-8-18 治療中または後遺症のある病気（市全体）

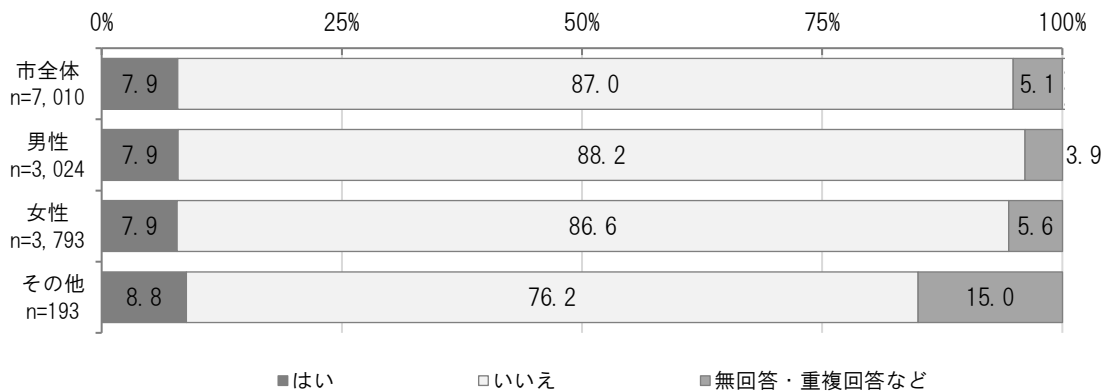


問9 認知症について

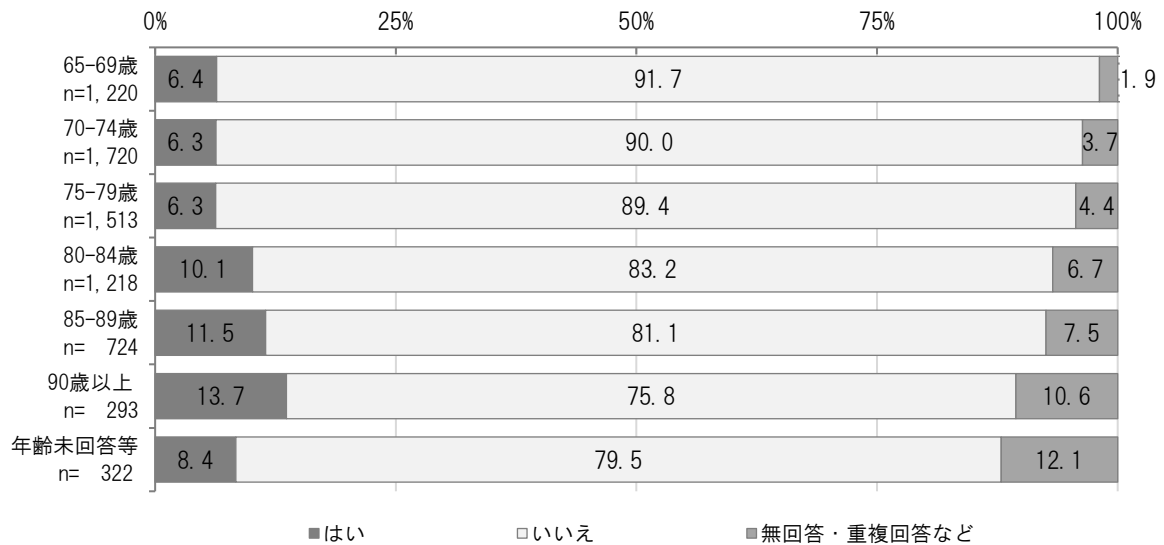
(1) 認知症の症状がありますか。又は家族に認知症の症状がある人がいますか

市全体では、「いいえ」が87.0%と最も高くなっています。
 性別でみると、男性の「いいえ」が88.2%と女性より1.6ポイント高くなっています。
 年齢階級別でみると、「はい」が年齢を重ねるにつれて、上昇傾向となっています。

図表 2-9-1 認知症の症状の有無について（市全体・性別）

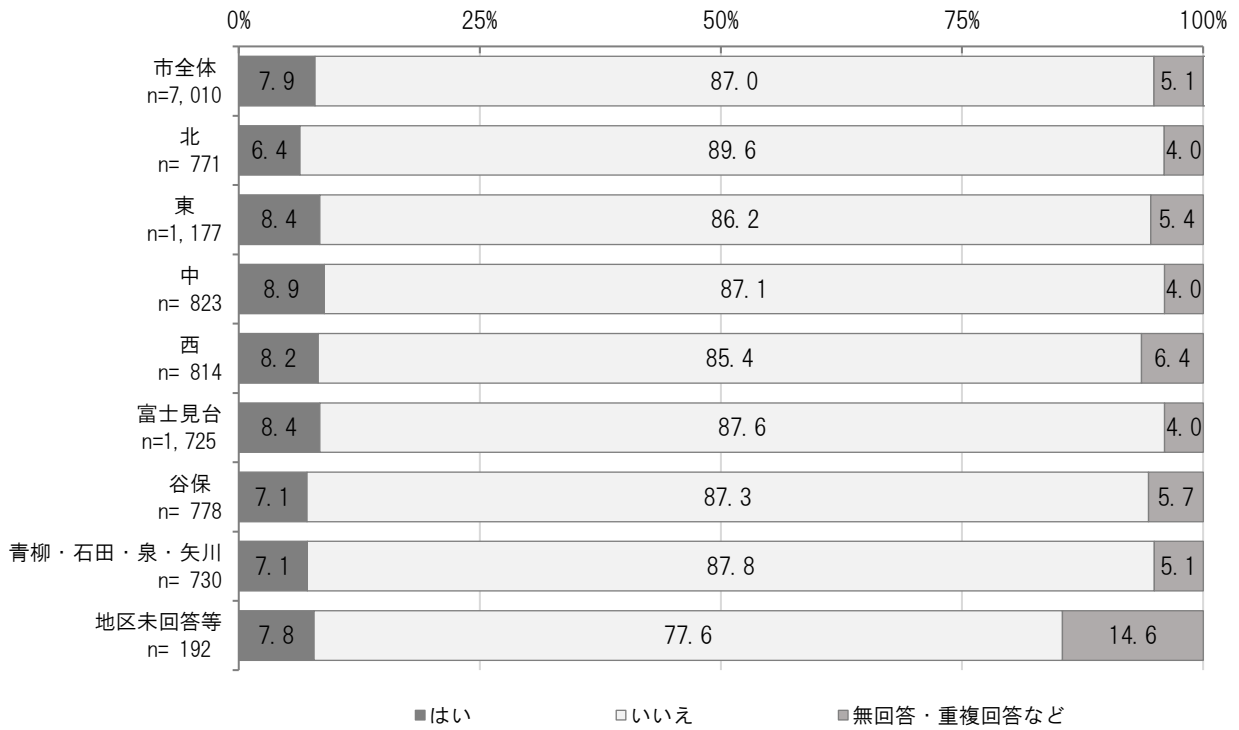


図表 2-9-2 認知症の症状の有無について（年齢階級別）



地区別でみると、「はい」が最も高いのは、「中地区」の8.9%、次いで「東地区」「富士見台地区」の8.4%となっています。

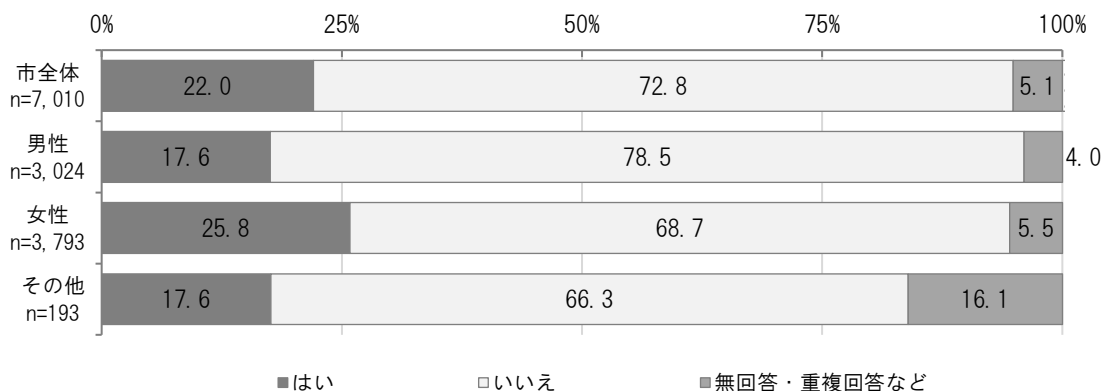
図表 2-9-3 認知症の症状の有無について（地区別）



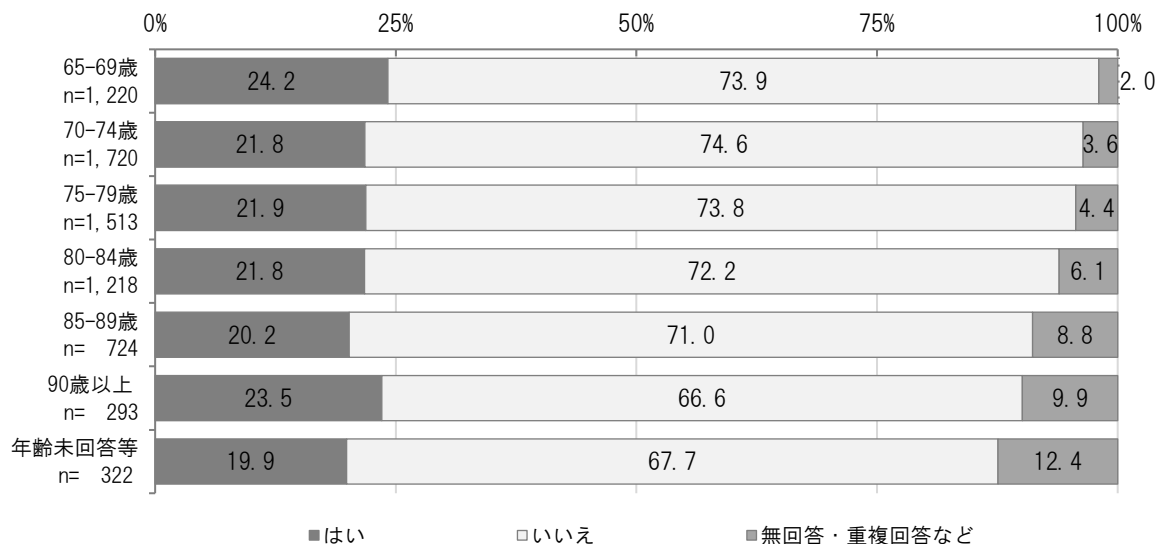
(2) 認知症に関する相談窓口を知っていますか

市全体では、「いいえ」が72.8%と最も高くなっています。
 性別でみると、女性の「はい」が25.8%と男性より8.2ポイント高くなっています。
 年齢階級別でみると、「いいえ」が年齢を重ねるにつれて、減少傾向となっています。

図表 2-9-4 認知症の相談窓口の認知度（市全体・性別）

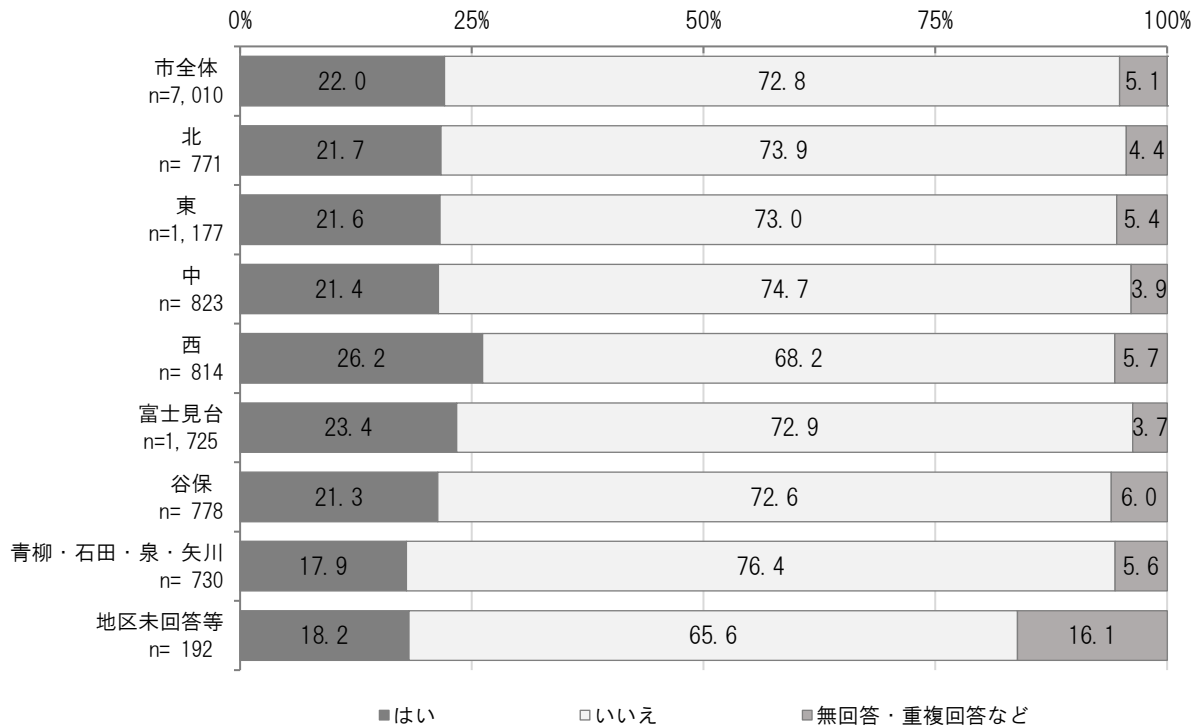


図表 2-9-5 認知症の相談窓口の認知度（年齢階級別）



地区別でみると、「いいえ」が最も高いのは、「青柳・石田・泉・矢川地区」の76.4%、次いで「中地区」の74.7%となっています。

図表 2-9-6 認知症の相談窓口の認知度（地区別）

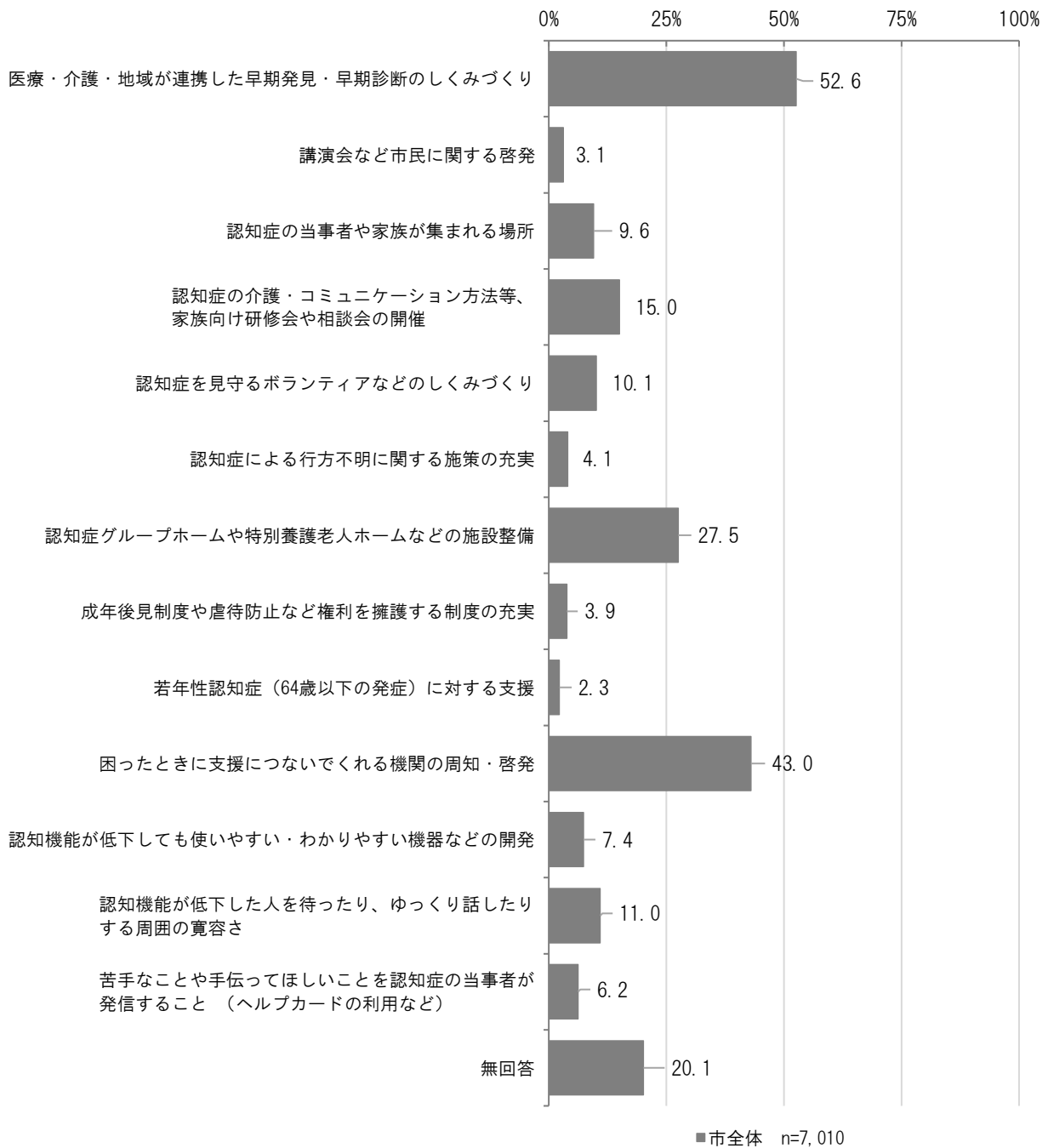


(3) 認知症に関する支援で必要なことはどのようなことだと思いますか

(あてはまるものに○ 最大3つまで)

市全体では、「医療・介護・地域が連携した早期発見・早期診断のしくみづくり」が52.6%と最も高く、次いで「困ったときに支援につないでくれる機関の周知・啓発」が43.0%、「認知症グループホームや特別養護老人ホームなどの施設整備」が27.5%となっています。

図表 2-9-7 認知症支援で必要だと思うこと（市全体）



※最大で3つまでになりますので、4つ以上回答した方は対象外としております（無回答へ）

3章

基本チェックリスト判定結果

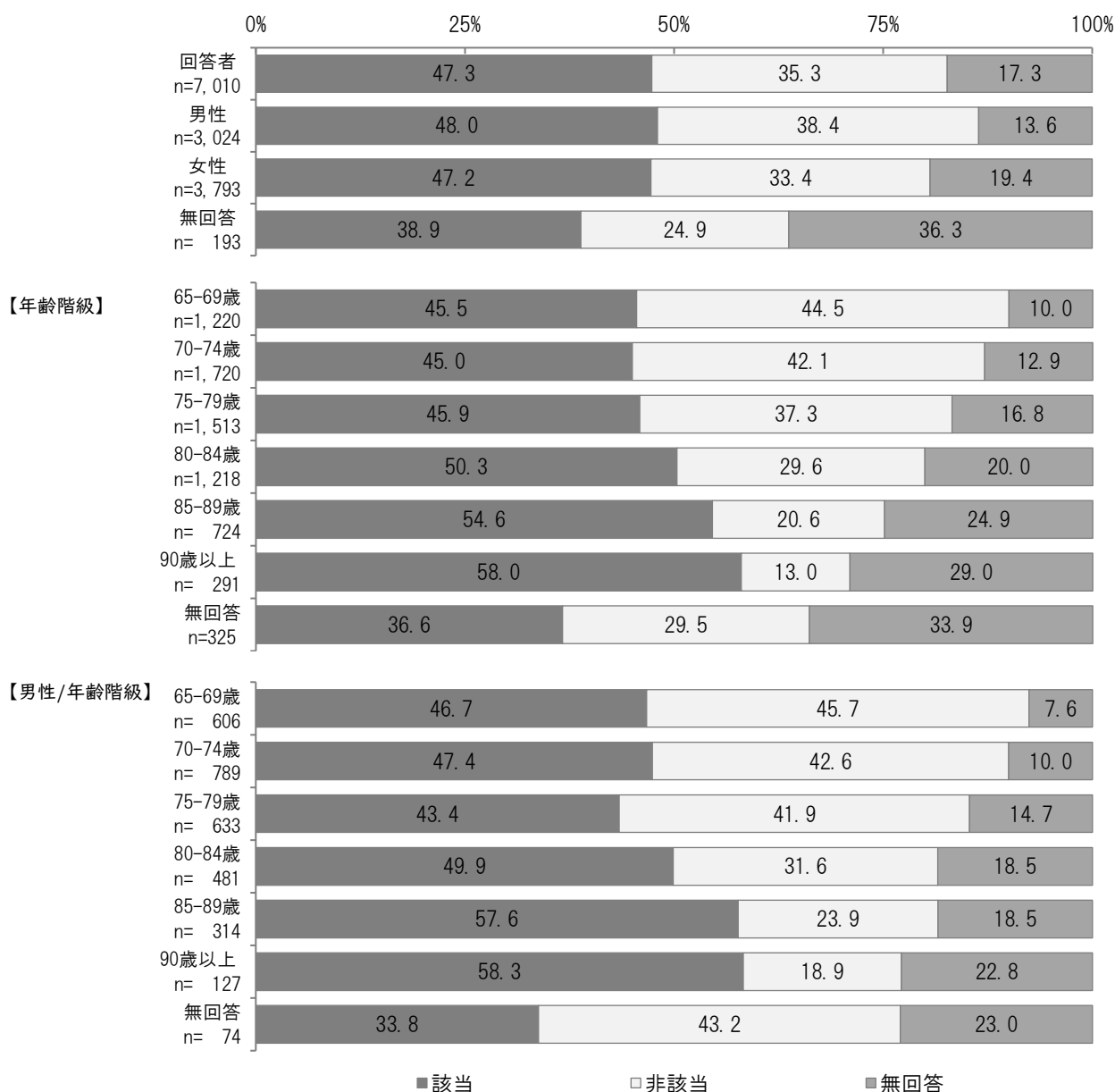
第3章 基本チェックリスト判定結果

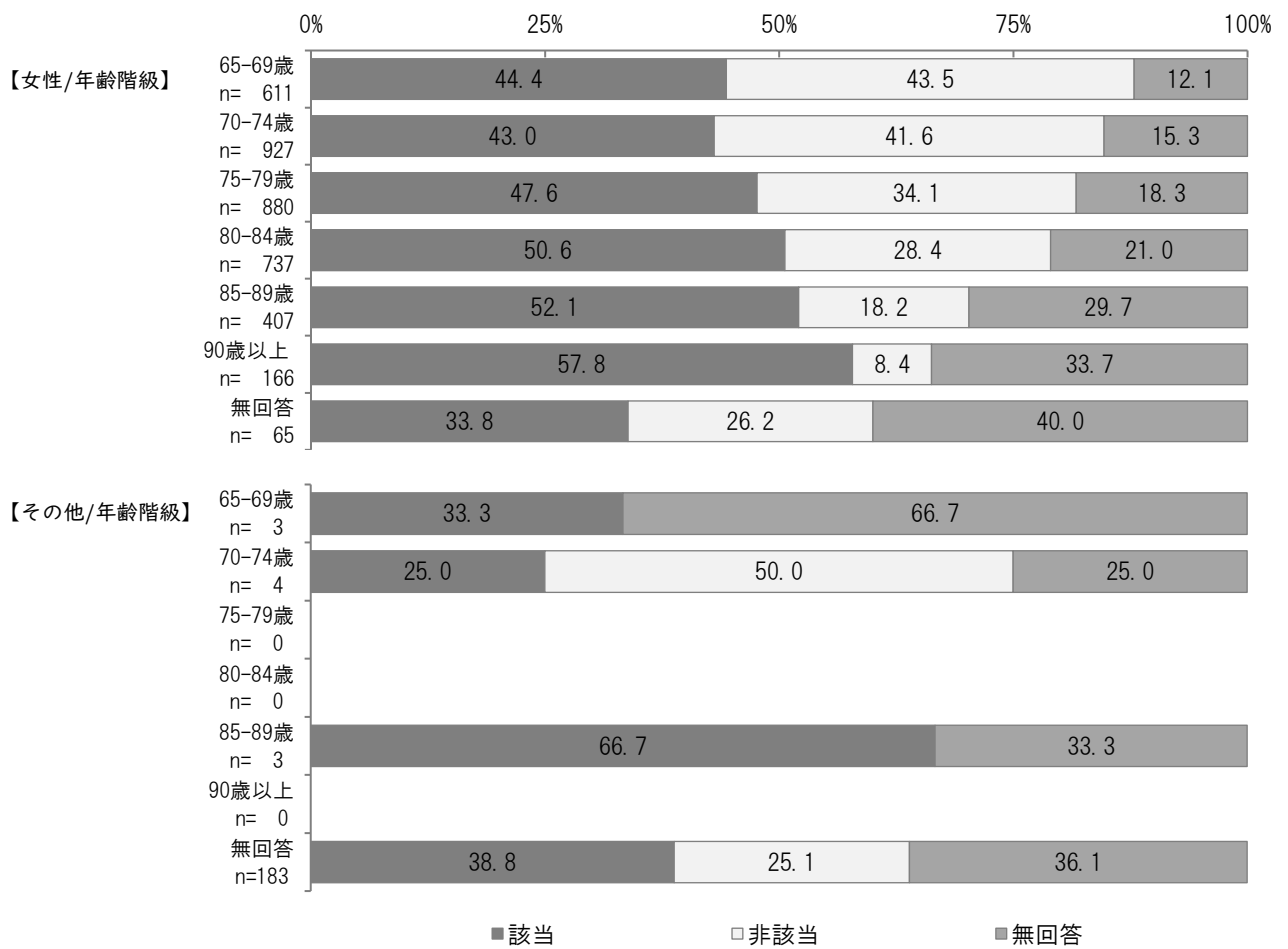
1 総合判定結果・リスク別出現率の状況

(1) 介護予防事業対象者の出現率

市全体の介護の介護予防事業対象者に「該当」する人は、47.3%となっています。性別では、「男性」が48.0%と「女性」を0.8ポイント上回っています。年齢階級別に見ると男女ともに年齢階級が上がるほど出現率は高くなる傾向となっています。

図表 3-1 介護予防事業対象者の出現率（性別・年齢階級別）

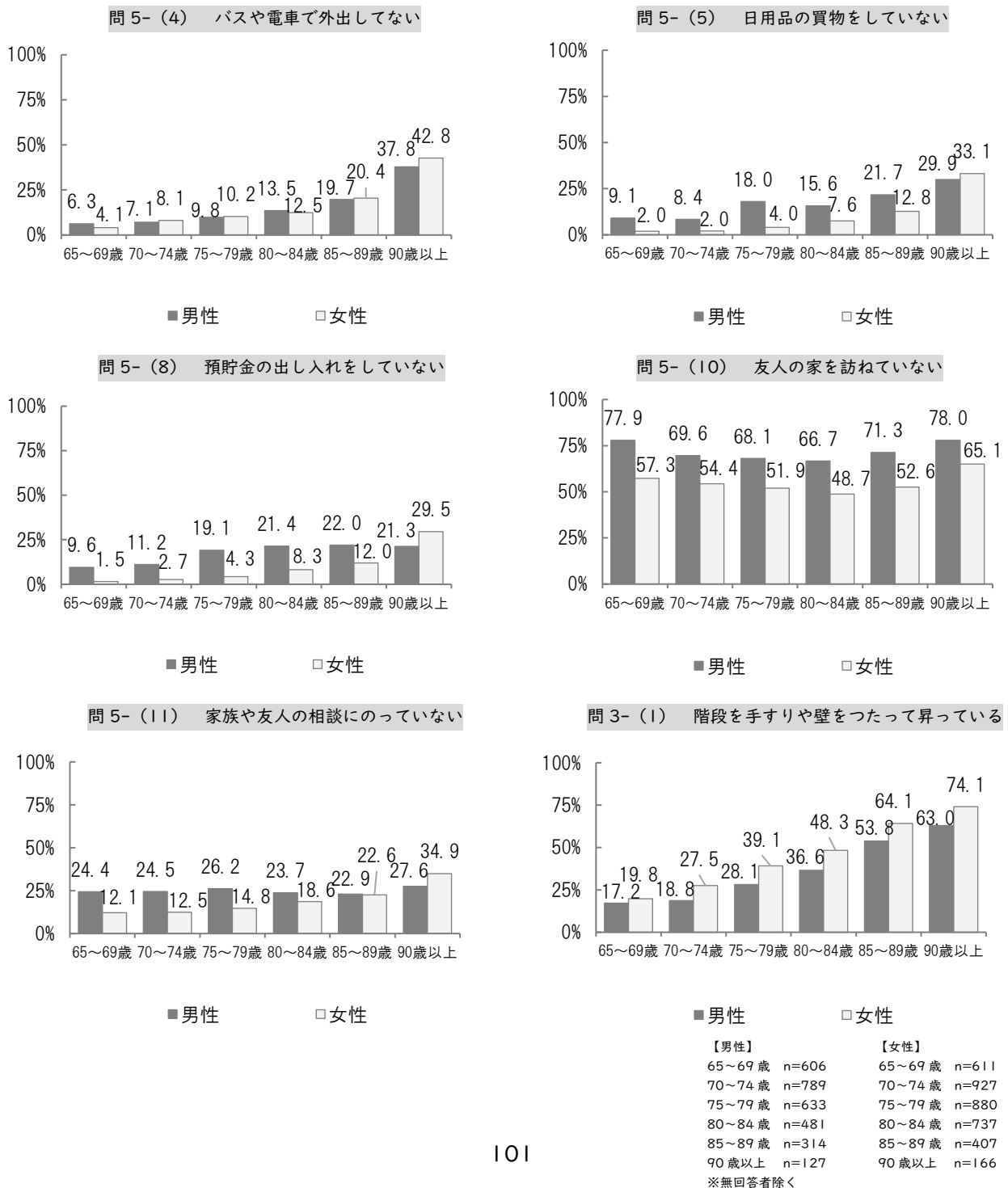




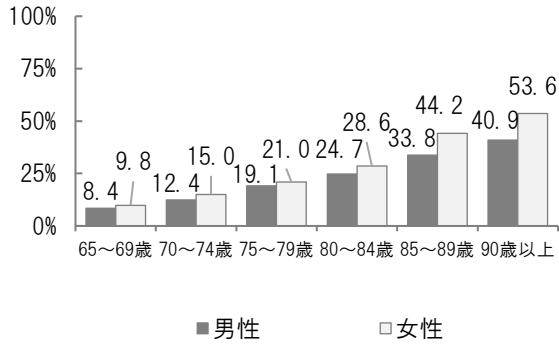
(2) 基本チェックリストの回答結果

ほとんどの項目で加齢とともに割合は高くなる傾向が見られます。
 男性では、「問 5- (5) 日用品の買物をしていない」、「問 5- (8) 預貯金の出し入れを
 していない」、「問 5- (10) 友人の家を訪ねていない」「問 5- (11) 家族や友人の相談に
 のっていない」などの設問において、ほとんどの年齢階級で女性を上回っています。
 女性では「問 3- (1) 階段手すりや壁をつたって昇っている」、「問 3- (2) 椅子から
 何かにつかまってたちあがっている」、「問 3- (5) 転倒に対する不安が大きい」など
 の「運動機能」に関する設問や、「問 4- (1) やせている (BMI 18.5 未満)」、「問 8- (3)
 気分が沈んだりゆううつな気持ちになる」において、全ての年齢階級で男性を上回って
 います。

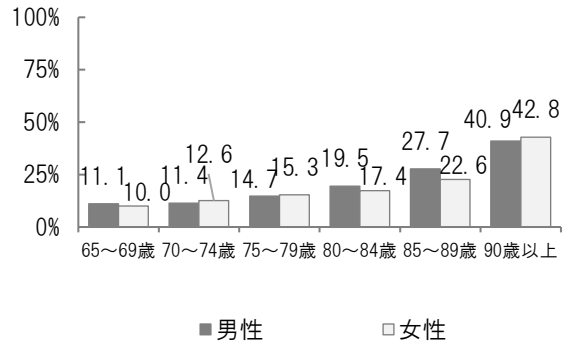
図表 3-2 基本チェックリストの回答結果 (性別・年齢階級別)



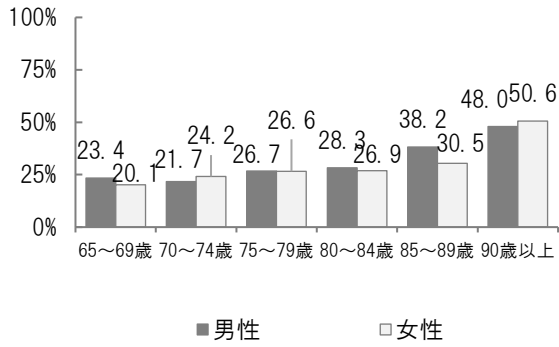
問3-(2) 椅子から何かにつかまって立ちあがっている



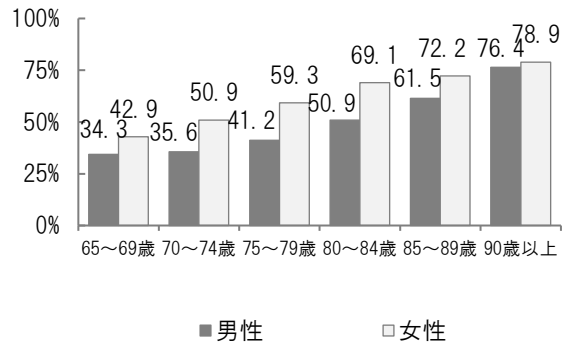
問3-(3) 15分位続けて歩けない



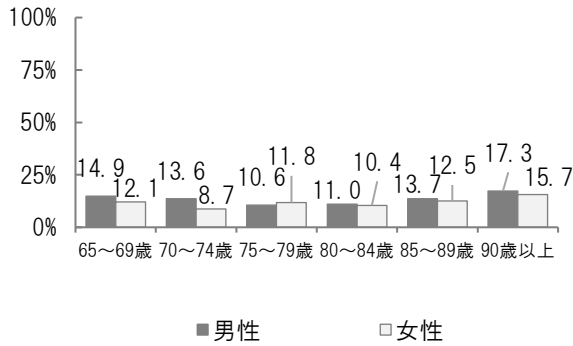
問3-(4) 過去1年間で転んだことがある



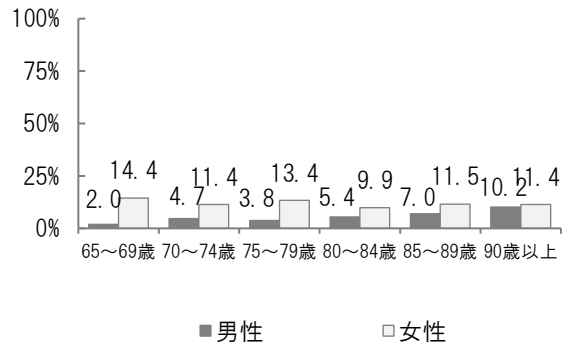
問3-(5) 転倒に対する不安が大きい



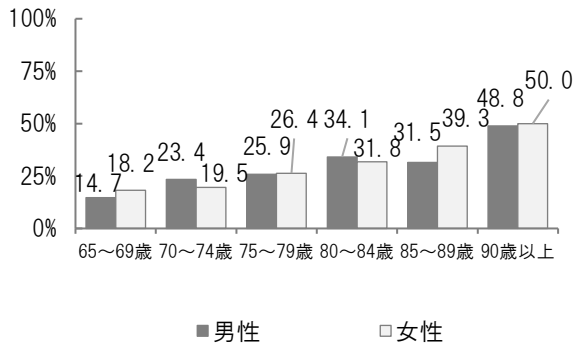
問4-(7) 6か月間で2~3kg以上の体重減少があった



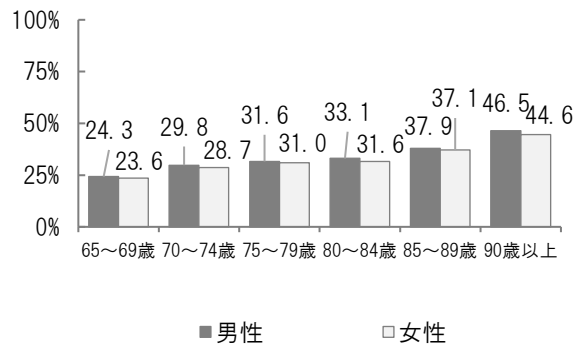
問4-(1) やせている (BMI18.5未満)



問4-(2) 半年前に比べて固いものが食べにくい



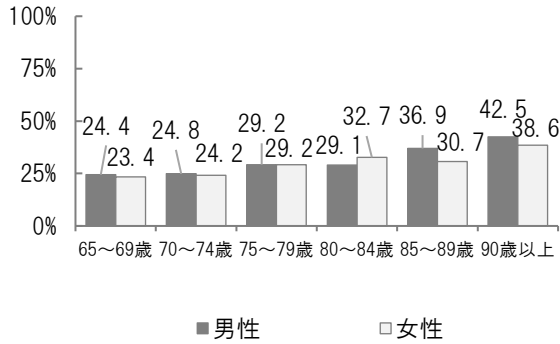
問4-(3) お茶や汁物等でおせることがある



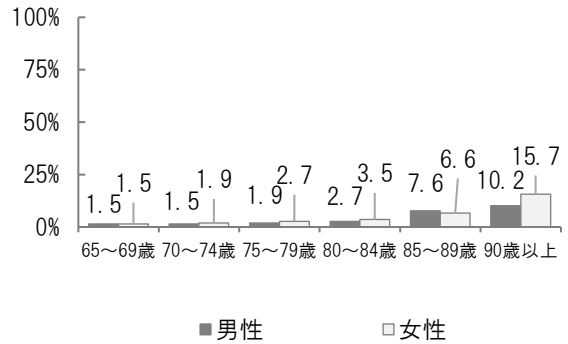
【男性】	【女性】
65~69歳 n=606	65~69歳 n=611
70~74歳 n=789	70~74歳 n=927
75~79歳 n=633	75~79歳 n=880
80~84歳 n=481	80~84歳 n=737
85~89歳 n=314	85~89歳 n=407
90歳以上 n=127	90歳以上 n=166

※無回答者除く

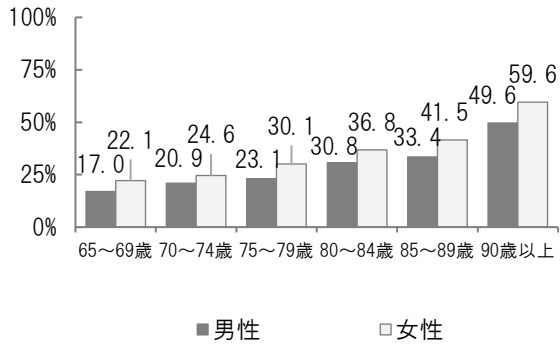
問 4- (4) 口の渇きが気になる



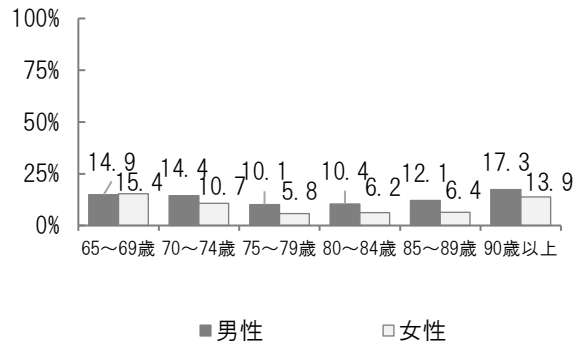
問 3- (6) 週に1回以上外出していない



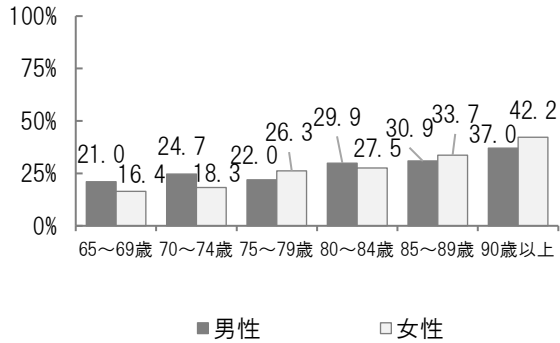
問 3- (7) 昨年と比べて外出回数が減った



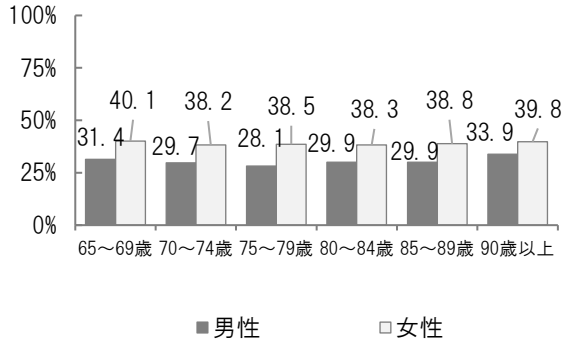
問 5- (2) 自分で電話番号を調べて電話をかける



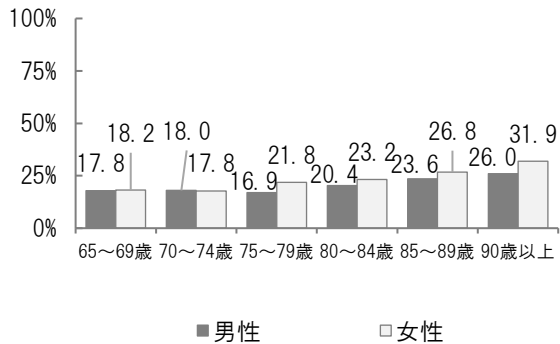
問 5- (3) 今日が何月何日かわからない



問 8- (3) 気分が沈んだりゆううつな気持ちになる



問 8- (4) 物事に対して興味がわかない、たのしめない



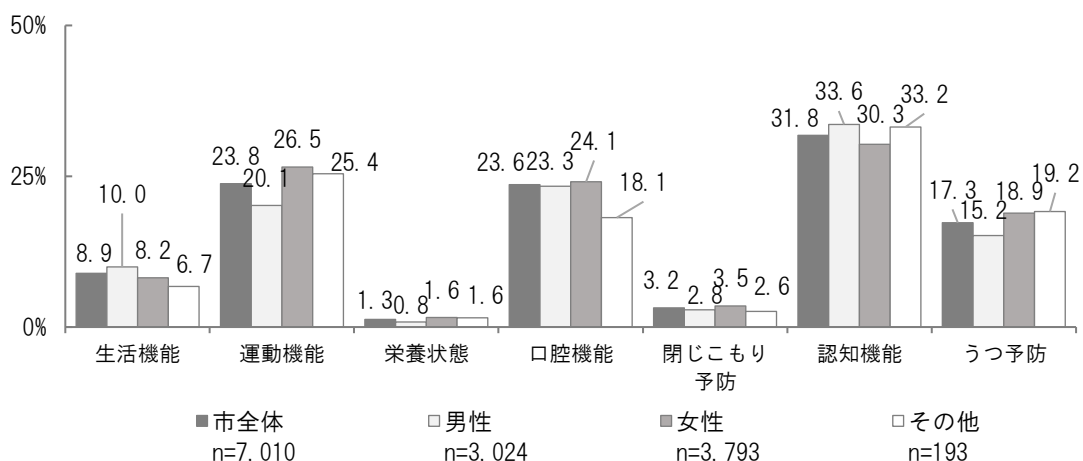
【男性】	【女性】
65～69歳 n=606	65～69歳 n=611
70～74歳 n=789	70～74歳 n=927
75～79歳 n=633	75～79歳 n=880
80～84歳 n=481	80～84歳 n=737
85～89歳 n=314	85～89歳 n=407
90歳以上 n=127	90歳以上 n=166
※無回答者除く	

(3) 各リスク出現率

市全体では、「認知機能」が31.8%で最も高く、次いで、「運動機能」が23.8%、「口腔機能」が23.6%となっています。

性別では、女性が「運動機能」で6.4ポイント、「うつ予防」で3.7ポイント高くなっています。男性では「認知機能」で3.3ポイント高くなっています。

図表 3-3 リスク別出現率（性別）



図表 3-4 リスク別出現率（男性・年齢階級別）

上段：人/下段：%

回答者	市全体	男性							
		全体	65~69 歳	70~74 歳	75~79 歳	80~84 歳	85~89 歳	90歳 以上	無回答
全体 (n)	n=7,010	n=3,024	n=606	n=789	n=633	n=481	n=314	n=127	n=74
生活機能	625 8.9	302 10.0	26 4.3	47 6.0	50 7.9	69 14.3	59 18.8	45 35.4	6 8.1
運動機能	1,665 23.8	609 20.1	66 10.9	94 11.9	114 18.0	127 26.4	125 39.8	68 53.5	15 20.3
栄養状態	88 1.3	25 0.8	2 0.3	6 0.8	5 0.8	3 0.6	3 1.0	5 3.9	1 1.4
口腔機能	1,654 23.6	706 23.3	99 16.3	164 20.8	152 24.0	128 26.6	98 31.2	54 42.5	11 14.9
閉じこもり 予防	224 3.2	86 2.8	9 1.5	12 1.5	12 1.9	13 2.7	24 7.6	13 10.2	3 4.1
認知機能	2,229 31.8	1,016 33.6	200 33.0	267 33.8	180 28.4	171 35.6	120 38.2	55 43.3	23 31.1
うつ予防	1,213 17.3	459 15.2	93 15.3	111 14.1	89 14.1	79 16.4	54 17.2	26 20.5	7 9.5

図表 3-5 リスク別出現率（女性・年齢階級別）

上段：人/下段：%

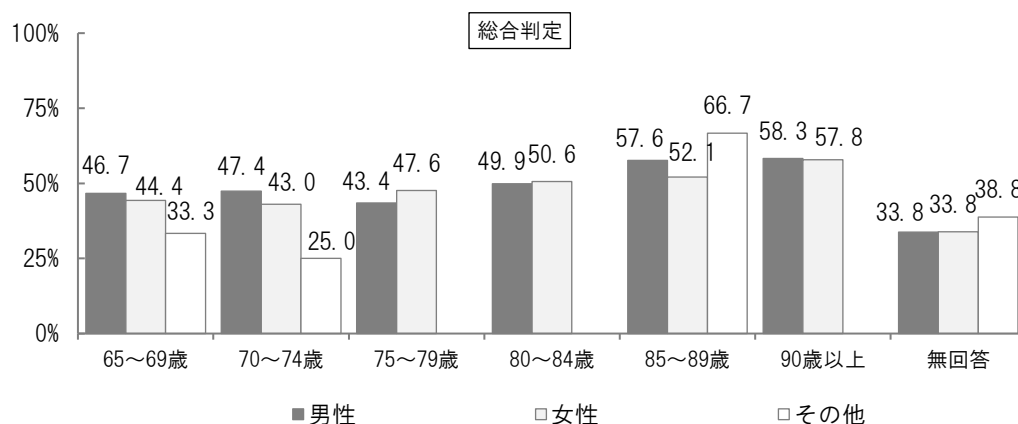
回答者	市全体	女性							
		全体	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85～89歳	90歳以上	未回答
全体 (n)	n=7,010	n=3,793	n=611	n=927	n=880	n=737	n=407	n=166	n=65
生活機能	625 8.9	310 8.2	17 2.8	40 4.3	68 7.7	62 8.4	61 15.0	54 32.5	8 12.3
運動機能	1,665 23.8	1,007 26.5	73 11.9	162 17.5	228 25.9	241 32.7	180 44.2	106 63.9	17 26.2
栄養状態	88 1.3	60 1.6	5 0.8	9 1.0	21 2.4	13 1.8	7 1.7	4 2.4	1 1.5
口腔機能	1,654 23.6	913 24.1	104 17.0	175 18.9	214 24.3	213 28.9	124 30.5	67 40.4	16 24.6
閉じこもり 予防	224 3.2	133 3.5	9 1.5	18 1.9	24 2.7	26 3.5	27 6.6	26 15.7	3 4.6
認知機能	2,229 31.8	1,149 30.3	168 27.5	241 26.0	263 29.9	231 31.3	146 35.9	82 49.4	18 27.7
うつ予防	1,213 17.3	717 18.9	99 16.2	145 15.6	167 19.0	150 20.4	97 23.8	47 28.3	12 18.5

図表 3-6 リスク別出現率（その他・年齢階級別）

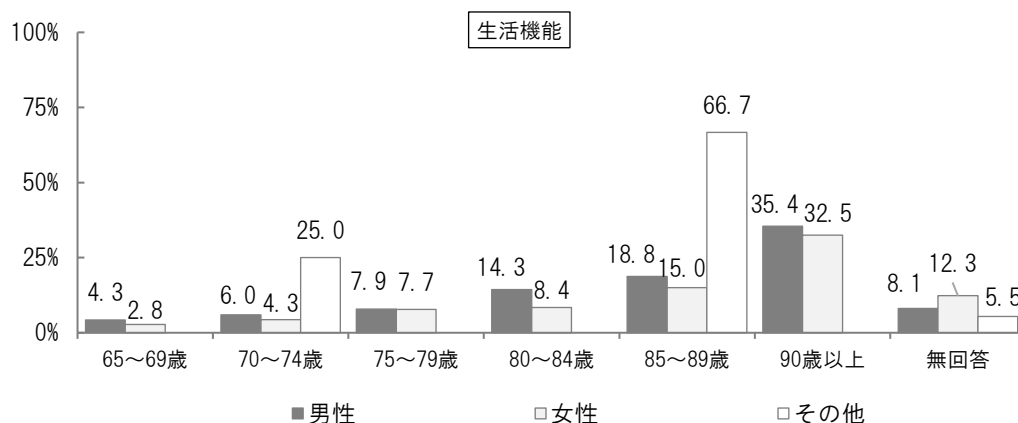
上段：人/下段：%

回答者	市全体	性別未回答							
		全体	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85～89歳	90歳以上	未回答
全体 (n)	n=7,010	n=193	n=3	n=4	n=0	n=0	n=3	n=0	n=183
生活機能	625 8.9	13 6.7	0 0.0	1 25.0	0 0.0	0 0.0	2 66.7	0 0.0	10 5.5
運動機能	1,665 23.8	49 25.4	0 0.0	1 25.0	0 0.0	0 0.0	3 100.0	0 0.0	45 24.6
栄養状態	88 1.3	3 1.6	0 0.0	1 25.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 1.1
口腔機能	1,654 23.6	35 18.1	0 0.0	2 50.0	0 0.0	0 0.0	2 66.7	0 0.0	31 16.9
閉じこもり 予防	224 3.2	5 2.6	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	5 2.7
認知機能	2,229 31.8	64 33.2	3 100.0	2 50.0	0 0.0	0 0.0	3 100.0	0 0.0	56 30.6
うつ予防	1,213 17.3	37 19.2	0 0.0	2 50.0	0 0.0	0 0.0	2 66.7	0 0.0	33 18.0

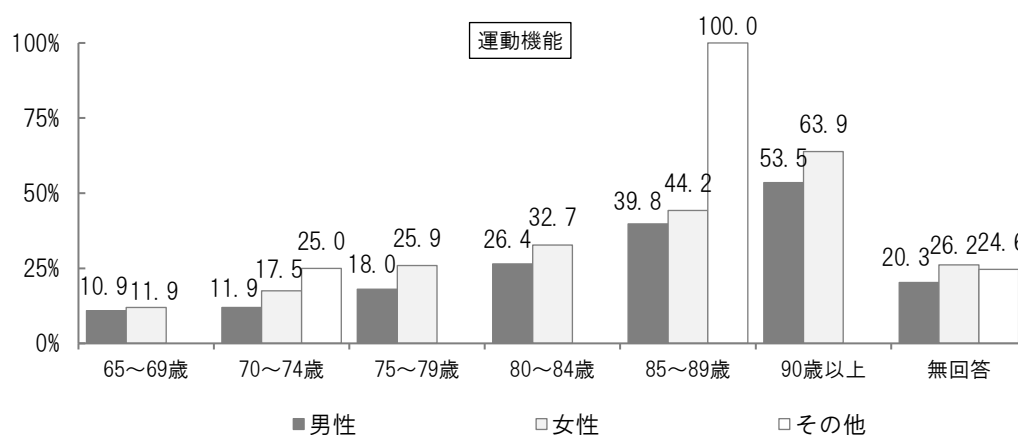
図表 3-7 総合判定 (性別・年齢階級別)



図表 3-8 生活機能の出現率 (性別・年齢階級別)

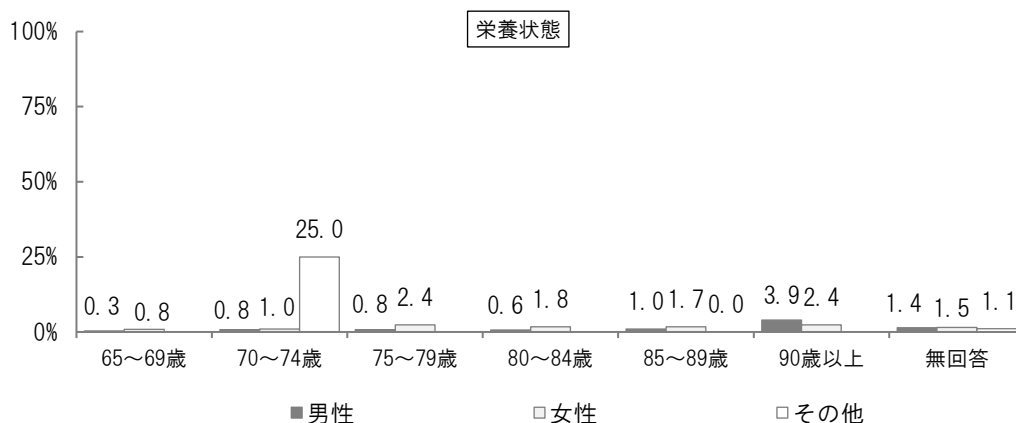


図表 3-9 運動機能出現率 (性別・年齢階級別)

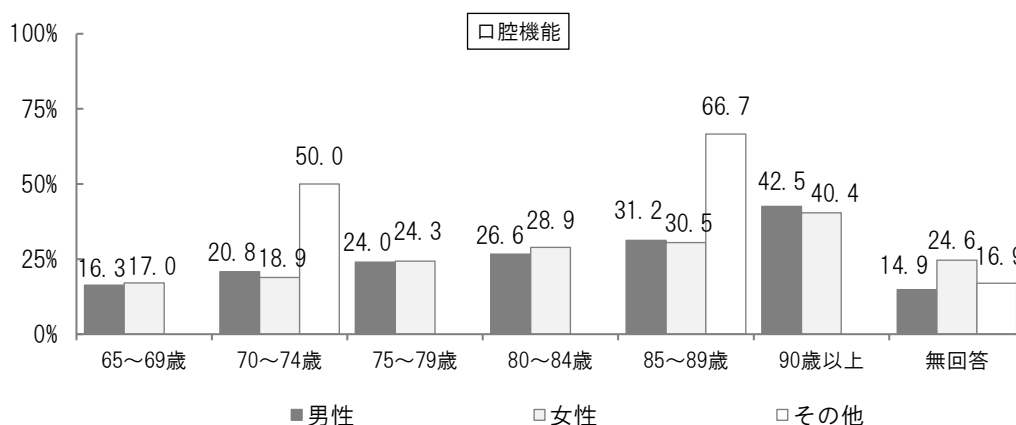


【男性】		【女性】		【その他】	
65~69歳	n=606	65~69歳	n=611	65~69歳	n=3
70~74歳	n=789	70~74歳	n=927	70~74歳	n=4
75~79歳	n=633	75~79歳	n=880	75~79歳	n=0
80~84歳	n=481	80~84歳	n=737	80~84歳	n=0
85~89歳	n=314	85~89歳	n=407	85~89歳	n=3
90歳以上	n=127	90歳以上	n=166	90歳以上	n=0
無回答	n=74	無回答	n=65	無回答	n=183

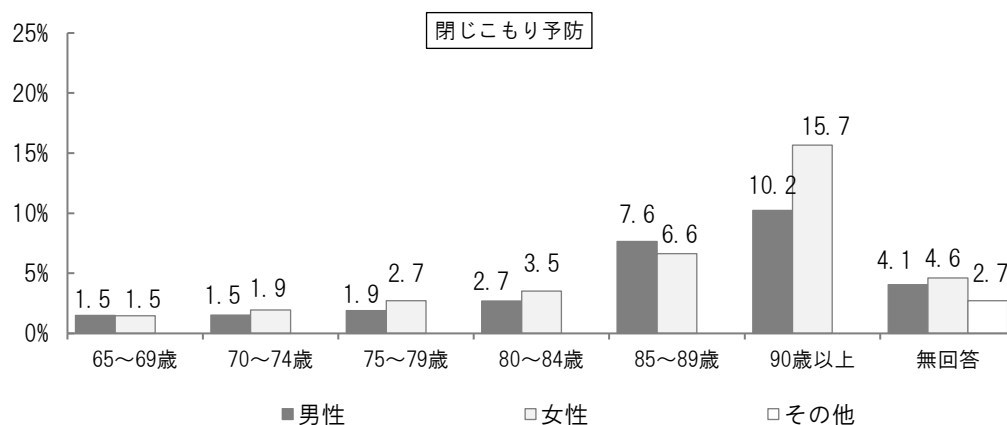
図表 3-10 栄養状態出現率（性別・年齢階級別）



図表 3-11 口腔機能出現率（性別・年齢階級別）

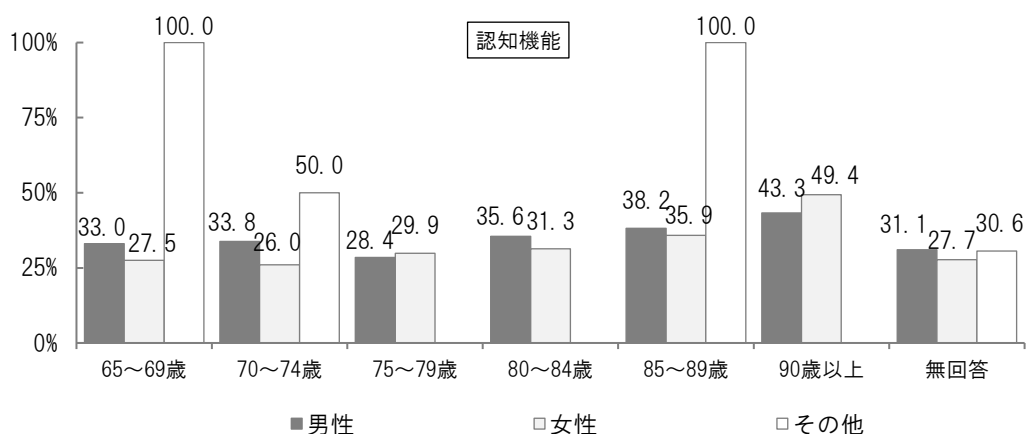


図表 3-12 閉じこもり出現率（性別・年齢階級別）

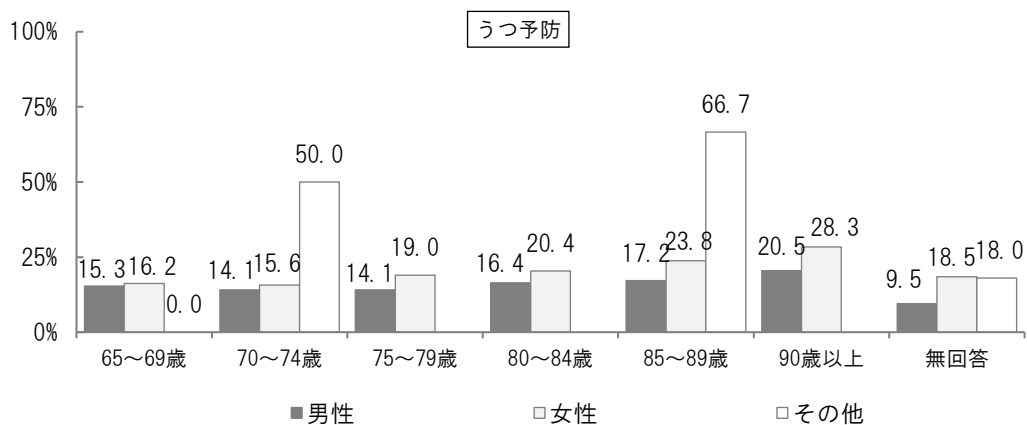


【男性】		【女性】		【未回答】	
65~69歳	n=606	65~69歳	n=611	65~69歳	n=3
70~74歳	n=789	70~74歳	n=927	70~74歳	n=4
75~79歳	n=633	75~79歳	n=880	75~79歳	n=0
80~84歳	n=481	80~84歳	n=737	80~84歳	n=0
85~89歳	n=314	85~89歳	n=407	85~89歳	n=3
90歳以上	n=127	90歳以上	n=166	90歳以上	n=0
無回答	n=74	無回答	n=65	無回答	n=183

図表 3-13 認知機能（性別・年齢階級別）



図表 3-14 うつ予防（性別・年齢階級別）



【男性】		【女性】		【未回答】	
65~69歳	n=606	65~69歳	n=611	65~69歳	n=3
70~74歳	n=789	70~74歳	n=927	70~74歳	n=4
75~79歳	n=633	75~79歳	n=880	75~79歳	n=0
80~84歳	n=481	80~84歳	n=737	80~84歳	n=0
85~89歳	n=314	85~89歳	n=407	85~89歳	n=3
90歳以上	n=127	90歳以上	n=166	90歳以上	n=0
無回答	n=74	無回答	n=65	無回答	n=183

(4) リスクの関連性

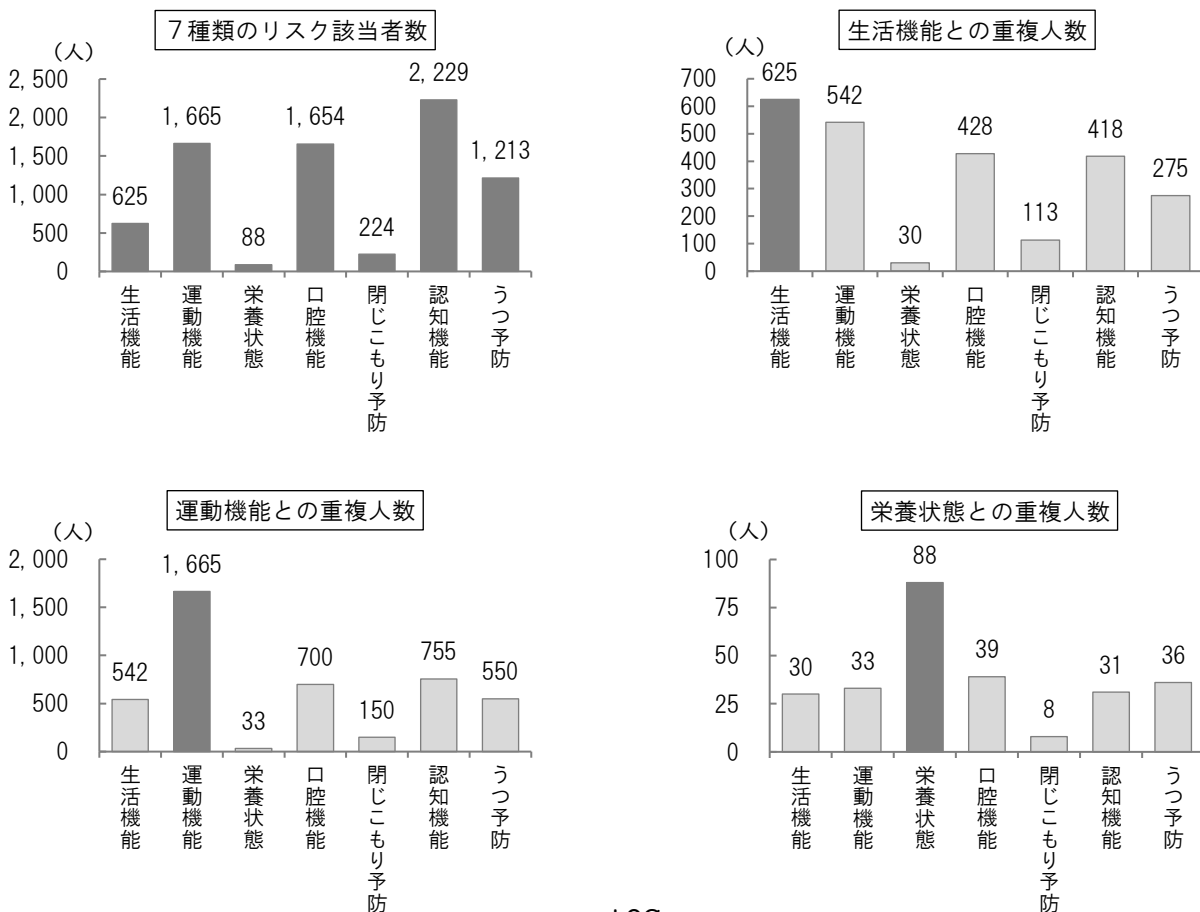
本市における各リスクのうち最も該当する割合が高い「認知機能」については、他リスクとの重複も多く見られ、いずれのリスクとも2割以上が重複しており、中でも「生活機能」との重複は66.9%と、最も高くなっています。

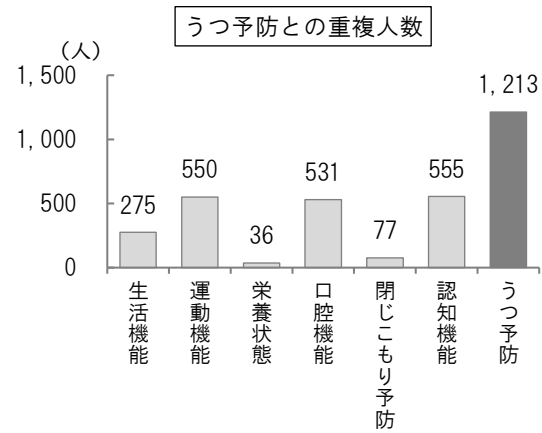
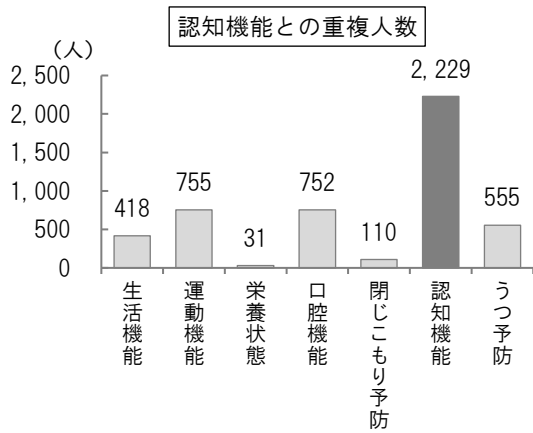
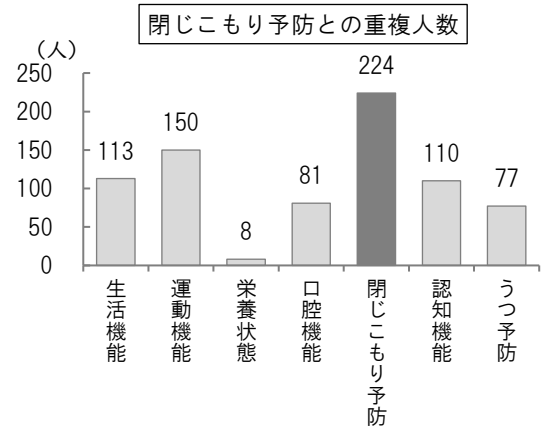
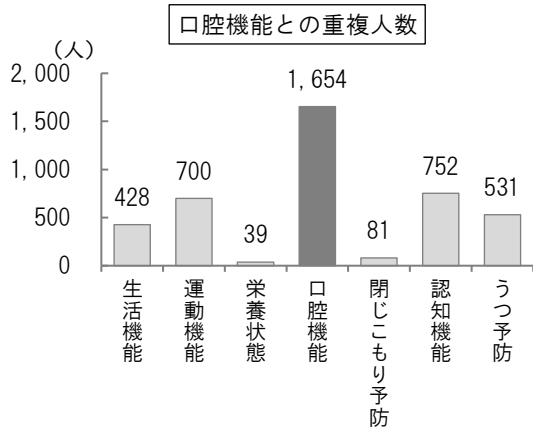
「生活機能」については、「運動機能」との重複が86.7%、「口腔機能」との重複が68.5%と高い関連性が見られます。

図表 3-15 各リスク該当者と他リスク該当者との重複人数/割合 上段：人/下段：%

項目	生活機能	運動機能	栄養状態	口腔機能	閉じこもり 予防	認知機能	うつ予防
生活機能	625 100.0	542 86.7	30 4.8	428 68.5	113 18.1	418 66.9	275 44.0
運動機能	542 86.7	1,665 100.0	33 2.0	700 42.0	150 9.0	755 45.3	550 33.0
栄養状態	30 4.8	33 2.0	88 100.0	39 44.3	8 9.1	31 35.2	36 40.9
口腔機能	428 68.5	700 42.0	39 44.3	1,654 100.0	81 4.9	752 45.5	531 32.1
閉じこもり 予防	113 18.1	150 9.0	8 9.1	81 4.9	224 100.0	110 49.1	77 34.4
認知機能	418 66.9	755 45.3	31 35.2	752 45.5	110 49.1	2,229 100.0	555 24.9
うつ予防	275 44.0	550 33.0	36 40.9	531 32.1	77 34.4	555 24.9	1,213 100.0

図表 3-16 各リスク該当者と他リスク該当者との重複人数





第4章

地区別調査結果

第4章 地区別調査結果

I 地区別のリスク出現率

リスク別出現を地区別で見ると、総合判定では「青柳・石田・泉・矢川地区」が50.3%で最も高く、次いで「谷保地区」が50.0%、「富士見台地区」が49.9%となっています。最も高い「青柳・石田・泉・矢川地区」は、最も低い「北地区」の43.5%とは6.8ポイントの開きがあります。

リスク別にみると、「青柳・石田・泉・矢川地区」は、いずれのリスクでも「市全体」を上回っている一方、「中地区」ではいずれのリスクも「市全体」より下回っています。

また、市全体では該当する割合が最も高い「認知機能」について地区ごとにみると、「富士見台地区」「青柳・石田・泉・矢川地区」が33.4%と最も高く、最も低い「東地区」の29.7%とは3.7ポイントの開きがあります。市全体では該当する割合が2番目に高い「運動機能」については、「谷保地区」が26.2%と最も高くなっており、最も低い「中地区」の19.8%とは6.4ポイントの開きがあります。市全体では該当する割合が3番目に高い「口腔機能」については、「青柳・石田・泉・矢川地区」が27.5%と最も高く、最も低い「東地区」の21.8%とは5.7ポイントの開きがあります。

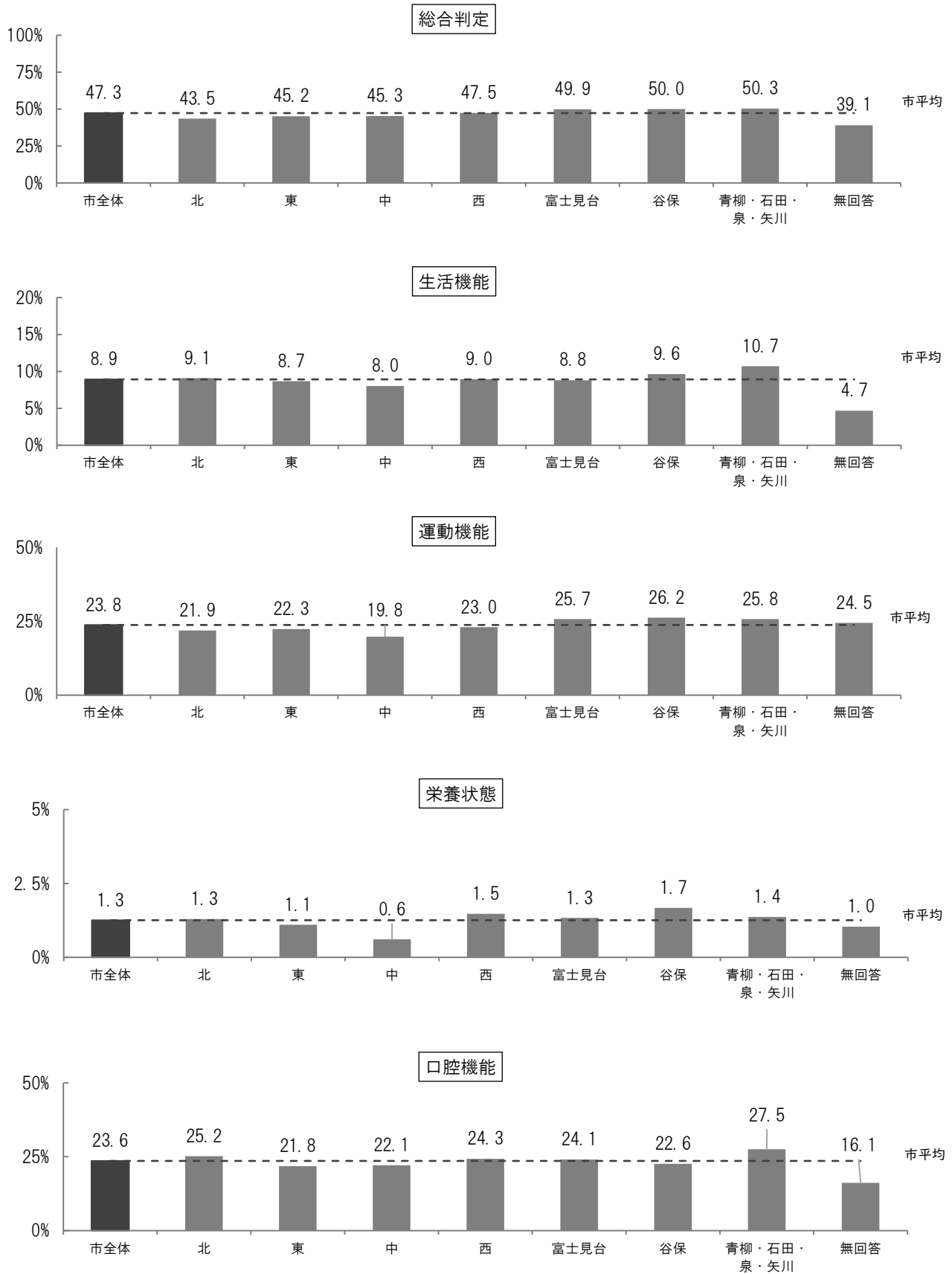
※総合判定＝介護予防事業対象者

図表 4-1 リスク別該当者数と出現率

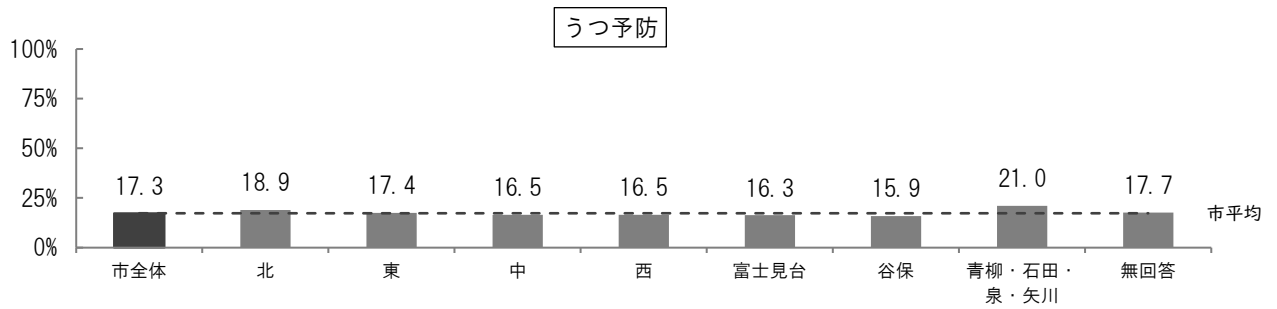
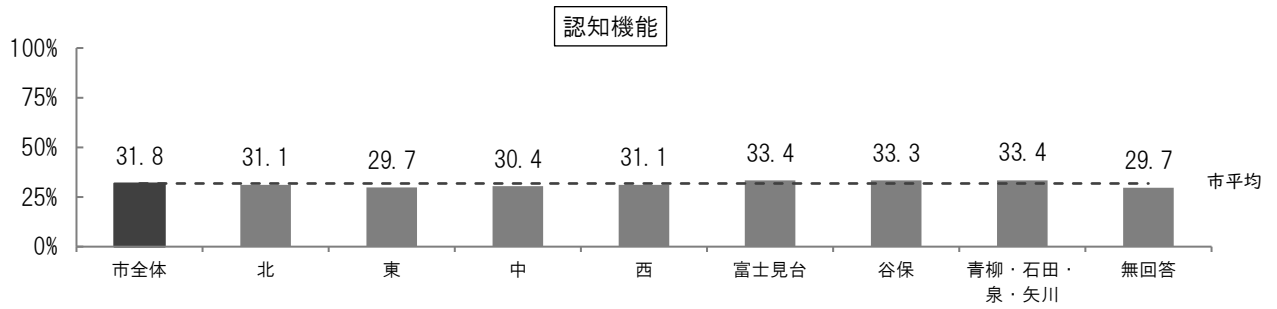
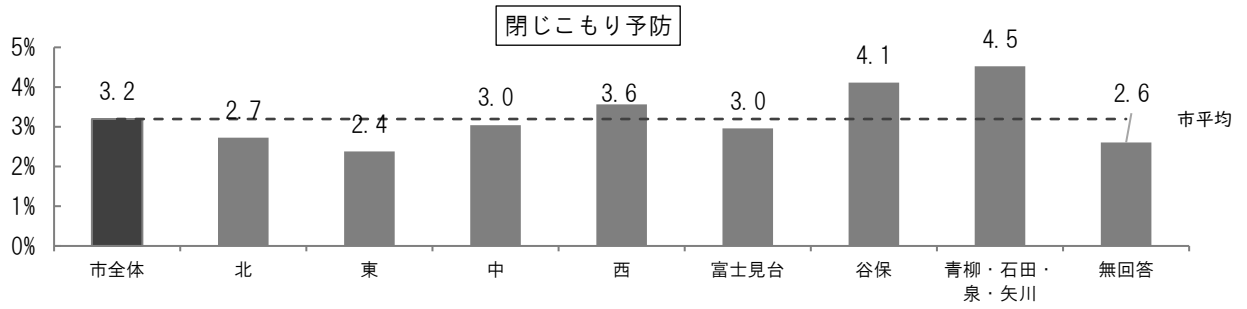
	市全体	北	東	中	西	富士見台	谷保	青柳・石田・泉・矢川	無回答
	n=7,010	n=771	n=1,177	n=823	n=814	n=1,725	n=778	n=730	n=192
総合判定	3,319 47.3	335 43.5	532 45.2	373 45.3	387 47.5	861 49.9	389 50.0	367 50.3	75 39.1
生活機能	625 8.9	70 9.1	102 8.7	66 8.0	73 9.0	152 8.8	75 9.6	78 10.7	9 4.7
運動機能	1,665 23.8	169 21.9	263 22.3	163 19.8	187 23.0	444 25.7	204 26.2	188 25.8	47 24.5
栄養状態	88 1.3	10 1.3	13 1.1	5 0.6	12 1.5	23 1.3	13 1.7	10 1.4	2 1.0
口腔機能	1,654 23.6	194 25.2	257 21.8	182 22.1	198 24.3	415 24.1	176 22.6	201 27.5	31 16.1
閉じこもり予防	224 3.2	21 2.7	28 2.4	25 3.0	29 3.6	51 3.0	32 4.1	33 4.5	5 2.6
認知機能	2,229 31.8	240 31.1	350 29.7	250 30.4	253 31.1	576 33.4	259 33.3	244 33.4	57 29.7
うつ予防	1,213 17.3	146 18.9	205 17.4	136 16.5	134 16.5	281 16.3	124 15.9	153 21.0	34 17.7

※各リスクの出現率が市全体を上回る地区に網掛けしています。

図表 4-2 リスク別出現率（地区別）



※点線は市全体の値を示す



※点線は市全体の値を示す

2 地区別の特徴

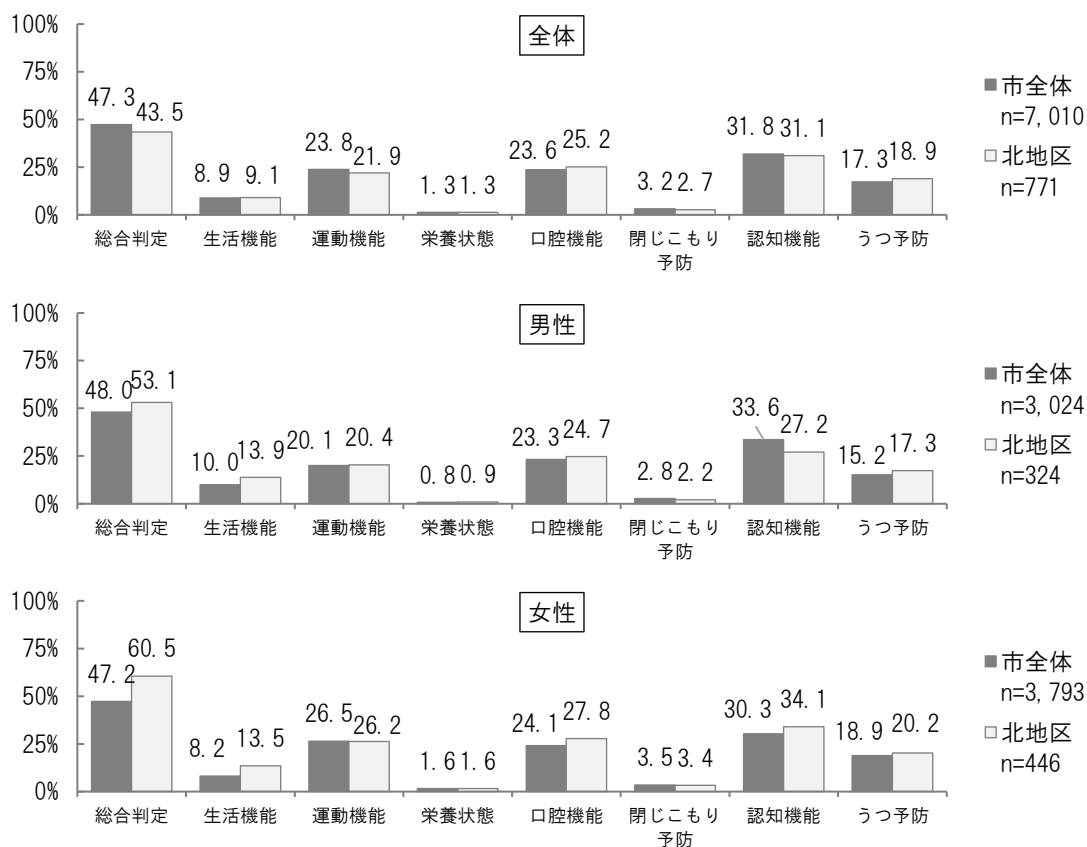
(1) 北地区

「北地区」の総合判定での該当者介護予防事業の割合は43.5%で、市全体と比べ3.8ポイント低くなっています。リスク別出現率は「生活機能」、「口腔機能」、「うつ予防」で、市全体と比べ高くなっています。

図表 4-3 リスク別該当者及び出現率

	全体		男性		女性	
	市全体 n=7,010	北地区 n=771	市全体 n=3,024	北地区 n=324	市全体 n=3,793	北地区 n=446
総合判定	3,319 47.3	335 43.5	1,452 48.0	145 44.8	1,792 47.2	190 42.6
生活機能	625 8.9	70 9.1	302 10.0	36 11.1	310 8.2	34 7.6
運動機能	1,665 23.8	169 21.9	609 20.1	63 19.4	1007 26.5	106 23.8
栄養状態	88 1.3	10 1.3	25 0.8	3 0.9	60 1.6	7 1.6
口腔機能	1,654 23.6	194 25.2	706 23.3	77 23.8	913 24.1	117 26.2
閉じこもり予防	224 3.2	21 2.7	86 2.8	7 2.2	133 3.5	14 3.1
認知機能	2,229 31.8	240 31.1	1,016 33.6	88 27.2	1,149 30.3	152 34.1
うつ予防	1,213 17.3	146 18.9	459 15.2	56 17.3	717 18.9	90 20.2

※性別無回答者除く



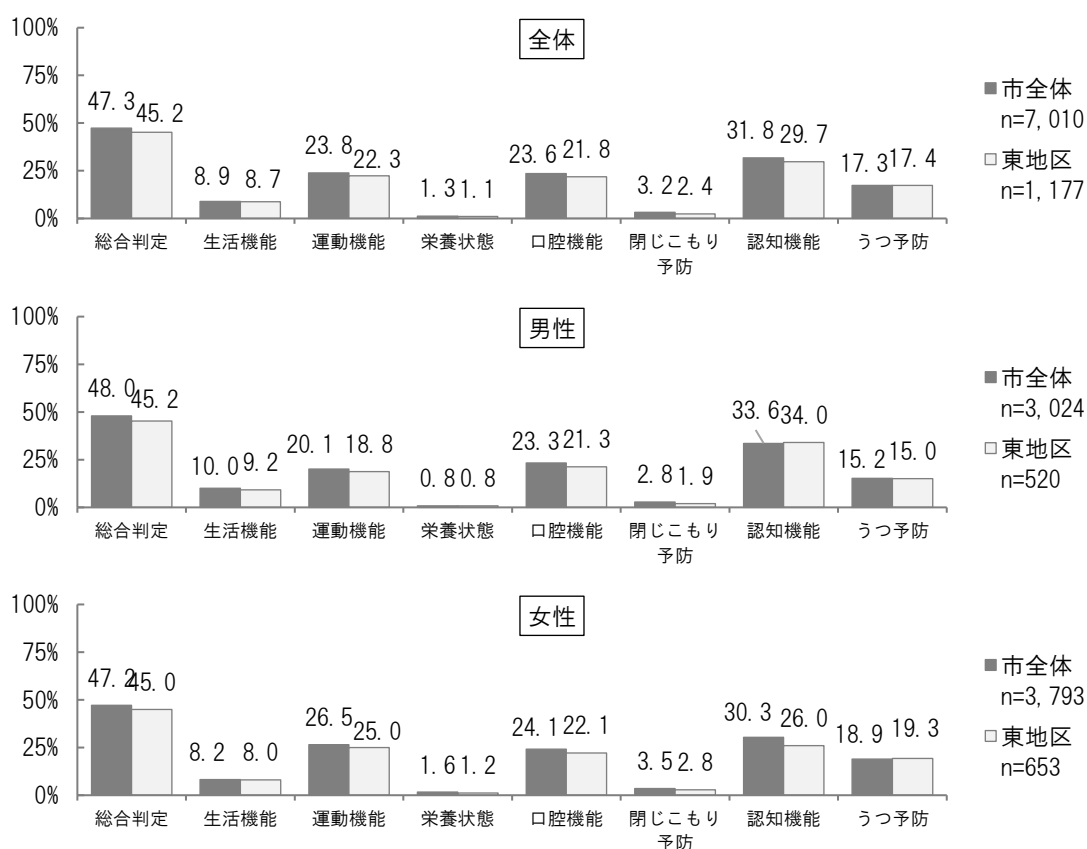
(2) 東地区

「東地区」の総合判定の該当者の割合は45.2%で、市全体と比べ2.1ポイント低くなっています。リスク別出現率は「うつ予防」で、市全体と比べ高くなっています。

図表 4-4 リスク別該当者及び出現率

	全体		男性		女性	
	市全体	東地区	市全体	東地区	市全体	東地区
全体	n=7,010	n=1,177	n=3,024	n=520	n=3,793	n=653
総合判定	3,319 47.3	532 45.2	1,452 48.0	235 45.2	1,792 47.2	294 45.0
生活機能	625 8.9	102 8.7	302 10.0	48 9.2	310 8.2	52 8.0
運動機能	1,665 23.8	263 22.3	609 20.1	98 18.8	1007 26.5	163 25.0
栄養状態	88 1.3	13 1.1	25 0.8	4 0.8	60 1.6	8 1.2
口腔機能	1,654 23.6	257 21.8	706 23.3	111 21.3	913 24.1	144 22.1
閉じこもり予防	224 3.2	28 2.4	86 2.8	10 1.9	133 3.5	18 2.8
認知機能	2,229 31.8	350 29.7	1,016 33.6	177 34.0	1,149 30.3	170 26.0
うつ予防	1,213 17.3	205 17.4	459 15.2	78 15.0	717 18.9	126 19.3

※性別無回答者除く



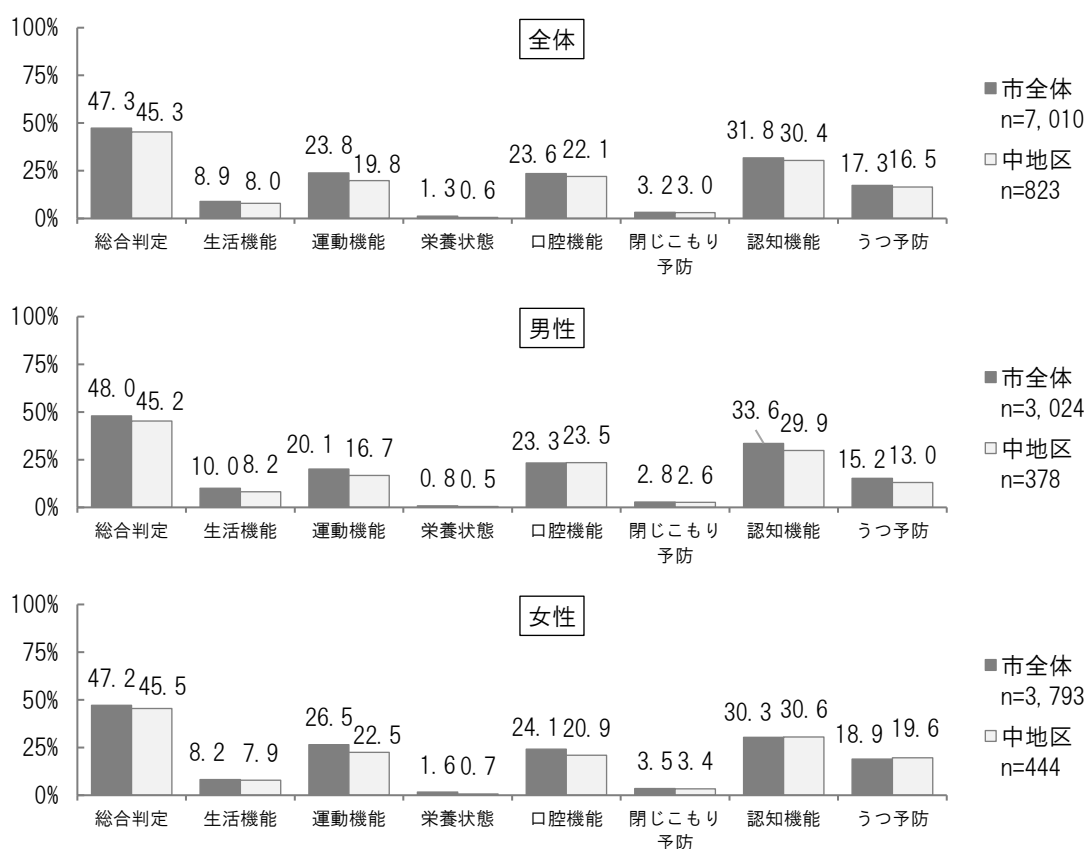
(3) 中地区

「中地区」の総合判定の該当者の割合は45.3%で、市全体と比べ2.0ポイント低くなっています。リスク別出現率は、全てのリスクで市全体と比べ低くなっています。

図表 4-5 リスク別該当者及び出現率

	全体		男性		女性	
	市全体 n=7,010	中地区 n=823	市全体 n=3,024	中地区 n=378	市全体 n=3,793	中地区 n=444
総合判定	3,319 47.3	373 45.3	1,452 48.0	171 45.2	1,792 47.2	202 45.5
生活機能	625 8.9	66 8.0	302 10.0	31 8.2	310 8.2	35 7.9
運動機能	1,665 23.8	163 19.8	609 20.1	63 16.7	1007 26.5	100 22.5
栄養状態	88 1.3	5 0.6	25 0.8	2 0.5	60 1.6	3 0.7
口腔機能	1,654 23.6	182 22.1	706 23.3	89 23.5	913 24.1	93 20.9
閉じこもり予防	224 3.2	25 3.0	86 2.8	10 2.6	133 3.5	15 3.4
認知機能	2,229 31.8	250 30.4	1,016 33.6	113 29.9	1,149 30.3	136 30.6
うつ予防	1,213 17.3	136 16.5	459 15.2	49 13.0	717 18.9	87 19.6

※性別無回答者除く



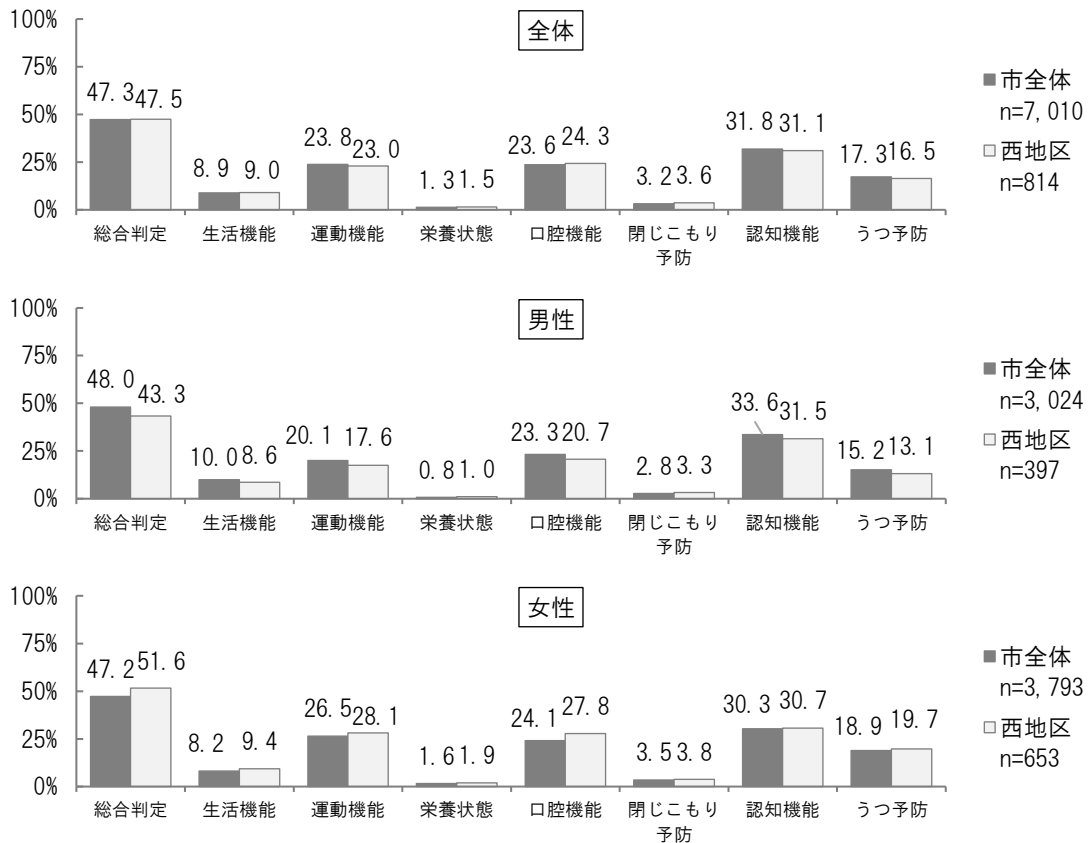
(4) 西地区

「西地区」の総合判定の該当者の割合は47.5%で、市全体と比べ0.2ポイント高くなっています。リスク別出現率は「生活機能」、「栄養状態」、「口腔機能」、「閉じこもり予防」で、市全体と比べ高くなっています。

図表 4-6 リスク別該当者及び出現率

	全体		男性		女性	
	市全体	西地区	市全体	西地区	市全体	西地区
全体	n=7,010	n=814	n=3,024	n=397	n=3,793	n=417
総合判定	3,319 47.3	387 47.5	1,452 48.0	172 43.3	1,792 47.2	215 51.6
生活機能	625 8.9	73 9.0	302 10.0	34 8.6	310 8.2	39 9.4
運動機能	1,665 23.8	187 23.0	609 20.1	70 17.6	1007 26.5	117 28.1
栄養状態	88 1.3	12 1.5	25 0.8	4 1.0	60 1.6	8 1.9
口腔機能	1,654 23.6	198 24.3	706 23.3	82 20.7	913 24.1	116 27.8
閉じこもり予防	224 3.2	29 3.6	86 2.8	13 3.3	133 3.5	16 3.8
認知機能	2,229 31.8	253 31.1	1,016 33.6	125 31.5	1,149 30.3	128 30.7
うつ予防	1,213 17.3	134 16.5	459 15.2	52 13.1	717 18.9	82 19.7

※性別無回答者除く



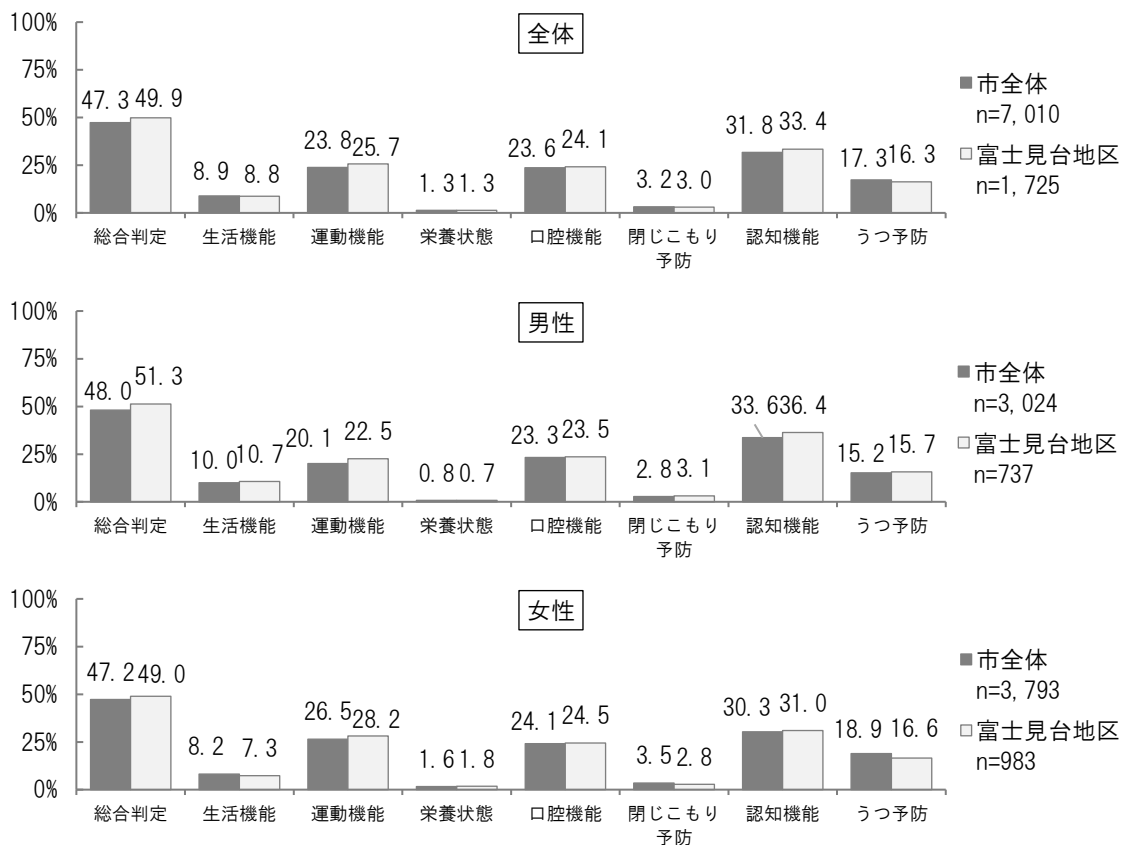
(5) 富士見台地区

「富士見台地区」の総合判定の該当者の割合は49.9%で、市全体と比べ2.6ポイント高くなっています。リスク別出現率は「運動機能」、「口腔機能」、「認知機能」で市全体と比べ高くなっています。

図表 4-7 リスク別該当者及び出現率

	全体		男性		女性	
	市全体	富士見台地区	市全体	富士見台地区	市全体	富士見台地区
全体	n=7,010	n=1,725	n=3,024	n=737	n=3,793	n=983
総合判定	3,319 47.3	861 49.9	1,452 48.0	378 51.3	1,792 47.2	482 49.0
生活機能	625 8.9	152 8.8	302 10.0	79 10.7	310 8.2	72 7.3
運動機能	1,665 23.8	444 25.7	609 20.1	166 22.5	1007 26.5	277 28.2
栄養状態	88 1.3	23 1.3	25 0.8	5 0.7	60 1.6	18 1.8
口腔機能	1,654 23.6	415 24.1	706 23.3	173 23.5	913 24.1	241 24.5
閉じこもり予防	224 3.2	51 3.0	86 2.8	23 3.1	133 3.5	28 2.8
認知機能	2,229 31.8	576 33.4	1,016 33.6	268 36.4	1,149 30.3	305 31.0
うつ予防	1,213 17.3	281 16.3	459 15.2	116 15.7	717 18.9	163 16.6

※性別無回答者除く



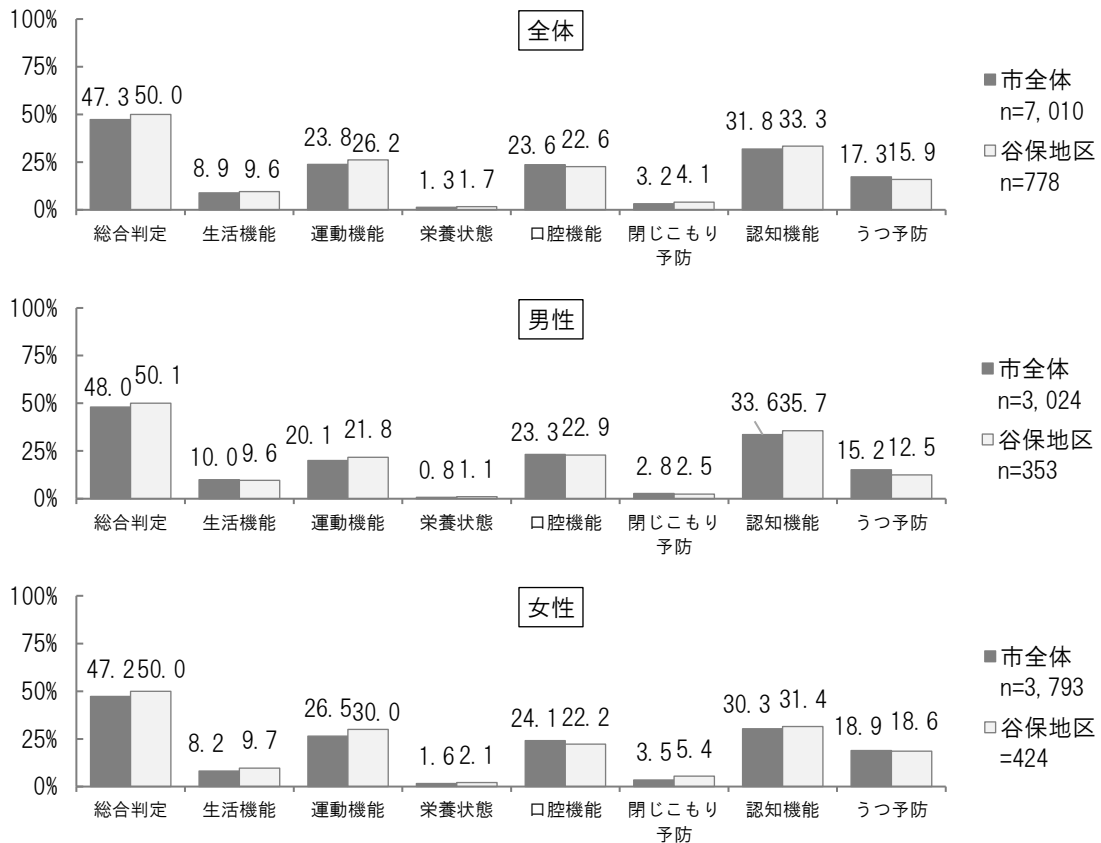
(6) 谷保地区

「谷保地区」の総合判定の該当者の割合は50.0%で、市全体と比べ2.7ポイント高くなっています。リスク別出現率は「口腔機能」、「うつ予防」を除くすべての項目で、市全体と比べ高くなっています。

図表 4-8 リスク別該当者及び出現率

	全体		男性		女性	
	市全体 n=7,010	谷保地区 n=778	市全体 n=3,024	谷保地区 n=353	市全体 n=3,793	谷保地区 n=424
総合判定	3,319 47.3	389 50.0	1,452 48.0	177 50.1	1,792 47.2	212 50.0
生活機能	625 8.9	75 9.6	302 10.0	34 9.6	310 8.2	41 9.7
運動機能	1,665 23.8	204 26.2	609 20.1	77 21.8	1007 26.5	127 30.0
栄養状態	88 1.3	13 1.7	25 0.8	4 1.1	60 1.6	9 2.1
口腔機能	1,654 23.6	176 22.6	706 23.3	81 22.9	913 24.1	94 22.2
閉じこもり予防	224 3.2	32 4.1	86 2.8	9 2.5	133 3.5	23 5.4
認知機能	2,229 31.8	259 33.3	1,016 33.6	126 35.7	1,149 30.3	133 31.4
うつ予防	1,213 17.3	124 15.9	459 15.2	44 12.5	717 18.9	79 18.6

※性別無回答者除く



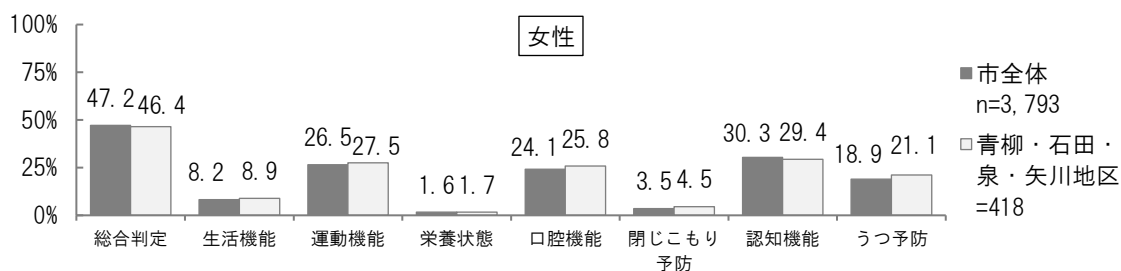
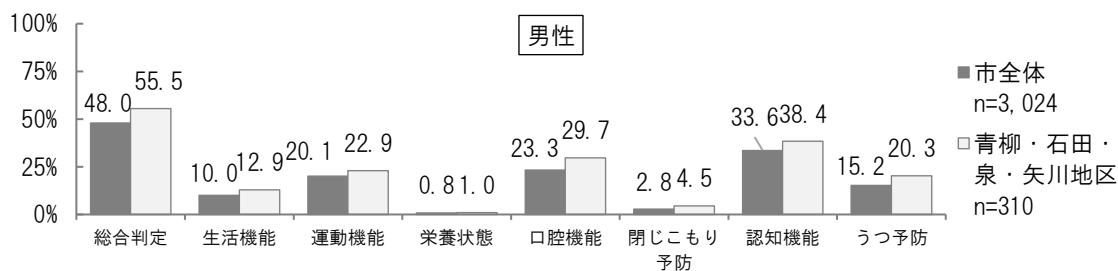
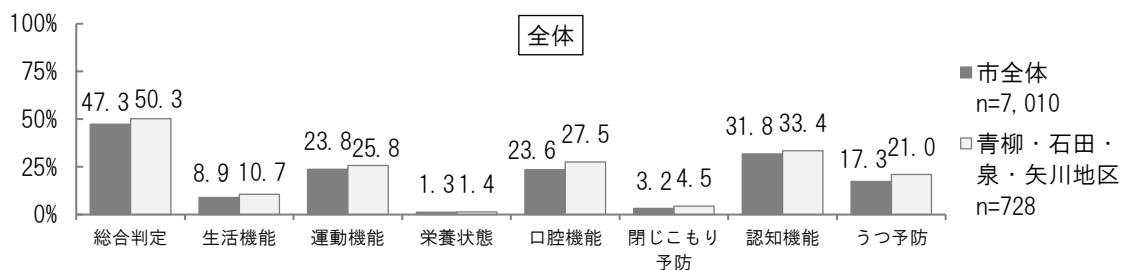
(7) 青柳・石田・泉・矢川地区

「青柳・石田・泉・矢川地区」の総合判定の該当者の割合は 50.3%で、市全体と比べ 3.0 ポイント高くなっています。リスク別出現率は、全てのリスクで市全体と比べ高くなっています。

図表 4-9 リスク別該当者及び出現率

	全体		男性		女性	
	市全体	青柳・石田・泉・矢川地区	市全体	青柳・石田・泉・矢川地区	市全体	青柳・石田・泉・矢川地区
全体	n=7,010	n=730	n=3,024	n=310	n=3,793	n=418
総合判定	3,319 47.3	367 50.3	1,452 48.0	172 55.5	1,792 47.2	194 46.4
生活機能	625 8.9	78 10.7	302 10.0	40 12.9	310 8.2	37 8.9
運動機能	1,665 23.8	188 25.8	609 20.1	71 22.9	1007 26.5	115 27.5
栄養状態	88 1.3	10 1.4	25 0.8	3 1.0	60 1.6	7 1.7
口腔機能	1,654 23.6	201 27.5	706 23.3	92 29.7	913 24.1	108 25.8
閉じこもり予防	224 3.2	33 4.5	86 2.8	14 4.5	133 3.5	19 4.5
認知機能	2,229 31.8	244 33.4	1,016 33.6	119 38.4	1,149 30.3	123 29.4
うつ予防	1,213 17.3	153 21.0	459 15.2	63 20.3	717 18.9	88 21.1

※性別無回答者除く

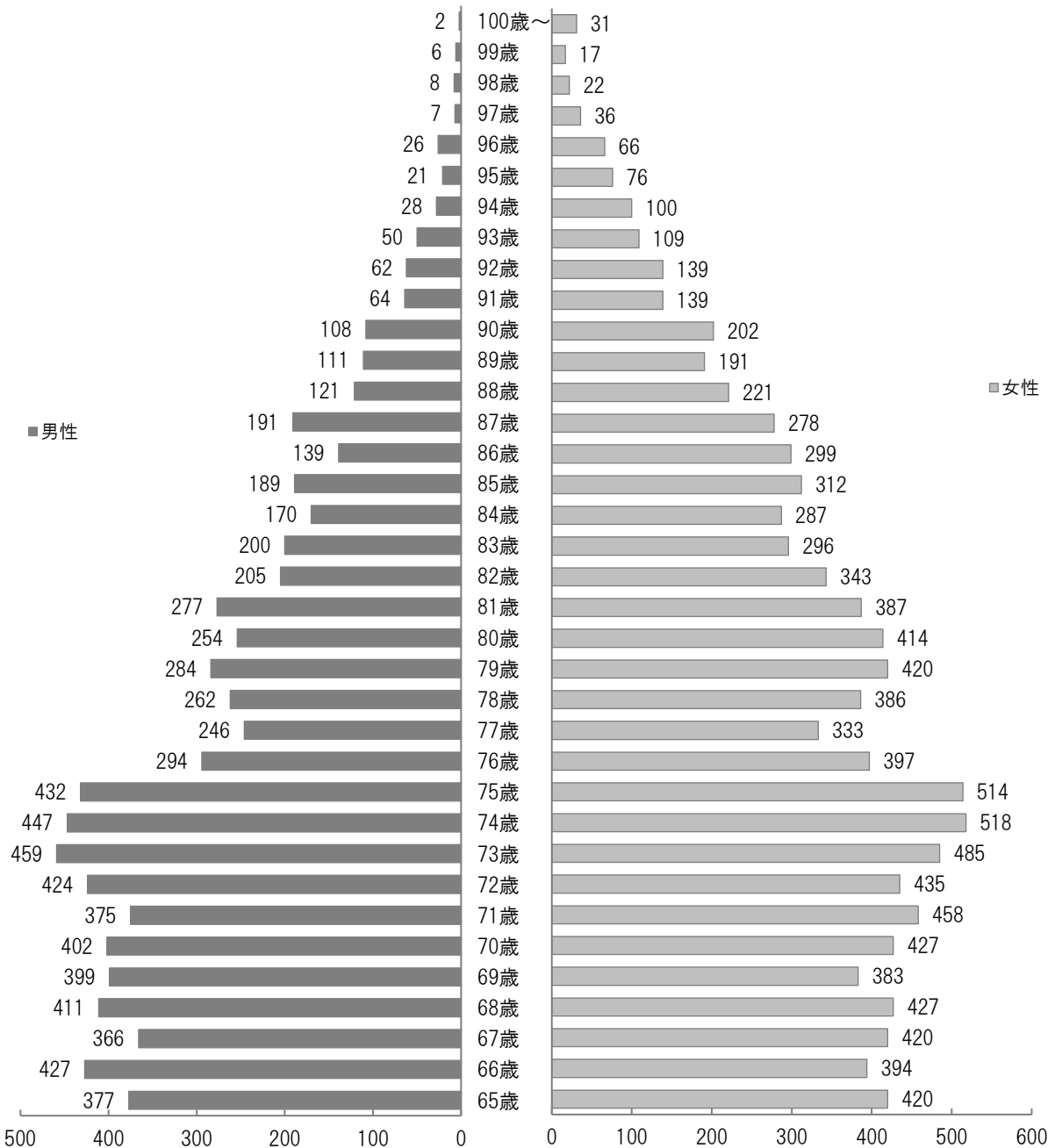


資料編

資料編

I 本市の高齢者人口

本市の高齢者人口を1歳階級ごとにみると、前期高齢者は男性では、73歳、女性では74歳が最も多くなっています。後期高齢者は、男性は、76歳が最も多く、女性は、79歳が最も多くなっており、加齢とともに減少傾向となっております。



出展：国立市ホームページより（令和5年1月1日現在の年齢別人口）

2 基本チェックリストの判定基準

■介護予防事業対象者

「生活機能」、「運動機能」、「栄養状態」、「口腔機能」、「閉じこもり予防」、「認知機能」、「うつ予防」の各リスク項目判定のうち、いずれか1項目以上に該当した方

■生活機能の判定項目

問番号	項目	配点	選択肢
問5-(4)	バスや電車で一人で外出していますか(自家用車でも可)	1	できるけどしていない できない
		0	できるし、している
問5-(5)	自分で食品・日用品の買物をしていますか	1	できるけどしていない できない
		0	できるし、している
問5-(8)	自分で預貯金の出し入れをしていますか	1	できるけどしていない できない
		0	できるし、している
問5-(10)	友人の家を訪ねていますか	1	いいえ
		0	はい
問5-(11)	家族や友人の相談にのっていますか	1	いいえ
		0	はい
問3-(1)	階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか	1	できるけどしていない できない
		0	できるし、している
問3-(2)	椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか	1	できるけどしていない できない
		0	できるし、している
問3-(3)	15分位続けて歩いていますか	1	できるけどしていない できない
		0	できるし、している
問3-(4)	過去1年間に転んだ経験がありますか	1	何度もある 1度ある
		0	ない
問3-(5)	転倒に対する不安は大きいですか	1	とても不安である やや不安である
		0	あまり不安でない 不安でない
問4-(7)	6か月間で2~3kg以上の体重減少がありましたか	1	はい
		0	いいえ
問4-(1)	あなたの身長・体重を教えてください ※BMI=体重(Kg)/(身長(m)×身長(m))	1	BMIが18.5未満
		0	BMIが18.5以上
問4-(2)	半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか	1	はい
		0	いいえ
問4-(3)	お茶や汁物等でむせることがありますか	1	はい
		0	いいえ
問4-(4)	口の渇きが気になりますか	1	はい
		0	いいえ

問番号	項目	配点	選択肢
問 3- (6)	週に 1 回以上は外出していますか	1	ほとんど外出しない
		0	週 1 回 週 2 ~ 4 回 週 5 回以上
問 3- (7)	昨年と比べて外出の回数が減っていますか	1	とても減っている 減っている
		0	あまり減っていない 減っていない
問 5- (2)	自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか	1	いいえ
		0	はい
問 5- (3)	今日が何月何日かわからない時がありますか	1	はい
		0	いいえ

■運動機能の判定項目

問番号	項目	配点	選択肢
問 3- (1)	階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか	1	できるだけしていない できない
		0	できるし、している
問 3- (2)	椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか	1	できるだけしていない できない
		0	できるし、している
問 3- (3)	15 分位続けて歩いていますか	1	できるだけしていない できない
		0	できるし、している
問 3- (4)	過去 1 年間に転んだ経験がありますか	1	何度もある 1 度ある
		0	ない
問 3- (5)	転倒に対する不安は大きいですか	1	とても不安である やや不安である
		0	あまり不安でない 不安でない

■栄養状態の判定項目

問番号	項目	配点	選択肢
問 4- (7)	6 か月間で 2 ~ 3 kg 以上の体重減少がありましたか	1	はい
		0	いいえ
問 4- (1)	あなたの身長・体重を教えてください ※BMI = 体重 (Kg) / (身長 (m) × 身長 (m))	1	BMI が 18.5 未満
		0	BMI が 18.5 以上

■口腔機能状態の判定項目

問番号	項目	配点	選択肢
問 4- (2)	半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか	1	はい
		0	いいえ
問 4- (3)	お茶や汁物等でむせることがありますか	1	はい
		0	いいえ
問 4- (4)	口の渇きが気になりますか	1	はい
		0	いいえ

■閉じこもり予防状態の判定項目

問番号	項目	配点	選択肢
問 3- (6)	週に 1 回以上は外出していますか	1	ほとんど外出しない
		0	週 1 回 週 2 ~ 4 回 週 5 回以上
問 3- (7)	昨年と比べて外出の回数が減っていますか	1	とても減っている 減っている
		0	あまり減っていない 減っていない

■認知機能の判定項目

問番号	項目	配点	選択肢
問 5- (2)	自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか	1	いいえ
		0	はい
問 5- (3)	今日が何月何日かわからない時がありますか	1	はい
		0	いいえ

■認知機能の判定項目

問番号	項目	配点	選択肢
問 8- (3)	この 1 か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか	1	はい
		0	いいえ
問 8- (4)	この 1 か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか	1	はい
		0	いいえ

3 調査票

第9期国立市地域包括ケア推進計画策定に向けたアンケート調査

【介護予防・日常生活圏域ニーズ調査】

市民の皆様が、いつまでも住み慣れた地域で安心して健康に暮らし続けていけるよう、様々な施策を展開するための基礎資料となる調査です。

この調査の対象は、令和4（2022）年4月1日現在 65歳以上の国立市内にお住まいの方です。（介護保険の要介護認定者を除きます）

アンケートは無記名であり、ご記入いただいた内容はすべて統計的に処理されます。回答いただいた結果を必要に応じて集計・分析いたしますが、本調査の目的に添うデータの活用に限りします。

回答は任意ですが、調査の趣旨をご理解いただき、ご多用のところ恐れ入りますがご協力くださいますようお願いいたします。

なお、回答結果をもとに「健康アドバイス票」をお送りし、次年度の介護予防事業を個別にご案内させていただきますこともできます。「健康アドバイス票」の返送をご希望の場合には、調査票をすべてご回答の上、さいごに所定の記入欄へ、住所・氏名をお書きください。

令和5年1月

国立市 健康福祉部
高齢者支援課 介護保険係

※ あて名のご本人が以下のような事情により回答できない（代筆も困難な）場合には、回答していただく必要はありません。

- ◇病院などに入院中
- ◇介護保険施設などに入所中
- ◇市外転出
- ◇ご逝去

これらのいずれかに該当する場合は、これ以降の質問にお答えいただく必要はありません。お手数ですが、調査票を破棄してください。

- ◆ 調査票を記入する際は、各項目で該当する数字に○をつけてください。
- ◆ 調査票記入後は、3つ折りにし、同封の返信用封筒に入れて

令和5年1月30日（月）までに

同封の返信用封筒に入れて投函してください。（切手は不要です）

基礎情報について

記入日	令和5年	月	日
調査票を記入いただいているのはどなたですか。あてはまるものに○をつけてください。			
1. あて名のご本人が記入			
2. ご家族が記入（あて名のご本人からみた続柄：_____）			
3. その他（_____）			

(1) あなたの性別

1. 男	2. 女
3. 1, 2に当てはまらない	4. 答えたくない

(2) あなたの年齢 _____ 歳

(3) あなたのお住まいの地域

1. 北	2. 東	3. 中
4. 西	5. 富士見台	6. 谷保
7. 青柳	8. 矢川・石田	9. 泉

(4) あなたの介護保険の認定状況

1. 要支援1	2. 要支援2	3. 認定を受けていない
---------	---------	--------------

問1 あなた（あて名のご本人）のご家族や生活状況について

(1) 家族構成をお教えてください

- | | |
|---------------|-------------------------|
| 1. 単身（1人暮らし） | 2. 夫婦2人暮らし（事実婚を含む） |
| 3. 二世帯世帯（親と子） | 4. 三世帯世帯（親と子と孫、またはそれ以上） |
| 5. その他 | |

(2) あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか

- | |
|---|
| 1. 介護・介助は必要ない |
| 2. 何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない |
| 3. 現在、何らかの介護を受けている（介護認定を受けずに家族などの介護を受けている場合も含む） |

(3) 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか

- | | | |
|-------------|-------------|-------|
| 1. 大変苦しい | 2. やや苦しい | 3. ふう |
| 4. ややゆとりがある | 5. 大変ゆとりがある | |

【(3)で「1. 大変苦しい」「2. やや苦しい」と回答した方にうかがいます】

- ① 生活にかかる費用のうち、負担に感じる費用は何ですか
もっとも負担に感じるものに○をしてください（あてはまるもの1つに○）

- | | | |
|---------|-------------|--------------|
| 1. 食費 | 2. 光熱水費 | 3. 家賃 |
| 4. 医療費 | 5. 同居家族の生活費 | 6. 別居家族への仕送り |
| 7. その他（ | | ） |

(4) 生活費は何によって賄っていますか

あてはまるものに○をしてください（あてはまるものすべてに○）

- | | | |
|-----------|----------|---------------|
| 1. 就労収入 | 2. 貯蓄 | 3. 年金 |
| 4. 生活保護費 | 5. 家族の援助 | 6. 不動産賃料などの収入 |
| 7. 株・為替など | 8. その他（ | ） |

(5) あなたの世帯（生計を一緒にする世帯全体）の1年間の収入額はいくらですか

- | | |
|---------------------|--------------------|
| 1. 100万円未満 | 2. 100万円以上 200万円未満 |
| 3. 200万円以上 300万円未満 | 4. 300万円以上 400万円未満 |
| 5. 400万円以上 500万円未満 | 6. 500万円以上 600万円未満 |
| 7. 600万円以上 700万円未満 | 8. 700万円以上 800万円未満 |
| 9. 800万円以上 1000万円未満 | 10. 1000万円以上 |
| 11. わからない | |

(6) あなたの世帯の貯蓄額はいくらくらいですか

- | | |
|---------------------|--------------------|
| 1. 50万円未満 | 2. 50万円～100万円くらい |
| 3. 100万円～500万円くらい | 4. 500万円～1000万円くらい |
| 5. 1000万円～2000万円くらい | 6. 2000万円以上 |
| 7. わからない | |

問2 住宅と住宅まわりの環境について

(1) お住まいは一戸建て、または集合住宅のどちらですか

- | |
|--|
| 1. 持家（一戸建て） |
| 2. 持家（集合住宅） ※分譲マンションなど |
| 3. 公営賃貸住宅 ※都営住宅 |
| 4. 民間賃貸住宅（一戸建て） |
| 5. 民間賃貸住宅（URでない集合住宅） ※賃貸マンション・アパートなど |
| 6. UR都市機構の賃貸集合住宅 |
| 7. 借家 ※一般的な賃貸契約がない社宅・官舎など |
| 8. その他（ ） |

【(1)で賃貸住宅や借家(3・4・5・6・7のいずれか)と回答した方にうかがいます】

① 1か月の家賃の額はいくらですか

- | | |
|----------------|---------------|
| 1. 4万円未満 | 2. 4万円以上5万円未満 |
| 3. 5万円以上6万円未満 | 4. 6万円以上7万円未満 |
| 5. 7万円以上8万円未満 | 6. 8万円以上9万円未満 |
| 7. 9万円以上10万円未満 | 8. 10万円以上 |
| 9. わからない | |

【(1)で集合住宅(2・3・5・6・7のいずれか)に回答した方にうかがいます】

② お住まいになっているのは、何階ですか

階

(2) 現在お住まいの住宅(建物)に対する満足度について
あてはまるものに○をしてください(あてはまるもの1つに○)

- | | |
|---------|----------|
| 1. 満足 | 2. まあ満足 |
| 3. 多少不満 | 4. 非常に不満 |

(3) 現在お住まいの住宅のまわりの環境に対する満足度について
あてはまるものに○をしてください(あてはまるもの1つに○)

- | | |
|---------|----------|
| 1. 満足 | 2. まあ満足 |
| 3. 多少不満 | 4. 非常に不満 |

(4) 現在お住まいの住宅について、不満なことがあれば○をしてください
(あてはまるものすべてに○)

- | | | |
|----------------|-------------|----------------|
| 1. 広い | 2. 狭い | 3. 間取り |
| 4. 収納 | 5. 水回り | 6. いたみ(老朽化) |
| 7. 換気(匂いや煙が残る) | 8. 日当たり | 9. 断熱性(夏暑く冬寒い) |
| 10. 段差 | 11. 地震時の安全性 | 12. 台風時の安全性 |
| 13. 火災に対する安全性 | 14. 防犯性 | 15. 遮音性 |

(5) 現在お住まいの住宅のまわりの環境について、
不満なことがあれば○をしてください（あてはまるものすべてに○）

1. 通勤等の利便	2. 日常の買物などの利便
3. 公民館・図書館・集会施設などへの利便	4. 医療機関への利便
5. 親・子・親せきとの距離	6. 近隣の人やコミュニティとのかかわり
7. 治安	8. 騒音
9. 大気汚染	10. におい
11. 道路の歩行時の安全性	12. 災害時の避難のしやすさ
13. 水害の受けにくさ	14. 公園などの広場や緑
15. 風通しなど住宅まわりのゆとり	16. まちなみ・景観

(6) 現在のお住まいに住み続けたいと思いますか。
あてはまるものを選んでください（あてはまるもの1つに○）

1. できれば住み続けたい	2. できれば住み替えたい	3. わからない
---------------	---------------	----------

問3 からだを動かすことについて

(1) 階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか

1. できるし、している	2. できるけど、していない	3. できない
--------------	----------------	---------

(2) 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか

1. できるし、している	2. できるけど、していない	3. できない
--------------	----------------	---------

(3) 15分位続けて歩いていきますか

1. できるし、している	2. できるけど、していない	3. できない
--------------	----------------	---------

(4) 過去1年間に転んだ経験がありますか

1. 何度もある	2. 一度ある	3. ない
----------	---------	-------

(5) 転倒に対する不安は大きいですか

- | | |
|-------------|------------|
| 1. とても不安である | 2. やや不安である |
| 3. あまり不安でない | 4. 不安でない |

(6) 週に1回以上は外出していますか

- | | |
|--------------|----------|
| 1. ほとんど外出しない | 2. 週1回 |
| 3. 週2~4回 | 4. 週5回以上 |

(7) 昨年と比べて外出の回数が減っていますか

- | | |
|--------------|-----------|
| 1. とても減っている | 2. 減っている |
| 3. あまり減っていない | 4. 減っていない |

(8) 外出する際の移動手段は何ですか（あてはまるものすべてに○）

- | | | |
|----------------|------------------|----------|
| 1. 徒歩 | 2. 自転車 | 3. バイク |
| 4. 自動車（自分で運転） | 5. 自動車（人に乗せてもらう） | 6. 電車 |
| 7. 路線バス | 8. 病院や施設のバス | 9. 車いす |
| 10. 電動車いす（カート） | 11. 歩行器・シルバーカー | 12. タクシー |
| 13. その他（ | | ） |

問4 食べることについて

(1) あなたの身長・体重を教えてください

身長 cm

体重 kg

(2) 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか

- | | |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|

(3) お茶や汁物等でむせることがありますか

- | | |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|

(4) 口の渇きが気になりますか

- | | |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|

(5) 口から食べ物がこぼれてしまうことがありますか

- | | |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|

(6) 歯の数と入れ歯の利用状況をお教えてください

(成人の歯の総本数は、親知らずを含めて32本です)

- | | |
|------------------------|------------------------|
| 1. 自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用 | 2. 自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし |
| 3. 自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用 | 4. 自分の歯は19本以下、入れ歯の利用なし |

(7) 6か月間で2~3kg以上の体重減少がありましたか

- | | |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|

(8) どなたかと食事を共にする機会がありますか

- | | | |
|------------|------------|------------|
| 1. 毎日ある | 2. 週に何度かある | 3. 月に何度かある |
| 4. 年に何度かある | 5. ほとんどない | |

【(8)で食事を共にする機会がある(1・2・3・4のいずれか)に回答した方にかかいます】

- ① どなたと食事を共にしていますか。
食事をする機会がもっとも多い方に○をしてください
(あてはまるもの1つに○)

- | |
|--------------------------------|
| 1. 同居の家族 |
| 2. 別居の家族 |
| 3. 現在している仕事の同僚 |
| 4. 近隣の友人・知人 |
| 5. 遠方の友人・知人 ※電車等で会いに行く距離の友人・知人 |
| 6. その他 () |

問5 毎日の生活について

(1) 物忘れが多いと感じますか

1. はい 2. いいえ

(2) 自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか

1. はい 2. いいえ

(3) 今日が何月何日かわからない時がありますか

1. はい 2. いいえ

(4) バスや電車を使って1人で外出していますか(自家用車でも可)

1. できるし、している 2. できるけど、していない 3. できない

(5) 自分で食品・日用品の買物をしていますか

1. できるし、している 2. できるけど、していない 3. できない

(6) 自分で食事の用意をしていますか

1. できるし、している 2. できるけど、していない 3. できない

(7) 自分で請求書の支払いをしていますか

1. できるし、している 2. できるけど、していない 3. できない

(8) 自分で預貯金の出し入れをしていますか

1. できるし、している 2. できるけど、していない 3. できない

(9) 以下の機器をふだん使うものとしてお持ちですか(あてはまるものすべてに○)

1. スマートフォン 2. タブレット 3. パソコン
4. スマートフォン、タブレット、パソコンいずれも持っていない(所有していない)

【(9)で(1・2・3のいずれか)に回答した方(スマートフォンなどをお持ちの方)にうかがいます】

① 下記の機能を利用していますか(あてはまるものすべてに○)

- | |
|--|
| 1. インターネット検索 |
| 2. テレビ電話(ビデオ通話) |
| 3. 買い物(ネットスーパー、ネット通販) |
| 4. SNS(Line、Twitter、Facebook、Instagramなど) |
| 5. 動画を見たり、音楽を聴く(YouTubeなど) |
| 6. バーコードやQRコードを使った、スマートフォンによるキャッシュレス決済(PayPay、auPay、楽天Pay、d払いなど) |
| 7. オンラインでの会議や集まり(Zoom、Microsoft Teams、Webex Meetingsなど) |
| 8. その他() |

(10) 友人の家を訪ねていますか

- | | |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|

(11) 家族や友人の相談にのっていますか

- | | |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|

(12) あなたが日常生活の中で、楽しみや、やりがいを感じることは何ですか(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|---------------|-------------------|
| 1. 働くこと | 2. 学習や教養を高めるための活動 |
| 3. スポーツ | 4. 趣味の活動 |
| 5. ボランティア活動 | 6. 老人クラブ活動 |
| 7. 自治会・町内会の活動 | 8. 旅行 |
| 9. 買い物 | 10. 孫など家族と過ごすこと |
| 11. その他() | 12. 特にない |

問6 地域での活動について

- (1) 以下のような会・グループ等にどれくらいの頻度で参加していますか
 ※①-⑨それぞれに回答してください

	週 4 回 以上	週 2 ～ 3 回	週 1 回	月 1 ～ 3 回	年 に 数 回	参 加 し て い な い
① 市のサポーター活動 (健康づくり推進員・フレイルサポーター・認知症見守りボランティア・育児支援サポーター・緑のサポーターなど)	1	2	3	4	5	6
② ボランティアのグループ	1	2	3	4	5	6
③ スポーツ関係のグループやクラブ	1	2	3	4	5	6
④ 趣味関係のグループ	1	2	3	4	5	6
⑤ 学習・教養サークル	1	2	3	4	5	6
⑥ 介護予防の通いの場 (百歳体操・フレイルチェック会・ご近所さんでレッツゴー・さわやか体操など)(ひらや照らす・ゆかい湯会・ペンぎんサロン・デイホームなど)	1	2	3	4	5	6
⑦ 老人クラブ	1	2	3	4	5	6
⑧ 町内会・自治会	1	2	3	4	5	6
⑨ 収入のある仕事	1	2	3	4	5	6

- (2) 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか

1. 是非参加したい	2. 参加してもよい
3. 参加したくない	4. 既に参加している

- (3) 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営(お世話役)として参加してみたいと思いますか

1. 是非参加したい	2. 参加してもよい
3. 参加したくない	4. 既に参加している

問7 たすけあいについて

あなたとまわりの人の「たすけあい」についておうかがいします

(1) あなたの心配事や愚痴(ぐち)を聞いてくれる人(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|------------|----------------|
| 1. 配偶者 | 2. 同居の子ども |
| 3. 別居の子ども | 4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫 |
| 5. 近隣 | 6. 友人 |
| 7. その他 () | 8. そのような人はいない |

(2) 反対に、あなたが心配事や愚痴(ぐち)を聞いてあげる人
(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|------------|----------------|
| 1. 配偶者 | 2. 同居の子ども |
| 3. 別居の子ども | 4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫 |
| 5. 近隣 | 6. 友人 |
| 7. その他 () | 8. そのような人はいない |

(3) あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人
(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|------------|----------------|
| 1. 配偶者 | 2. 同居の子ども |
| 3. 別居の子ども | 4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫 |
| 5. 近隣 | 6. 友人 |
| 7. その他 () | 8. そのような人はいない |

(4) 反対に、看病や世話をしてあげる人(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|------------|----------------|
| 1. 配偶者 | 2. 同居の子ども |
| 3. 別居の子ども | 4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫 |
| 5. 近隣 | 6. 友人 |
| 7. その他 () | 8. そのような人はいない |

(5) 家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手を教えてください
(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|------------------|--------------------------|
| 1. 自治会・町内会・老人クラブ | 2. 社会福祉協議会 (CSW) |
| 3. 民生委員 | 4. 医師・歯科医師・薬剤師・看護師 |
| 5. ケアマネジャー | 6. 地域包括支援センター |
| 7. その他 () | 8. 家族や友人・知人以外にそのような人はいない |

問8 健康について

(1) 現在のあなたの健康状態はいかがですか

- | | |
|------------|---------|
| 1. とてもよい | 2. まあよい |
| 3. あまりよくない | 4. よくない |

(2) あなたは、現在どの程度幸せですか
(「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を10点として、ご記入ください)

とても 不幸											とても 幸せ
0点	1点	2点	3点	4点	5点	6点	7点	8点	9点	10点	

(3) この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか

- | | |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|

(4) この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか

- | | |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|

(5) お酒は飲みますか

1. ほぼ毎日飲む（ビールなら 500ml 以上、日本酒・ワインなら 1 合以上）
2. ほぼ毎日飲むが「1.」よりは少ない量（ビール 350ml 程度またはそれ以下）
3. 時々飲む
4. ほとんど飲まない
5. まったく飲まない

(6) タバコは吸っていますか

- | | |
|--------------|---------------|
| 1. ほぼ毎日吸っている | 2. 時々吸っている |
| 3. 吸っていたがやめた | 4. もともと吸っていない |

(7) 現在の耳の聞こえはどうか

- | | |
|----------------------|------------------|
| 1. よく聞こえる | 2. 時々聞こえが悪い感じがある |
| 3. 聞こえが悪いのでうまく会話できない | 4. ほとんど聞こえない |

(8) 補聴器を持っていますか（所有していますか）。また、日ごろから使っていますか

- | | |
|-----------------|--------------------|
| 1. いつも使っている | 2. 時々使っている |
| 3. 持っているが使っていない | 4. 持っていない（所有していない） |

(9) あなたは、かかりつけ医を決めていますか（あてはまるものすべてに○）

1. かかりつけ医療機関がある（かかりつけ医のいる診療所・病院がある）
2. かかりつけ歯科医院がある（かかりつけ歯科医のいる歯科医院がある）
3. かかりつけ薬局がある（かかりつけ薬剤師のいる薬局がある）
4. 医療機関・歯科医院・薬局いずれもかかりつけを決めていない

(10)現在治療中、または後遺症のある病気はありますか(あてはまるものすべてに○)

1. ない	2. <small>こうけつあつ</small> 高血圧
3. <small>のうそつちゅう のうしゅつけつ・のうこうそくなど</small> 脳卒中 (脳出血・脳梗塞等)	4. <small>しんぞうびょう</small> 心臓病
5. <small>とうじょうびょう</small> 糖尿病	6. <small>こうしけつしょう しじついじょう</small> 高脂血症 (脂質異常)
7. <small>こきゅうき はいえん きかんしえんなど</small> 呼吸器の病気 (肺炎や気管支炎等)	8. <small>いちょう かんぞう たん</small> 胃腸・肝臓・胆のうの病気
9. <small>じんぞう ぜんりつせん</small> 腎臓・前立腺の病気	10. <small>きんこつかく びょうき こつそ しょう かんせつしょうなど</small> 筋骨格の病気 (骨粗しょう症、関節症等)
11. <small>がいしょう てんとう こっせつなど</small> 外傷 (転倒・骨折等)	12. <small>あくせいしんせいぶつ</small> がん (悪性新生物)
13. <small>けつえき めんえき</small> 血液・免疫の病気	14. うつ病
15. <small>にんちしょう</small> 認知症(アルツハイマー病等)	16. パーキンソン病
17. 目の病気	18. 耳の病気
19. その他 ()	

問9 認知症について

(1) 認知症の症状がありますか。又は家族に認知症の症状がある人がいますか

1 はい	2 いいえ
------	-------

(2) 認知症に関する相談窓口を知っていますか

1 はい	2 いいえ
------	-------

(3) 認知症に関する支援で必要なことはどのようなことだと思いますか
(あてはまるものに○ 最大で3つまで)

1. 医療・介護・地域が連携した早期発見・早期診断のしくみづくり
2. 講演会など市民に関する啓発
3. 認知症の当事者や家族が集まれる場所
4. 認知症の介護・コミュニケーション方法等、家族向け研修会や相談会の開催
5. 認知症を見守るボランティアなどのしくみづくり
6. 認知症による行方不明に関する施策の充実
7. 認知症グループホームや特別養護老人ホームなどの施設整備
8. 成年後見制度や虐待防止など権利を擁護する制度の充実
9. 若年性認知症（64歳以下の発症）に対する支援
10. 困ったときに支援につないでくれる機関の周知・啓発
11. 認知機能が低下しても使いやすい・わかりやすい機器などの開発
12. 認知機能が低下した人を待ったり、ゆっくり話したりする周囲の寛容さ
13. 苦手なことや手伝ってほしいことを認知症の当事者が発信すること（ヘルプカードの利用など）

健康アドバイス票をご希望の方は、住所と氏名をご記入ください

住所 国立市

氏名

※ 健康アドバイス票は、令和5年3月末までにお送りします。しばらくお待ちください。

ご協力いただきありがとうございました。

国立市 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

実施報告書

発行：令和5年3月

発行者：国立市健康福祉部高齢者支援課

〒186-8501 東京都国立市富士見台 2-47-1

電話 042-576-2111